

令和7年度

江東区長期計画区民アンケート調査

報告書

令和8年3月



目 次

I. 調査の概要	1
II. サンプル（調査回答者）特性	4
III. 江東区長期計画における成果指標	8
IV. 調査結果	29
【みどりの中の都市「CITY IN THE GREEN」の実現】	29
【地球温暖化対策と環境保全】	38
【持続可能な資源循環型地域社会の形成】	41
【みんなで取り組む子育て家庭への支援】	44
【一人一人に向き合う学校教育の充実】	51
【こどもが安全に過ごせる居場所・環境づくり】	52
【次代を担う青少年の健全育成の推進】	56
【魅力的で活力ある区内産業・商店街の形成】	62
【人・地域をつなぐ地域コミュニティの活性化】	66
【多様性を認め合う（ダイバーシティ）社会の実現】	73
【生涯にわたり学習できる環境の充実】	82
【スポーツを楽しめる環境の充実】	88
【文化・歴史の継承と観光振興】	90
【切れ目のない支援による母子保健の充実】	95
【健康づくりの推進と保健・医療体制の充実】	96
【感染症対策と生活衛生の確保】	107
【高齢者支援と活躍の推進】	110
【障害者支援と共生社会の実現】	115
【地域福祉と生活支援の充実】	119
【計画的なまちづくりの推進】	128
【良好な住宅の形成と住環境の向上】	134
【便利で安全な道路・交通ネットワークの整備】	136
【災害に強い都市の形成】	140
【地域防災力の強化】	144
【犯罪のないまちづくり】	149
資料：調査票の見本	157

I. 調査の概要

・ 調査の目的

本調査は令和6年度に策定した「江東区長期計画（後期）」において設定する施策評価のための成果指標のうち、区民の意識や生活実態に基づくものについて、その現状値を把握することを目的として実施した。

・ 調査の方法

- ① 調査対象 区内在住の満18歳以上の人（令和8年1月1日時点での満年齢）
- ② 対象者数 3,000人
- ③ 抽出方法 住民基本台帳（令和8年1月1日現在）から無作為抽出
- ④ 調査方法 郵送配布、郵送回収及びインターネット（電子申請）による回収
- ⑤ 調査期間 令和8年1月20日送付、2月9日締切

・ 調査項目

- ・ みどりの中の都市「CITY IN THE GREEN」の実現
- ・ 地球温暖化対策と環境保全
- ・ 持続可能な資源循環型地域社会の形成
- ・ みんなで取り組む子育て家庭への支援
- ・ 一人一人に向き合う学校教育の充実
- ・ こどもが安全に過ごせる居場所・環境づくり
- ・ 次代を担う青少年の健全育成の推進
- ・ 魅力的で活力ある区内産業・商店街の形成
- ・ 人・地域をつなぐ地域コミュニティの活性化
- ・ 多様性を認め合う（ダイバーシティ）社会の実現
- ・ 生涯にわたり学習できる環境の充実
- ・ スポーツを楽しめる環境の充実
- ・ 文化・歴史の継承と観光振興
- ・ 切れ目のない支援による母子保健の充実
- ・ 健康づくりの推進と保健・医療体制の充実
- ・ 感染症対策と生活衛生の確保
- ・ 高齢者支援と活躍の推進
- ・ 障害者支援と共生社会の実現
- ・ 地域福祉と生活支援の充実
- ・ 計画的なまちづくりの推進
- ・ 良好な住宅の形成と住環境の向上
- ・ 便利で安全な道路・交通ネットワークの整備
- ・ 災害に強い都市の形成
- ・ 地域防災力の強化
- ・ 犯罪のないまちづくり

・ 回収結果

- ① 標本数 3,000票
- ② 有効回答数 1,288票（インターネット回答700票含む）
- ③ 有効回収率 42.9%

・ 報告書の見方

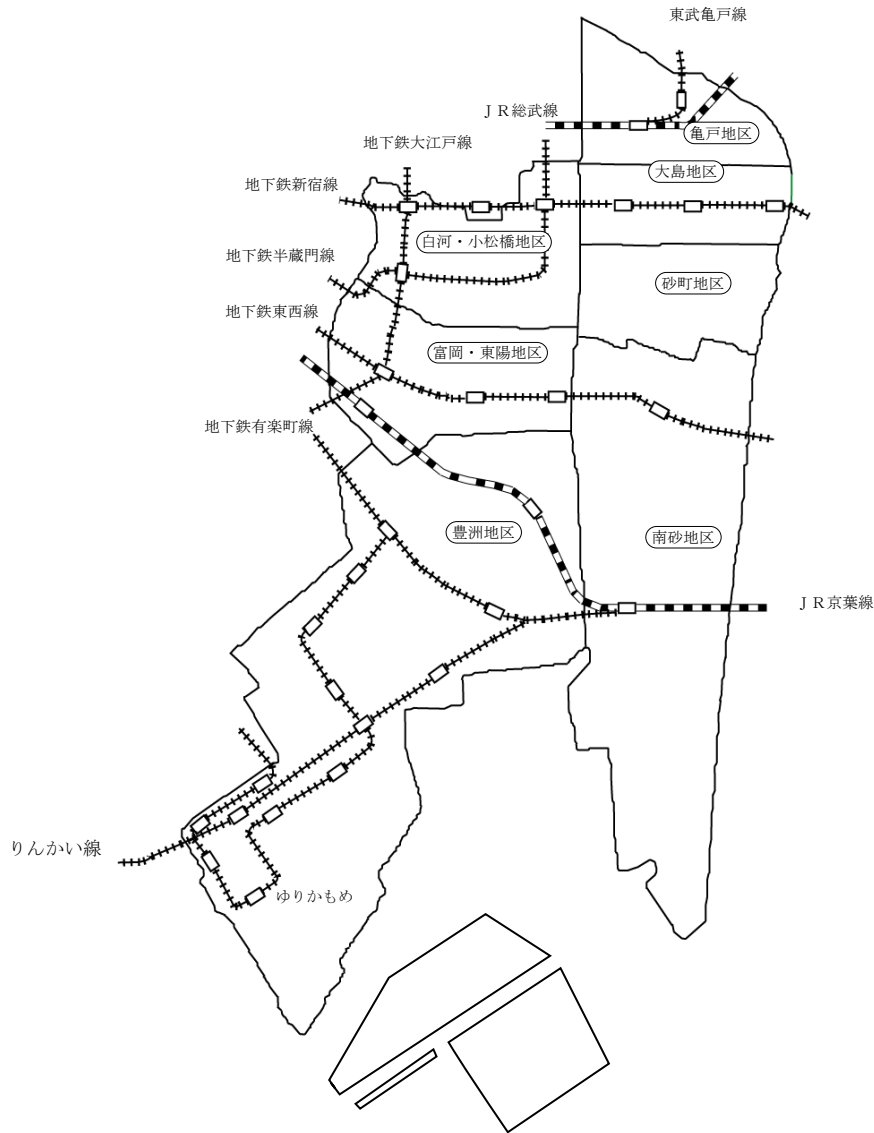
① 集計について

比率は全て百分率（%）で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出している。このため、比率の合計が100.0%にならない場合がある。

② 設問ごとの集計の基数

全員が回答すべき設問では、1,288となるが、回答者が限定される場合は、この数を下回る。なお、無回答・無効回答は基数から除いて算出している。

図表 I - 1 地区区分図



図表 I - 2 地区・町丁目対応表

地 区	該 当 町 丁 目
白 河	清澄、常盤、新大橋、森下、平野、三好、白河、高橋
小 松 橋	千石、石島、千田、海辺、扇橋、猿江、住吉、毛利
富 岡	佐賀、永代、福住、深川、冬木、門前仲町、富岡、牡丹、古石場、越中島
東 陽	木場、東陽、南砂 2 丁目 (1 番 1 号～5 号・5 番～7 番)、新砂 1 丁目 1 番、海の森
豊 洲	塩浜、枝川、豊洲、東雲、有明、辰巳、潮見、青海
亀 戸	亀戸
大 島	大島
砂 町	北砂、南砂 1 丁目・5 丁目、南砂 2 丁目 (24 番～34 番)、東砂 1 丁目～5 丁目
南 砂	東砂 6 丁目～8 丁目、南砂 2 丁目 (1 番 1 号～5 号・5 番～7 番・24 番～34 番を除く)・3・4・6・7 丁目、新砂 1 丁目 (1 番を除く)・2・3 丁目、新木場、夢の島、若洲

- ・ 標本誤差（サンプル誤差）はおおよそ下表のとおりである。標本誤差は次の式によって得られる。標本誤差の幅は、①比率算出の基数（n）、②回答比率（p）によって異なる。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(100-p)}{n}}$$

N = 母集団
 n = 回収数
 p = 回答率

図表 I - 3 誤差率

回答比率 (p) (n)	90%または 10%程度	80%または 20%程度	70%または 30%程度	60%または 40%程度	50%程度
1,288	1.67%	2.23%	2.55%	2.73%	2.79%
1,100	1.81%	2.41%	2.76%	2.95%	3.02%
1,000	1.90%	2.53%	2.90%	3.10%	3.16%
500	2.68%	3.58%	4.10%	4.38%	4.47%
300	3.46%	4.62%	5.29%	5.66%	5.77%
100	6.00%	8.00%	9.17%	9.80%	10.00%

※母集団は令和8年1月1日時点の住民基本台帳上の満18歳以上（人口：466,981人）

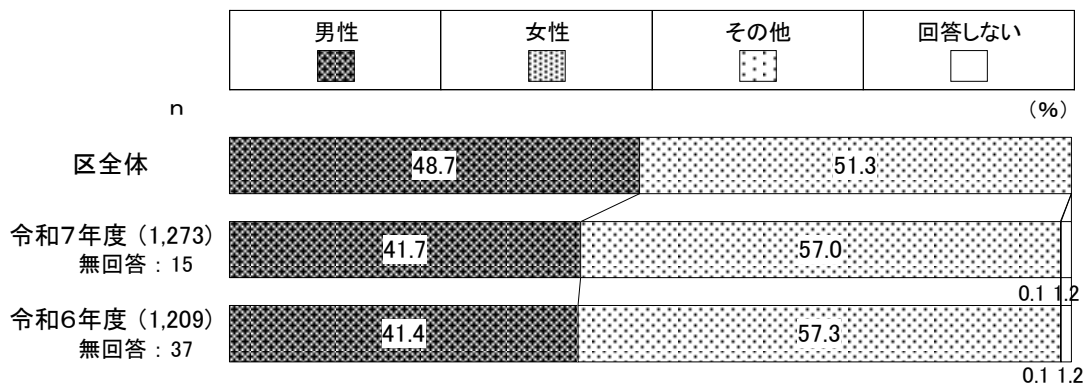
上表は、各設問における、各選択肢の回答率に応じた標本誤差の大きさを表している。本調査の場合は、回収数が1,288サンプルであったため、ある設問Aの選択肢aの回答率が50%であった場合（誤差が最も大きくなる場合）でも、その結果の誤差は±2.79%、すなわち、母集団（全区民）の回答率は47.21%～52.79%の範囲内に収まっていることを示している。

Ⅱ. サンプル（調査回答者）特性

F 1 性別

- 区全体では、男性、女性は概ね同じ割合であるが、回答者の性別では女性の割合が男性より15.3ポイント高くなっている。

図表Ⅱ－1 性別

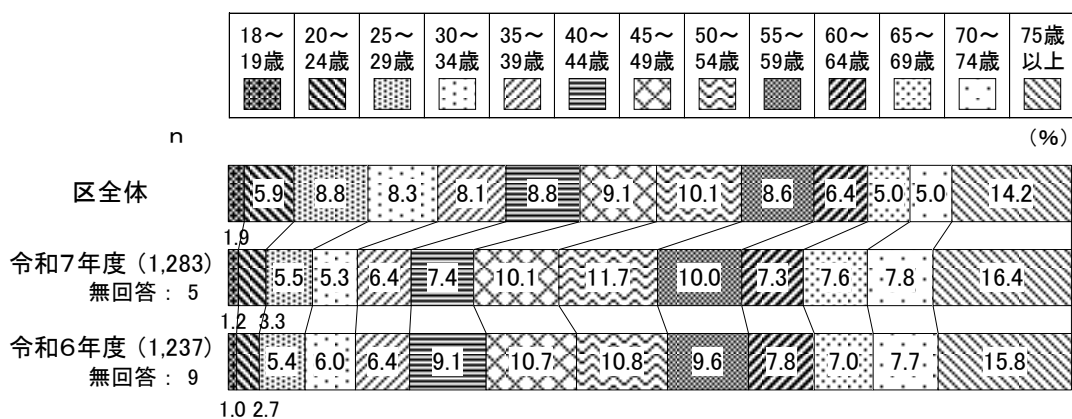


※ 区全体は令和8年1月1日時点の住民基本台帳上の満18歳以上（人口：466,981人）

F 2 年齢

- 年齢別では、75歳以上が16.4%で最も高く、70歳以上の回答者は全体の24.2%となっている。年代別で見ると、10歳代は1.2%、20歳代は8.8%、30歳代は11.7%、40歳代は17.5%、50歳代は21.7%、60歳代は14.9%となっている。

図表Ⅱ－2 年齢

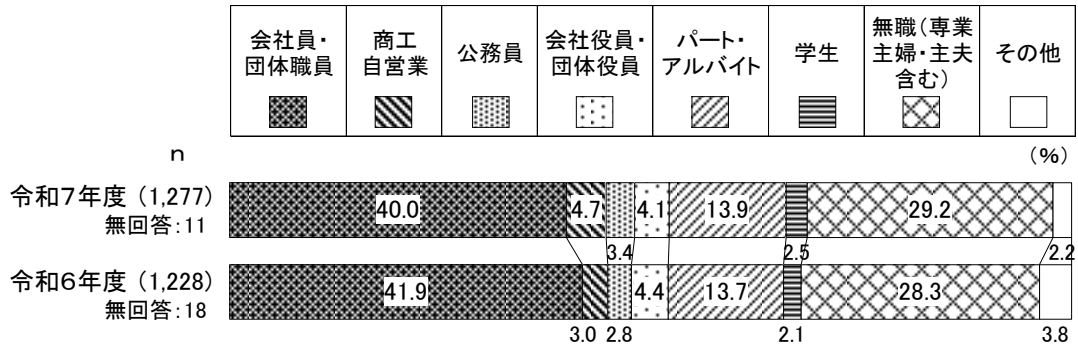


※ 区全体は令和8年1月1日時点の住民基本台帳上の満18歳以上（人口：466,981人）

F 3 職業

- ・職業別では、会社員・団体職員が40.0%で最も高く、次いで無職（専業主婦・主夫含む）が29.2%となっている。

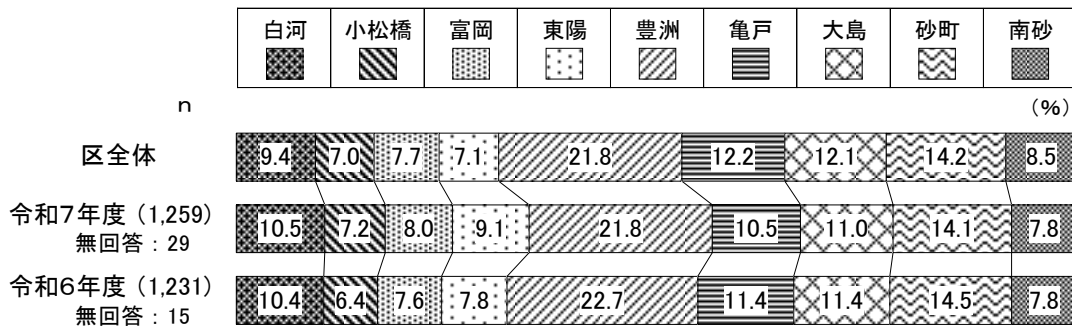
図表Ⅱ－3 職業



F 4 居住地区

- ・居住地区別では、豊洲地区が21.8%で最も高く、次いで砂町地区が14.1%となっている。

図表Ⅱ－4 居住地区

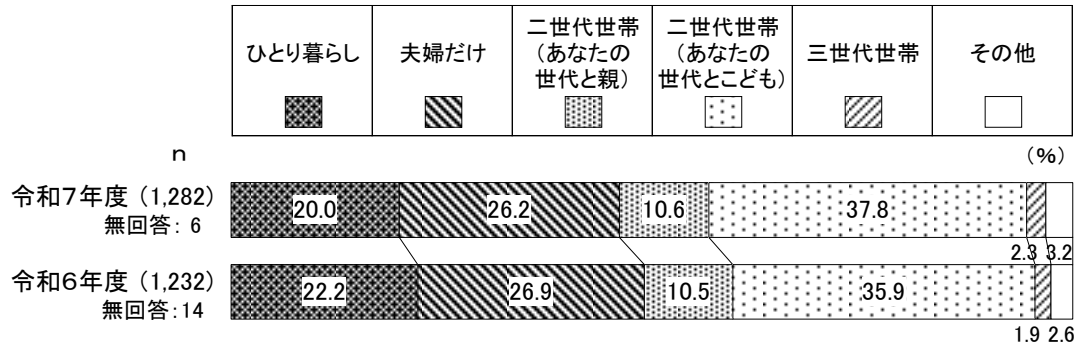


※ 区全体は令和8年1月1日時点の住民基本台帳上の満18歳以上（人口：466,981人）

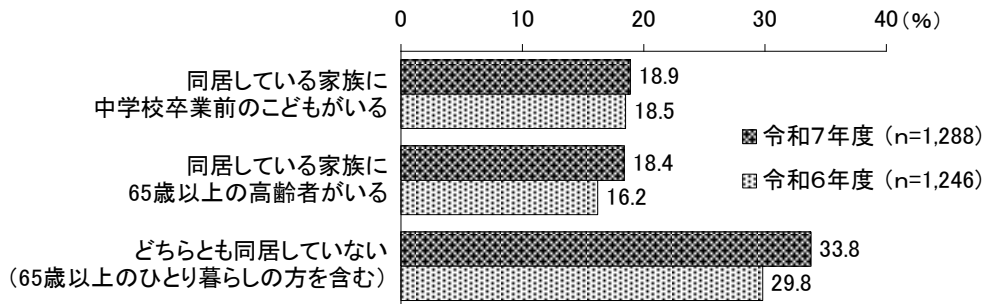
F 5 世帯の構成

- 世帯の構成別では、二世帯世帯（あなたの世代と子ども）が37.8%で最も高く、次いで夫婦だけが26.2%となっている。また、家族に中学校卒業前の子どもがいる回答者が18.9%、家族に65歳以上の高齢者がいる回答者が18.4%となっている。

図表Ⅱ－5 世帯の構成



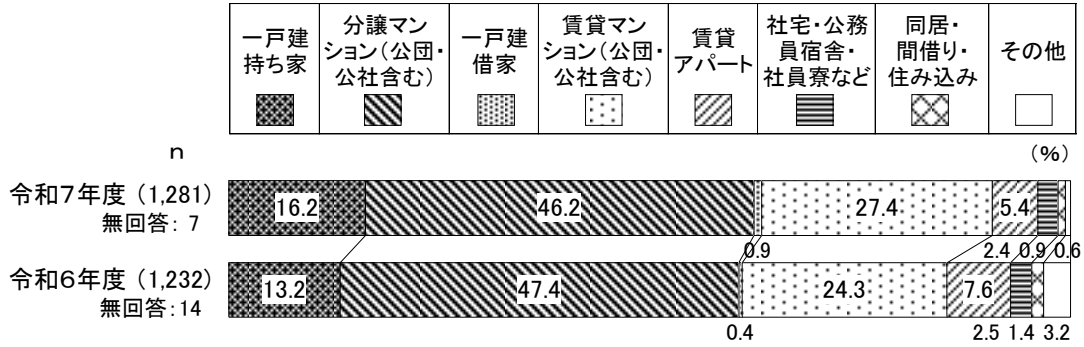
図表Ⅱ－6 世帯に中学校卒業前の子ども及び65歳以上の高齢者のいる回答者



F 6 住宅の形態

- 住宅の形態別では、分譲マンション（公団・公社含む）が46.2%で最も高く、次いで賃貸マンション（公団・公社含む）が27.4%となっている。

図表Ⅱ－7 住宅の形態



※ 公団とは「UR都市機構（旧日本住宅公団、住宅・都市整備公団、都市基盤整備公団）」、公社とは「東京都住宅供給公社」を指す。

Ⅲ. 江東区長期計画における成果指標

- ・本アンケートの結果を利用した長期計画の各施策の指標について整理した。なお、単位は全て「%」である。
- ・全ての集計は小数点以下第2位を四捨五入して算出した。そのため、2つ以上の項目を合計した割合は、各集計値を合計した数値とは異なる場合がある。
- ・割合については、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。そのため、合計が100.0%にならない場合がある。
- ・成果指標の数値は母集団から無回答を除いて算出した。
- ・問7-1、8-1、10-1、25-1、30-1、36②③、40-1、40-2、45-1、45-2、59-1は、指標数値の取得とは直接関係がないため、本項では記載しない。これらの設問の結果は、「Ⅳ. 調査結果」を参照のこと。

■問1 みどりの中の都市「CITY IN THE GREEN」の実現：施策1（詳細はP29）	
指標名：	水辺と緑に満足している区民の割合
算出方法：	「1. 満足している」及び「2. どちらかといえば満足している」の割合を算出
指標値：	72.8%

図表Ⅲ-1 みどりの中の都市「CITY IN THE GREEN」の実現：施策1 集計結果

n=1,277	満足している	どちらかといえば満足している	どちらともいえない	どちらかといえば不満である	不満である	わからない
回答数	346	584	225	61	16	45
割合	27.1	45.7	17.6	4.8	1.3	3.5

無回答：11

■問2 みどりの中の都市「CITY IN THE GREEN」の実現：施策1（詳細はP31）	
指標名：	水辺と緑に関する活動に取り組んでいる区民の割合
算出方法：	「12. 特に何もしていない」以外の選択肢を1個以上選んだ区民の割合を算出
指標値：	25.5%

図表Ⅲ-2 みどりの中の都市「CITY IN THE GREEN」の実現：施策1 集計結果

n=1,272	1個選択	2個選択	3個選択	4個選択	5個選択	6個以上選択	特に何もしていない
回答数	272	31	16	5	0	0	948
割合	21.4	2.4	1.3	0.4	0.0	0.0	74.5

無回答：16

■問3 みどりの中の都市「CITY IN THE GREEN」の実現：施策1（詳細はP34）	
指標名：	江東区では水辺や緑に親しむ機会があると回答した区民の割合
算出方法：	「1. そう感じる」及び「2. どちらかといえばそう感じる」の割合を算出
指標値：	65.2%

図表Ⅲ－3 みどりの中の都市「CITY IN THE GREEN」の実現：施策1 集計結果

n=1,283	そう感じる	どちらかといえばそう感じる	どちらともいえない	どちらかといえばそう感じない	そう感じない	わからない
回答数	315	521	188	84	88	87
割合	24.6	40.6	14.7	6.5	6.9	6.8

無回答：5

■問4 みどりの中の都市「CITY IN THE GREEN」の実現：施策1（詳細はP36）	
指標名：	生物多様性の内容を知っている区民の割合
算出方法：	「1. 言葉の意味を知っていた」の割合を算出
指標値：	40.9%

図表Ⅲ－4 みどりの中の都市「CITY IN THE GREEN」の実現：施策1 集計結果

n=1,281	言葉の意味を知っていた	言葉の意味は知らないが、言葉は聞いたことがあった	知らなかった
回答数	524	360	397
割合	40.9	28.1	31.0

無回答：7

■問5 地球温暖化対策と環境保全：施策2（詳細はP38）	
指標名：	環境に配慮した行動に取り組む区民の割合
算出方法：	「12. 特に何もしていない」以外の選択肢を5個以上選んだ区民の割合を算出
指標値：	67.0%

図表Ⅲ－5 地球温暖化対策と環境保全：施策2 集計結果

n=1,281	1個選択	2個選択	3個選択	4個選択	5個選択	6個選択	7個選択	8個選択	9個選択	10個選択	11個選択	特に何もしていない
回答数	33	62	133	170	218	201	180	130	82	38	9	25
割合	2.6	4.8	10.4	13.3	17.0	15.7	14.1	10.1	6.4	3.0	0.7	2.0

無回答：7

■問6 持続可能な資源循環型地域社会の形成：施策3（詳細はP41）	
指標名：	ごみを減らす活動に取り組んでいる区民の割合
算出方法：	「10. 特に何もしていない」以外の選択肢を4個以上選んだ区民の割合を算出
指標値：	55.2%

図表Ⅲ－6 持続可能な資源循環型地域社会の形成：施策3 集計結果

n=1,282	1個 選択	2個 選択	3個 選択	4個 選択	5個 選択	6個 選択	7個 選択	8個 選択	9個 選択	特に何 もして いない
回答数	90	201	238	252	207	152	73	24	0	45
割合	7.0	15.7	18.6	19.7	16.1	11.9	5.7	1.9	0.0	3.5

無回答：6

■問7 みんなで取り組む子育て家庭への支援：施策5（詳細はP44）	
指標名：	地域に見守られて子育てしていると感じる保護者の割合
算出方法：	「1. そう感じる」及び「2. どちらかといえばそう感じる」の割合を算出
指標値：	65.4%

図表Ⅲ－7 みんなで取り組む子育て家庭への支援：施策5 集計結果

n=246	そう感じる	どちらか といえば そう 感じる	どちらか といえば そう 感じない	そう感じない	わからない
回答数	38	123	46	29	10
割合	15.4	50.0	18.7	11.8	4.1

無回答：15

■問8 みんなで取り組む子育て家庭への支援：施策5（詳細はP45）	
指標名：	必要な子育て情報が入手できる保護者の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	69.3%

図表Ⅲ－8 みんなで取り組む子育て家庭への支援：施策5 集計結果

n=241	そう思う	どちらか といえば そう 思う	どちらか といえば そう 思わない	そう思わない	わからない
回答数	29	138	50	13	11
割合	12.0	57.3	20.7	5.4	4.6

無回答：20

■問9 みんなで取り組む子育て家庭への支援：施策5 (詳細はP46)	
指標名：	しつけであっても子どもに体罰を与えてはならないと理解している区民の割合
算出方法：	「1. しつけであっても体罰はすべきではない」の割合を算出
指標値：	66.6%

図表Ⅲ-9 みんなで取り組む子育て家庭への支援：施策5 集計結果

n=1,135	しつけであっても体罰はすべきではない	しつけのためなら、ある程度の体罰もやむを得ない	しつけのためなら、体罰は必要である	わからない
回答数	756	262	16	101
割合	66.6	23.1	1.4	8.9

無回答：153

■問10 みんなで取り組む子育て家庭への支援：施策5 (詳細はP48)	
指標名：	児童虐待を疑ったときの通告先を知っている区民の割合
算出方法：	「1. 知っている」の割合を算出
指標値：	37.0%

図表Ⅲ-10 みんなで取り組む子育て家庭への支援：施策5 集計結果

n=1,139	知っている	知らない
回答数	421	718
割合	37.0	63.0

無回答：149

■問11 一人一人に向き合う学校教育の充実：施策6 (詳細はP51)	
指標名：	江東区では児童・生徒一人一人に向き合った教育を推進していると考え保護者の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	36.7%

図表Ⅲ-11 一人一人に向き合う学校教育の充実：施策6 集計結果

n=248	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
回答数	10	81	61	19	21	56
割合	4.0	32.7	24.6	7.7	8.5	22.6

無回答：13

■問12 こどもが安全に過ごせる居場所・環境づくり：施策8（詳細はP52）	
指標名：	こどもの安全・安心な居場所があると感じている区民の割合
算出方法：	「1. そう感じる」及び「2. どちらかといえばそう感じる」の割合を算出
指標値：	43.1%

図表Ⅲ-12 こどもが安全に過ごせる居場所・環境づくり：施策8 集計結果

n=1,111	そう感じる	どちらかといえばそう感じる	どちらともいえない	どちらかといえばそう感じない	そう感じない	わからない
回答数	130	349	285	81	49	217
割合	11.7	31.4	25.7	7.3	4.4	19.5

無回答：177

■問13 こどもが安全に過ごせる居場所・環境づくり：施策8（詳細はP54）	
指標名：	行政・地域の活動により、こどもの安全・安心が確保されていると思う区民の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	53.9%

図表Ⅲ-13 こどもが安全に過ごせる居場所・環境づくり：施策8 集計結果

n=1,212	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
回答数	196	457	232	66	56	205
割合	16.2	37.7	19.1	5.4	4.6	16.9

無回答：76

■問14 次代を担う青少年の健全育成の推進：施策9（詳細はP56）	
指標名：	青少年が健全に育つことができる環境が整っていると思う区民の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	22.5%

図表Ⅲ-14 次代を担う青少年の健全育成の推進：施策9 集計結果

n=1,239	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
回答数	52	227	310	59	53	538
割合	4.2	18.3	25.0	4.8	4.3	43.4

無回答：49

■問15 次代を担う青少年の健全育成の推進：施策9（詳細はP58）	
指標名：	この1年にサークルや趣味を目的として区公共施設を利用または地域などの活動に参加したことのある青少年の割合
算出方法：	青少年(40歳未満)の回答者における「1. ある」の割合を算出
指標値：	15.5%

図表Ⅲ-15 次代を担う青少年の健全育成の推進：施策9 集計結果

n=278	ある	ない
回答数	43	235
割合	15.5	84.5

無回答：1

■問45 次代を担う青少年の健全育成の推進：施策9（詳細はP119）	
指標名：	「どこにも助けてくれる人がいない」「どこにも相談できる人がいない」とする青少年の割合
算出方法：	青少年(40歳未満)の回答者における「2. いない」の割合を算出
指標値：	11.6%

図表Ⅲ-16 次代を担う青少年の健全育成の推進：施策9 集計結果

n=277	いる	いない	どちらとも いえない
回答数	209	32	36
割合	75.5	11.6	13.0

無回答：2

■問16 次代を担う青少年の健全育成の推進：施策9（詳細はP60）	
指標名：	SNSやスマートフォン等の安全な利用方法やルール、マナーについて学んだことがある青少年の割合
算出方法：	青少年(40歳未満)の回答者における「1. ある」の割合を算出
指標値：	64.0%

図表Ⅲ-17 次代を担う青少年の健全育成の推進：施策9 集計結果

n=278	ある	ない
回答数	178	100
割合	64.0	36.0

無回答：1

■問17 魅力的で活力ある区内産業・商店街の形成：施策10 （詳細はP62）	
指標名：	区内の企業やお店が元気に活動していると思う区民の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	48.1%

図表Ⅲ－18 魅力的で活力ある区内産業・商店街の形成：施策10 集計結果

n=1,263	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
回答数	116	492	318	125	83	129
割合	9.2	39.0	25.2	9.9	6.6	10.2

無回答：25

■問18 魅力的で活力ある区内産業・商店街の形成：施策10 （詳細はP64）	
指標名：	魅力ある商店街やお店が区内にあると思う区民の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	60.9%

図表Ⅲ－19 魅力的で活力ある区内産業・商店街の形成：施策10 集計結果

n=1,264	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
回答数	294	476	296	116	82
割合	23.3	37.7	23.4	9.2	6.5

無回答：24

■問19 人・地域をつなぐ地域コミュニティの活性化：施策11 （詳細はP66）	
指標名：	この1年間に地域活動に参加した区民の割合
算出方法：	「1. よく参加している」及び「2. ときどき参加している」の割合を算出
指標値：	17.8%

図表Ⅲ－20 人・地域をつなぐ地域コミュニティの活性化：施策11 集計結果

n=1,258	よく参加している	ときどき参加している	参加したことはあるが、今はほとんど参加していない	まったく参加したことはない
回答数	62	162	207	827
割合	4.9	12.9	16.5	65.7

無回答：30

■問19-1 人・地域をつなぐ地域コミュニティの活性化：施策11（詳細はP68）	
指標名：	地域活動に関心がない区民の割合
算出方法：	問19で「3. 参加したことはあるが、今はほとんど参加していない」または「4. まったく参加したことはない」と回答した区民における「4. どちらかといえばそう思わない」及び「5. そう思わない」の割合を算出
指標値：	44.3%

図表Ⅲ-21 人・地域をつなぐ地域コミュニティの活性化：施策11 集計結果

n=1,007	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
回答数	64	206	291	204	242
割合	6.4	20.5	28.9	20.3	24.0

無回答：27

■問20 人・地域をつなぐ地域コミュニティの活性化：施策11（詳細はP69）	
指標名：	気軽に利用できる地域活動施設があると思う区民の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	53.6%

図表Ⅲ-22 人・地域をつなぐ地域コミュニティの活性化：施策11 集計結果

n=1,275	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
回答数	205	478	172	79	74	267
割合	16.1	37.5	13.5	6.2	5.8	20.9

無回答：13

■問21 人・地域をつなぐ地域コミュニティの活性化：施策11（詳細はP71）	
指標名：	この1年間に地域イベントに参加したことがある区民の割合
算出方法：	「1. 参加した」の割合を算出
指標値：	29.5%

図表Ⅲ-23 人・地域をつなぐ地域コミュニティの活性化：施策11 集計結果

n=1,276	参加した	参加していない
回答数	377	899
割合	29.5	70.5

無回答：12

■問22 多様性を認め合う（ダイバーシティ）社会の実現：施策12 （詳細はP73）	
指標名：	江東区は多様性を認め合い、誰もが尊重され、暮らしやすいまちであると思う区民の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	50.6%

図表Ⅲ-24 多様性を認め合う（ダイバーシティ）社会の実現：施策12 集計結果

n=1,268	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
回答数	125	517	505	56	65
割合	9.9	40.8	39.8	4.4	5.1

無回答：20

■問23 多様性を認め合う（ダイバーシティ）社会の実現：施策12 （詳細はP75）	
指標名：	多様性について自分にも関わりがあると感じている区民の割合
算出方法：	「1. そう感じる」及び「2. どちらかといえばそう感じる」の割合を算出
指標値：	49.4%

図表Ⅲ-25 多様性を認め合う（ダイバーシティ）社会の実現：施策12 集計結果

n=1,260	そう感じる	どちらかといえばそう感じる	どちらともいえない	どちらかといえばそう感じない	そう感じない
回答数	234	389	356	116	165
割合	18.6	30.9	28.3	9.2	13.1

無回答：28

■問24 多様性を認め合う（ダイバーシティ）社会の実現：施策12 （詳細はP77）	
指標名：	仕事と生活の調和がとれた生き方を実現することが出来ていると答えた区民の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	52.6%

図表Ⅲ-26 多様性を認め合う（ダイバーシティ）社会の実現：施策12 集計結果

n=1,268	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
回答数	197	470	230	157	129	85
割合	15.5	37.1	18.1	12.4	10.2	6.7

無回答：20

■問25 多様性を認め合う（ダイバーシティ）社会の実現：施策12（詳細はP79）	
指標名：	DV相談窓口を知っている区民の割合
算出方法：	「1. 知っている」の割合を算出
指標値：	35.2%

図表Ⅲ-27 多様性を認め合う（ダイバーシティ）社会の実現：施策12 集計結果

n=1,265	知っている	知らない
回答数	445	820
割合	35.2	64.8

無回答：23

■問26 生涯にわたり学習できる環境の充実：施策13（詳細はP82）	
指標名：	趣味や学習などの集まりに参加している区民の割合
算出方法：	「1. よく参加している」及び「2. ときどき参加している」の割合を算出
指標値：	11.7%

図表Ⅲ-28 生涯にわたり学習できる環境の充実：施策13 集計結果

n=1,269	よく参加している	ときどき参加している	参加したことはあるが、今はほとんど参加していない	まったく参加していない
回答数	62	87	262	858
割合	4.9	6.9	20.6	67.6

無回答：19

■問27 生涯にわたり学習できる環境の充実：施策13（詳細はP84）	
指標名：	学習や講座などから新たに学び、地域活動や仕事などに活かしたいと考えている区民の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	51.0%

図表Ⅲ-29 生涯にわたり学習できる環境の充実：施策13 集計結果

n=1,254	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
回答数	219	421	361	90	163
割合	17.5	33.6	28.8	7.2	13.0

無回答：34

■問28 生涯にわたり学習できる環境の充実：施策13（詳細はP86）	
指標名：	図書館が学びの場として役立っていると感じている区民の割合
算出方法：	「1. そう感じる」及び「2. どちらかといえばそう感じる」の割合を算出
指標値：	75.1%

図表Ⅲ-30 生涯にわたり学習できる環境の充実：施策13 集計結果

n=1,267	そう感じる	どちらかとい えば感じる	どちらかとい えば感じない	そう感じない	わからない
回答数	455	496	84	60	172
割合	35.9	39.1	6.6	4.7	13.6

無回答：21

■問29 スポーツを楽しめる環境の充実：施策14（詳細はP88）	
指標名：	週1回以上スポーツ・運動を行う区民の割合
算出方法：	「1. 週3日以上（年151日以上）」、「2. 週2日程度（年101日～150日）」、「3. 週1日程度（年51日～100日）」と回答した区民の割合を算出
指標値：	53.8%

■問29 スポーツを楽しめる環境の充実：施策14（詳細はP88）	
指標名：	年1回以上スポーツ・運動を行う区民の割合
算出方法：	「1. 週3日以上（年151日以上）」、「2. 週2日程度（年101日～150日）」、「3. 週1日程度（年51日～100日）」、「4. 月に1～3日程度（年12日～50日）」、「5. 3か月に1～2日程度（年4日～11日）」、「6. 年に1～3日程度」と回答した区民の割合を算出
指標値：	72.2%

図表Ⅲ-31 スポーツを楽しめる環境の充実：施策14 集計結果

n=1,261	週3日 以上 （年151日 以上）	週2日 程度 （年101日 ～150日）	週1日 程度 （年51日～ 100日）	月に1～ 3日程度 （年12日～ 50日）	3か月に1 ～2日程度 （年4日～ 11日）	年に 1～3日 程度	スポーツ・ 運動をした が、頻度は わからない	スポーツ・ 運動を全く しなかった
回答数	255	185	238	129	59	45	122	228
割合	20.2	14.7	18.9	10.2	4.7	3.6	9.7	18.1

無回答：27

■問30 文化・歴史の継承と観光振興：施策15（詳細はP90）	
指標名：	江東区は魅力的な文化観光資源があると思う区民の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	69.0%

図表Ⅲ－32 文化・歴史の継承と観光振興：施策15 集計結果

n=1,265	そう思う	どちらかとい えはそう 思う	どちらかとい えはそう 思わない	そう思わない	わからない
回答数	368	505	130	57	205
割合	29.1	39.9	10.3	4.5	16.2

無回答：23

■問31 文化・歴史の継承と観光振興：施策15（詳細はP93）	
指標名：	江東区には未来に引き継ぎたい文化財、民俗芸能や伝統芸能があると思う区民の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	70.3%

図表Ⅲ－33 文化・歴史の継承と観光振興：施策15 集計結果

n=1,278	そう思う	どちらかとい えはそう 思う	どちらとも いえない	どちらかとい えはそう 思わない	そう思わない	わからない
回答数	480	419	110	33	26	210
割合	37.6	32.8	8.6	2.6	2.0	16.4

無回答：10

■問32 切れ目のない支援による母子保健の充実：施策16（詳細はP95）	
指標名：	母子保健サービスが充実していると思う保護者の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	72.1%

図表Ⅲ－34 切れ目のない支援による母子保健の充実：施策16 集計結果

n=244	そう思う	どちらかとい えはそう 思う	どちらとも いえない	どちらかとい えはそう 思わない	そう思わない	わからない
回答数	57	119	33	9	5	21
割合	23.4	48.8	13.5	3.7	2.0	8.6

無回答：17

■問33 健康づくりの推進と保健・医療体制の充実：施策17 (詳細はP96)	
指標名：	自分は健康だと思う区民の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	69.7%

図表Ⅲ－35 健康づくりの推進と保健・医療体制の充実：施策17 集計結果

n=1,264	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
回答数	333	548	179	93	97	14
割合	26.3	43.4	14.2	7.4	7.7	1.1

無回答：24

■問34 健康づくりの推進と保健・医療体制の充実：施策17 (詳細はP98)	
指標名：	悩みを抱えた時やストレスを感じた時、支援を求めることにためらいを感じる区民の割合
算出方法：	「1. そう感じる」及び「2. どちらかといえばそう感じる」の割合を算出
指標値：	47.4%

図表Ⅲ－36 健康づくりの推進と保健・医療体制の充実：施策17 集計結果

n=1,265	そう感じる	どちらかといえばそう感じる	どちらともいえない	どちらかといえばそう感じない	そう感じない
回答数	195	405	268	202	195
割合	15.4	32.0	21.2	16.0	15.4

無回答：23

■問35 健康づくりの推進と保健・医療体制の充実：施策17 (詳細はP100)	
指標名：	この1年間でがん検診を受診した区民の割合
算出方法：	「5. がん検診は受けていない」と回答した区民を除く割合を算出 (n-「がん検診を受けていない」)/n ※無回答を除く
指標値：	56.0%

図表Ⅲ－37 健康づくりの推進と保健・医療体制の充実：施策17 集計結果

n=1,252	区のがん検診	職場のがん検診	人間ドックなどのがん検診	その他	がん検診は受けていない
回答数	267	230	227	56	551
割合	21.3	18.4	18.1	4.5	44.0

無回答：36

■問36 健康づくりの推進と保健・医療体制の充実：施策17 (詳細はP102)	
指標名：	かかりつけ医を持つ区民の割合
算出方法：	「1. もっている」の割合を算出
指標値：	68.5%

図表Ⅲ-38 健康づくりの推進と保健・医療体制の充実：施策17 集計結果

n=1,271	もっている	もっていない
回答数	871	400
割合	68.5	31.5

無回答：17

■問37 健康づくりの推進と保健・医療体制の充実：施策17 (詳細はP105)	
指標名：	必要な時に、必要とする医療を受けられると思う区民の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	70.9%

図表Ⅲ-39 健康づくりの推進と保健・医療体制の充実：施策17 集計結果

n=1,272	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
回答数	402	500	226	75	69
割合	31.6	39.3	17.8	5.9	5.4

無回答：16

■問38 感染症対策と生活衛生の確保：施策18 (詳細はP107)	
指標名：	「手洗い」「咳エチケット」を実施している区民の割合
算出方法：	「手洗い」「咳エチケット」全てについて「行っている」と回答した区民の割合を算出
指標値：	92.5%

図表Ⅲ-40 感染症対策と生活衛生の確保：施策18 集計結果

n=1,274	両方行っている	どちらか片方のみ行っている	両方行っていない
回答数	1,178	82	14
割合	92.5	6.4	1.1

無回答：14

■問39 高齢者支援と活躍の推進：施策19 (詳細はP110)	
指標名：	生きがいや幸せを感じている高齢者の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	69.8%

図表Ⅲ－41 高齢者支援と活躍の推進：施策19 集計結果

n=400	そう思う	どちらかとい えればそう 思う	どちらとも いえない	どちらかとい えればそう 思わない	そう思わない	わからない
回答数	115	164	72	20	21	8
割合	28.8	41.0	18.0	5.0	5.3	2.0

無回答：7

■問40 高齢者支援と活躍の推進：施策19 (詳細はP110)	
指標名：	地域活動や就労をしている高齢者の割合
算出方法：	「1. 就労をしている」及び「2. 地域活動をしている」の割合を算出
指標値：	31.8%

図表Ⅲ－42 高齢者支援と活躍の推進：施策19 集計結果

n=393	就労を している	地域活動を している	何もして いない
回答数	55	70	269
割合	14.0	17.8	68.4

無回答：14

■問41 高齢者支援と活躍の推進：施策19 (詳細はP112)	
指標名：	地域包括支援センター(長寿サポートセンター)の活動内容を知っている区民の割合
算出方法：	「1. 内容を知っている」及び「2. ある程度の内容は知っている」の割合を算出
指標値：	29.2%

図表Ⅲ－43 高齢者支援と活躍の推進：施策19 集計結果

n=1,244	内容を 知っている	ある程度 の内容は 知っている	内容は知らない が、聞いた ことはある	知らない
回答数	141	222	316	565
割合	11.3	17.8	25.4	45.4

無回答：44

■問42 高齢者支援と活躍の推進：施策19（詳細はP114）	
指標名：	介護予防活動に取り組んでいる区民の割合
算出方法：	「7. 特に何もしていない」以外の選択肢を3個以上選んだ区民の割合を算出
指標値：	41.9%

図表Ⅲ－44 高齢者支援と活躍の推進：施策19 集計結果

n=399	1個 選択	2個 選択	3個 選択	4個 選択	5個 選択	6個 選択	特に何も していない
回答数	70	113	104	54	9	0	49
割合	17.5	28.3	26.1	13.5	2.3	0.0	12.3

無回答：8

■問43 障害者支援と共生社会の実現：施策20（詳細はP115）	
指標名：	まちで障害者が困っているときに声をかけたことのある区民の割合
算出方法：	「1. ある」の割合を算出
指標値：	47.2%

図表Ⅲ－45 障害者支援と共生社会の実現：施策20 集計結果

n=1,266	ある	ない
回答数	598	668
割合	47.2	52.8

無回答：22

■問44 障害者支援と共生社会の実現：施策20（詳細はP117）	
指標名：	障害者が社会参加しやすいまちだと思う区民の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	26.8%

図表Ⅲ－46 障害者支援と共生社会の実現：施策20 集計結果

n=1,267	そう思う	どちらか といえば そう 思う	どちらとも いえ ない	どちらか といえば そう 思 わ ない	そう 思 わ な い	わ か ら な い
回答数	52	287	257	57	37	577
割合	4.1	22.7	20.3	4.5	2.9	45.5

無回答：21

■問45 地域福祉と生活支援の充実：施策21 (詳細はP119)	
指標名：	身近に生活の相談をすることができる人がいる区民の割合
算出方法：	「1. いる」の割合を算出
指標値：	70.7%

図表Ⅲ－47 地域福祉と生活支援の充実：施策21 集計結果

n=1,260	いる	いない	どちらとも いえない
回答数	891	172	197
割合	70.7	13.7	15.6

無回答：28

■問46 地域福祉と生活支援の充実：施策21 (詳細はP125)	
指標名：	民生・児童委員や社会福祉協議会等、困りごとの相談先を知っている区民の割合
算出方法：	「1. 知っている」の割合を算出
指標値：	18.5%

図表Ⅲ－48 地域福祉と生活支援の充実：施策21 集計結果

n=1,260	知っている	知らない
回答数	233	1,027
割合	18.5	81.5

無回答：28

■問47 計画的なまちづくりの推進：施策22 (詳細はP128)	
指標名：	地域の特色を活かしたまちづくりが進んでいると思う区民の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	48.5%

図表Ⅲ－49 計画的なまちづくりの推進：施策22 集計結果

n=1,263	そう思う	どちらか といえば そう 思う	どちらとも いえない	どちらか といえば そう 思わない	そう 思わない	わからない
回答数	103	509	251	74	49	277
割合	8.2	40.3	19.9	5.9	3.9	21.9

無回答：25

■問48 計画的なまちづくりの推進：施策22（詳細はP130）	
指標名：	江東区のまち並みが美しいと思う区民の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	58.6%

図表Ⅲ－50 計画的なまちづくりの推進：施策22 集計結果

n=1,265	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
回答数	205	536	323	121	80
割合	16.2	42.4	25.5	9.6	6.3

無回答：23

■問49 計画的なまちづくりの推進：施策22（詳細はP132）	
指標名：	江東区ではユニバーサルデザインの取り組みが進んでいると思う区民の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	41.9%

図表Ⅲ－51 計画的なまちづくりの推進：施策22 集計結果

n=1,262	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
回答数	88	441	508	128	97
割合	7.0	34.9	40.3	10.1	7.7

無回答：26

■問50 良好な住宅の形成と住環境の向上：施策23（詳細はP134）	
指標名：	住環境に満足している区民の割合
算出方法：	「1. 満足している」及び「2. どちらかといえば満足している」の割合を算出
指標値：	78.0%

図表Ⅲ－52 良好な住宅の形成と住環境の向上：施策23 集計結果

n=1,268	満足している	どちらかといえば満足している	どちらともいえない	どちらかといえば不満である	不満である
回答数	404	585	150	92	37
割合	31.9	46.1	11.8	7.3	2.9

無回答：20

■問51 便利で安全な道路・交通ネットワークの整備：施策24（詳細はP136）	
指標名：	区内の移動環境に対する区民の満足度
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	63.0%

図表Ⅲ－53 便利で安全な道路・交通ネットワークの整備：施策24 集計結果

n=1,267	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
回答数	328	470	193	157	101	18
割合	25.9	37.1	15.2	12.4	8.0	1.4

無回答：21

■問52 便利で安全な道路・交通ネットワークの整備：施策24（詳細はP138）	
指標名：	交通ルールが定着していると思う区民の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	46.6%

図表Ⅲ－54 便利で安全な道路・交通ネットワークの整備：施策24 集計結果

n=1,271	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
回答数	154	438	370	180	129
割合	12.1	34.5	29.1	14.2	10.1

無回答：17

■問53 災害に強い都市の形成：施策25（詳細はP140）	
指標名：	災害に強いまちづくりが進んでいると思う区民の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	34.6%

図表Ⅲ－55 災害に強い都市の形成：施策25 集計結果

n=1,278	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
回答数	100	342	355	149	103	229
割合	7.8	26.8	27.8	11.7	8.1	17.9

無回答：10

■問54 災害に強い都市の形成：施策25（詳細はP142）	
指標名：	江東区洪水ハザードマップを見たことがあり、自宅周辺の状況を理解している区民の割合
算出方法：	「1. 見たことがあり、自宅周辺の状況も把握している」の割合を算出
指標値：	64.5%

図表Ⅲ－56 災害に強い都市の形成：施策25 集計結果

n=1,274	見たことがあり、自宅周辺の状況も把握している	見たことはあるが、自宅周辺の状況はわからない	見たことはない	あることも知らない
回答数	822	366	71	15
割合	64.5	28.7	5.6	1.2

無回答：14

■問55 地域防災力の強化：施策26（詳細はP144）	
指標名：	1年以内に防災訓練などの防災活動に参加したことがある区民の割合
算出方法：	「1. 過去1年以内に参加した」の割合を算出
指標値：	15.2%

図表Ⅲ－57 地域防災力の強化：施策26 集計結果

n=1,275	過去1年以内に参加した	過去3年以内に参加した	これまでに1度以上参加した	参加したことがない
回答数	194	128	287	666
割合	15.2	10.0	22.5	52.2

無回答：13

■問56 地域防災力の強化：施策26（詳細はP146）	
指標名：	「災害時に必要な備えが出来ている」区民の割合
算出方法：	「11. 特に何もしていない」以外の選択肢を5個以上選んだ区民の割合を算出
指標値：	40.7%

■問56 地域防災力の強化：施策26（詳細はP146）	
指標名：	家具などの転倒防止策を行っている区民の割合
算出方法：	「1. 家具などの転倒防止対策」の割合を算出
指標値：	43.5%

図表Ⅲ－58 地域防災力の強化：施策26 集計結果

n=1,279	1個選択	2個選択	3個選択	4個選択	5個選択	6個選択	7個選択	8個選択	9個選択	10個選択	特に何もしていない
回答数	120	148	171	214	174	147	104	65	29	2	105
割合	9.4	11.6	13.4	16.7	13.6	11.5	8.1	5.1	2.3	0.2	8.2

無回答：9

■問57 犯罪のないまちづくり：施策27（詳細はP149）	
指標名：	治安が良いと思う区民の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	65.7%

図表Ⅲ－59 犯罪のないまちづくり：施策27 集計結果

n=1,275	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
回答数	221	617	304	87	46
割合	17.3	48.4	23.8	6.8	3.6

無回答：13

■問58 犯罪のないまちづくり：施策27（詳細はP151）	
指標名：	日常生活で防犯対策をしている区民の割合
算出方法：	「9. 特に何もしていない」以外の選択肢を3個以上選んだ区民の割合を算出
指標値：	50.0%

図表Ⅲ－60 犯罪のないまちづくり：施策27 集計結果

n=1,276	1個選択	2個選択	3個選択	4個選択	5個選択	6個選択	7個選択	8個選択	特に何もしていない
回答数	188	395	338	167	72	42	19	0	55
割合	14.7	31.0	26.5	13.1	5.6	3.3	1.5	0.0	4.3

無回答：12

■問59 犯罪のないまちづくり：施策27（詳細はP154）	
指標名：	消費者トラブルについて相談できる所を知っている区民の割合
算出方法：	「1. 知っている」の割合を算出
指標値：	45.3%

図表Ⅲ－61 犯罪のないまちづくり：施策27 集計結果

n=1,268	知っている	知らない
回答数	575	693
割合	45.3	54.7

無回答：20

IV. 調査結果

- ・各設問について、分析を行った。なお、分析にあたっては、成果指標同様に無回答は割合に含めない。また、各設問の無回答数は記載していない。
- ・全ての集計は小数点以下第2位を四捨五入して算出しており、2つ以上の項目を合計した割合は、それぞれの四捨五入した数値を合計したものである。そのため、「Ⅲ. 江東区長期計画における成果指標」で表示されている指標値の合計値と数値が異なる場合がある。
- ・回答者が限定される設問は標本数が少なくなるため、単純集計のみとなっている。
- ・属性別の集計において塗りつぶしをしている項目は、その区分の上位2つまでの項目を示している。

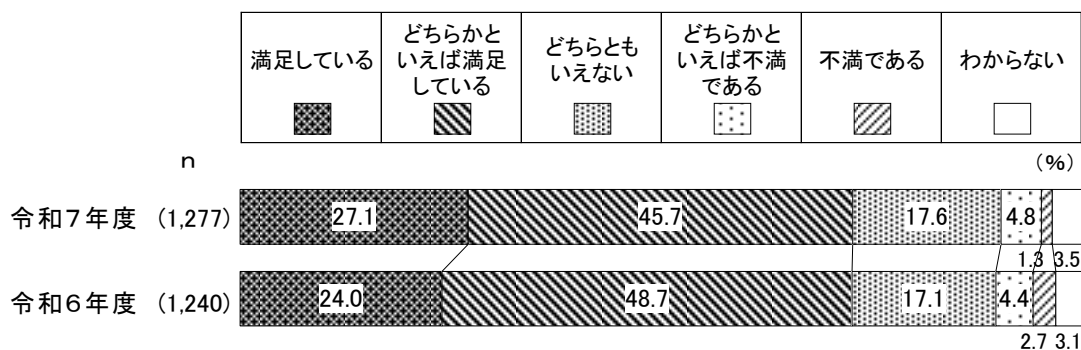
【みどりの中の都市「CITY IN THE GREEN」の実現】

問1 あなたは、江東区内の水辺と緑に満足していますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

<全体/経年比較>

- ・「どちらかといえば満足している」が45.7%で最も高く、次いで「満足している」(27.1%)となっている。
- ・これらを合わせた『満足している(計)』の割合は72.8%となっている。
- ・前回調査と比較すると、「満足している」が3.1ポイント増加している。

図表IV-1 水辺と緑に対する満足度



① 地区別

- ・地区別では、『満足している(計)』の割合は、白河地区(84.7%)、小松橋地区(81.3%)、東陽地区(76.8%)、豊洲地区(74.7%)、砂町地区(74.0%)、南砂地区(73.5%)で全体を上回っている。

図表IV-2 水辺と緑に対する満足度(地区別)

	n	満足している	どちらかといえば満足している	どちらともいえない	どちらかといえば不満である	不満である	わからない
全体	1,277	27.1	45.7	17.6	4.8	1.3	3.5
白河	131	39.7	45.0	9.9	3.1	0.8	1.5
小松橋	91	23.1	58.2	15.4	1.1	1.1	1.1
富岡	99	19.2	43.4	24.2	5.1	3.0	5.1
東陽	112	24.1	52.7	14.3	6.3	2.7	0.0
豊洲	272	33.5	41.2	16.5	5.9	0.7	2.2
亀戸	132	18.2	43.2	23.5	5.3	0.0	9.8
大島	138	22.5	42.0	24.6	7.2	0.0	3.6
砂町	177	28.8	45.2	19.2	2.3	1.1	3.4
南砂	98	28.6	44.9	10.2	7.1	3.1	6.1
居住地区不詳	27	7.4	70.4	14.8	0.0	3.7	3.7

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『満足している（計）』の割合に、特に大きな違いはみられない。
- ・年齢別にみると、『満足している（計）』の割合は、男性では20～24歳、35～49歳、75歳以上で男性全体を上回っている。女性では30～44歳、60～64歳、75歳以上で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－3 水辺と緑に対する満足度（性年齢別）

<男性>

(%)

	n	満足している	どちらかといえ ば満足している	どちらとも いえない	どちらかといえ ば不満である	不満である	わからない
全 体	526	29.1	44.7	17.5	4.9	1.0	2.9
18～19歳	6	16.7	50.0	16.7	16.7	0.0	0.0
20～24歳	21	28.6	52.4	14.3	0.0	0.0	4.8
25～29歳	32	34.4	28.1	25.0	9.4	0.0	3.1
30～34歳	24	33.3	37.5	16.7	12.5	0.0	0.0
35～39歳	30	33.3	43.3	20.0	3.3	0.0	0.0
40～44歳	34	26.5	52.9	17.6	2.9	0.0	0.0
45～49歳	59	35.6	39.0	11.9	6.8	1.7	5.1
50～54歳	62	37.1	35.5	16.1	8.1	1.6	1.6
55～59歳	49	36.7	34.7	18.4	4.1	0.0	6.1
60～64歳	37	24.3	48.6	13.5	5.4	2.7	5.4
65～69歳	48	27.1	43.8	20.8	2.1	2.1	4.2
70～74歳	40	12.5	60.0	20.0	2.5	2.5	2.5
75歳以上	84	22.6	56.0	17.9	2.4	0.0	1.2

<女性>

(%)

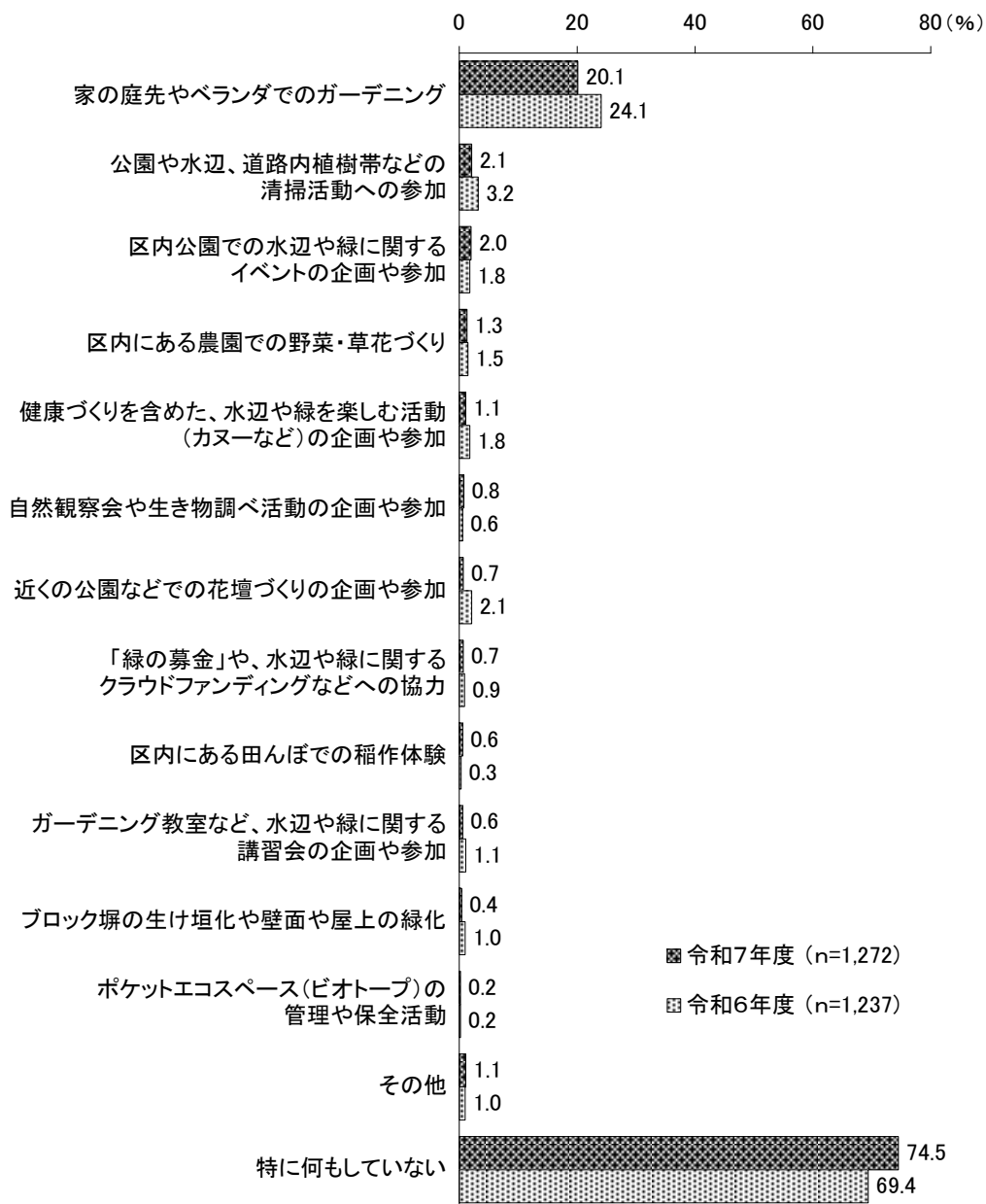
	n	満足している	どちらかといえ ば満足している	どちらとも いえない	どちらかといえ ば不満である	不満である	わからない
全 体	722	25.5	47.0	17.5	4.8	1.4	3.9
18～19歳	10	0.0	60.0	30.0	10.0	0.0	0.0
20～24歳	20	30.0	40.0	25.0	5.0	0.0	0.0
25～29歳	39	30.8	41.0	20.5	0.0	7.7	0.0
30～34歳	41	31.7	46.3	19.5	0.0	0.0	2.4
35～39歳	51	25.5	52.9	15.7	5.9	0.0	0.0
40～44歳	57	26.3	49.1	15.8	3.5	5.3	0.0
45～49歳	69	20.3	52.2	17.4	2.9	0.0	7.2
50～54歳	82	24.4	47.6	18.3	6.1	2.4	1.2
55～59歳	78	16.7	53.8	15.4	5.1	0.0	9.0
60～64歳	55	34.5	38.2	12.7	9.1	0.0	5.5
65～69歳	47	19.1	51.1	17.0	6.4	2.1	4.3
70～74歳	55	21.8	45.5	16.4	10.9	0.0	5.5
75歳以上	117	32.5	41.0	17.9	2.6	0.9	5.1
年齢不詳	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

問2 あなたは、以下のような水辺と緑に関する活動に取り組んでいますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○はいくつでも)

<全体/経年比較>

- ・「家の庭先やベランダでのガーデニング」が20.1%で最も高く、次いで「公園や水辺、道路内植樹帯などの清掃活動への参加」(2.1%)、「区内公園での水辺や緑に関するイベントの企画や参加」(2.0%)となっている。
- ・一方で、「特に何もしていない」と回答した人が、74.5%となっている。
- ・前回調査と比較すると、「特に何もしていない」が5.1ポイント増加、「家の庭先やベランダでのガーデニング」が4.0ポイント減少している。

図表Ⅳ-4 水辺と緑に関する活動



① 地区別

- ・地区別では、すべての地区で1位は「特に何もしていない」となっており、続いて「家の庭先やベランダでのガーデニング」が2位となっている。

図表IV-5 水辺と緑に関する活動（地区別）

(%)

	n	近くの公園などでの花壇づくりの企画や参加	家の庭先やベランダでのガーデニング	公園や水辺、道路内帯などの清掃活動への参加	自然観察や生き物調べ活動への参加	ポケットエコスペース(ビオトープ)の管理や保全活動	区内にある田んぼでの稲作体験	区内にある農園での野菜・草花づくり	健康づくりを含めた、水辺や緑を楽しむ活動(カヌーなど)の企画や参加	ガーデニング教室など、水辺や緑に関する講習会の企画や参加	「緑の募金」や、水辺や緑に関するクラウドファンディングなどへの協力	区内公園の水辺や緑に関するイベントの企画や参加	ブロック塀の生け垣や壁面や屋上の緑化	その他	特に何もしていない
全 体	1,272	0.7	20.1	2.1	0.8	0.2	0.6	1.3	1.1	0.6	0.7	2.0	0.4	1.1	74.5
白河	130	0.8	21.5	2.3	0.8	0.0	0.8	0.8	1.5	0.0	0.8	0.8	0.8	1.5	75.4
小松橋	91	1.1	24.2	1.1	1.1	0.0	0.0	1.1	0.0	2.2	1.1	1.1	1.1	2.2	70.3
富岡	99	1.0	20.2	2.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0	1.0	0.0	0.0	76.8
東陽	112	0.9	20.5	0.9	0.9	0.0	0.9	3.6	2.7	0.9	1.8	3.6	0.9	0.9	70.5
豊洲	273	0.4	17.2	3.7	0.4	0.0	0.0	2.9	0.7	0.0	0.7	2.9	0.0	1.5	74.4
亀戸	130	2.3	19.2	0.8	0.8	0.8	0.8	0.0	1.5	0.0	0.0	0.8	0.8	0.8	76.2
大島	138	0.0	19.6	1.4	0.7	0.0	0.7	0.0	2.2	0.0	1.4	2.9	0.0	0.7	76.8
砂町	175	0.0	20.0	1.7	0.6	0.0	0.6	0.0	0.6	0.6	0.0	0.6	0.0	1.1	77.1
南砂	97	1.0	25.8	2.1	3.1	1.0	2.1	2.1	1.0	1.0	1.0	3.1	0.0	1.0	69.1
居住地区不詳	27	0.0	14.8	7.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.7	3.7	0.0	77.8

② 性年齢別

- ・男女別にみると、男女ともに「特に何もしていない」が1位となっている。
- ・年齢別にみると、男性では「家の庭先やベランダでのガーデニング」の割合が、55～59歳、65歳以上で他の年代よりも高くなっている。女性では「家の庭先やベランダでのガーデニング」の割合が、18～19歳、60歳以上で他の年代よりも高くなっている。

図表Ⅳ－6 水辺と緑に関する活動（性年齢別）

<男性>

(%)

	n	近くの公園などの花壇づくりの企画や参加	家の庭先やベランダでのガーデニング	公園や水辺、道路内植樹帯などの清掃活動への参加	自然観察や生き物調べ活動の企画や参加	ポケットエコスペース(ビオトープ)の管理や保全活動	区内にあるほのぼの田んぼでの稲作体験	区内にある農園での野菜・草花づくり	健康づくりを含めた、水辺や緑を楽しむ活動(カヌーなど)の企画や参加	ガーデニング教室など、水辺や緑に関する講習会や講座の企画や参加	「緑の募金」や、水辺や緑に関するクラウドファンディングなどへの協力	区内公園で水辺や緑に関するイベントの企画や参加	ブロック塀の生け垣や壁面や屋上の緑化	その他	特に何もしていない
全体	525	0.6	18.5	2.1	0.8	0.4	0.8	1.3	1.5	0.0	0.6	2.5	0.2	1.1	75.6
18～19歳	6	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	66.7
20～24歳	21	0.0	9.5	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	85.7
25～29歳	32	0.0	9.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0	84.4
30～34歳	24	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	91.7
35～39歳	30	0.0	16.7	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	83.3
40～44歳	34	2.9	11.8	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0	0.0	2.9	0.0	0.0	79.4
45～49歳	58	0.0	15.5	0.0	1.7	0.0	0.0	1.7	3.4	0.0	0.0	1.7	0.0	1.7	79.3
50～54歳	62	3.2	16.1	0.0	0.0	1.6	1.6	1.6	0.0	0.0	1.6	0.0	0.0	1.6	80.6
55～59歳	49	0.0	24.5	4.1	0.0	2.0	0.0	2.0	0.0	0.0	2.0	2.0	0.0	0.0	69.4
60～64歳	37	0.0	18.9	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.7	0.0	0.0	78.4
65～69歳	48	0.0	22.9	6.3	2.1	0.0	6.3	4.2	4.2	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0	62.5
70～74歳	40	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5	0.0	0.0	2.5	75.0
75歳以上	84	0.0	25.0	3.6	0.0	0.0	0.0	1.2	2.4	0.0	0.0	3.6	1.2	3.6	65.5

<女性>

(%)

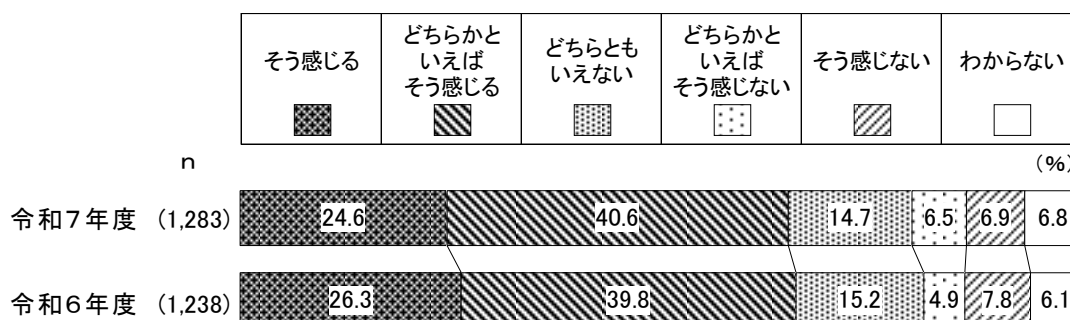
	n	近くの公園などの花壇づくりの企画や参加	家の庭先やベランダでのガーデニング	公園や水辺、道路内植樹帯などの清掃活動への参加	自然観察や生き物調べ活動の企画や参加	ポケットエコスペース(ビオトープ)の管理や保全活動	区内にあるほのぼの田んぼでの稲作体験	区内にある農園での野菜・草花づくり	健康づくりを含めた、水辺や緑を楽しむ活動(カヌーなど)の企画や参加	ガーデニング教室など、水辺や緑に関する講習会や講座の企画や参加	「緑の募金」や、水辺や緑に関するクラウドファンディングなどへの協力	区内公園で水辺や緑に関するイベントの企画や参加	ブロック塀の生け垣や壁面や屋上の緑化	その他	特に何もしていない
全体	719	0.8	21.8	2.2	0.7	0.1	0.4	1.3	0.8	1.0	0.8	1.7	0.6	1.1	73.2
18～19歳	10	0.0	30.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	70.0
20～24歳	20	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	90.0
25～29歳	39	0.0	5.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	0.0	0.0	92.3
30～34歳	41	0.0	12.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	87.8
35～39歳	51	0.0	17.6	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0	2.0	3.9	0.0	0.0	72.5
40～44歳	57	0.0	10.5	7.0	3.5	0.0	1.8	0.0	1.8	1.8	0.0	8.8	0.0	3.5	68.4
45～49歳	69	1.4	14.5	2.9	1.4	1.4	2.9	5.8	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	75.4
50～54歳	83	0.0	16.9	1.2	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	1.2	0.0	80.7
55～59歳	77	1.3	16.9	3.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	0.0	0.0	81.8
60～64歳	55	3.6	30.9	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8	1.8	0.0	0.0	0.0	69.1
65～69歳	47	0.0	25.5	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1	2.1	2.1	0.0	0.0	2.1	70.2
70～74歳	55	1.8	45.5	3.6	0.0	0.0	0.0	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	3.6	3.6	49.1
75歳以上	114	0.9	34.2	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	0.0	2.6	1.8	0.0	0.0	2.6	63.2
年齢不詳	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

問3 あなたは、江東区では水辺と緑に親しむ機会があると感じていますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

<全体／経年比較>

- ・「どちらかといえばそう感じる」が40.6%で最も高く、次いで「そう感じる」(24.6%)となっている。
- ・これらを合わせた『そう感じる(計)』の割合は65.2%となっている。
- ・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表IV-7 水辺と緑に親しむ機会



① 地区別

- ・地区別では、『そう感じる(計)』の割合は、東陽地区(77.2%)、白河地区(74.0%)、小松橋地区(73.7%)、豊洲地区(70.4%)で全体を上回っている。

図表IV-8 水辺と緑に親しむ機会(地区別)

	n	そう感じる	どちらかといえばそう感じる	どちらともいえない	どちらかといえばそう感じない	そう感じない	わからない
全体	1,283	24.6	40.6	14.7	6.5	6.9	6.8
白河	131	29.0	45.0	14.5	3.8	4.6	3.1
小松橋	91	30.8	42.9	13.2	4.4	5.5	3.3
富岡	99	15.2	43.4	13.1	11.1	8.1	9.1
東陽	114	33.3	43.9	8.8	5.3	6.1	2.6
豊洲	274	30.3	40.1	16.4	3.6	4.4	5.1
亀戸	132	15.9	35.6	19.7	9.1	10.6	9.1
大島	138	19.6	34.8	15.2	8.7	10.9	10.9
砂町	177	19.8	44.6	14.7	7.9	4.0	9.0
南砂	98	26.5	34.7	11.2	8.2	11.2	8.2
居住地区不詳	29	13.8	41.4	17.2	6.9	10.3	10.3

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『そう感じる（計）』の割合は、男性（67.7%）の方が女性（63.8%）より3.9ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、『そう感じる（計）』の割合は、男性では18～19歳、35～54歳、75歳以上で男性全体を上回っている。女性では35～54歳、70～74歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－9 水辺と緑に親しむ機会（性年齢別）

<男 性>

(%)

	n	そう感じる	どちらかといえ ばそう感じる	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう感 じない	そう感 じない	わ か ら な い
全 体	527	27.3	40.4	13.5	6.6	7.4	4.7
18～19歳	6	16.7	66.7	16.7	0.0	0.0	0.0
20～24歳	21	19.0	42.9	0.0	14.3	14.3	9.5
25～29歳	32	15.6	34.4	15.6	12.5	12.5	9.4
30～34歳	24	29.2	33.3	12.5	8.3	16.7	0.0
35～39歳	30	40.0	36.7	10.0	3.3	6.7	3.3
40～44歳	34	44.1	38.2	11.8	0.0	0.0	5.9
45～49歳	59	28.8	44.1	15.3	3.4	3.4	5.1
50～54歳	62	33.9	41.9	8.1	6.5	4.8	4.8
55～59歳	49	28.6	36.7	18.4	10.2	4.1	2.0
60～64歳	37	18.9	43.2	10.8	5.4	18.9	2.7
65～69歳	48	20.8	37.5	16.7	12.5	10.4	2.1
70～74歳	40	12.5	50.0	17.5	5.0	5.0	10.0
75歳以上	85	30.6	38.8	15.3	4.7	5.9	4.7

<女 性>

(%)

	n	そう感じる	どちらかといえ ばそう感じる	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう感 じない	そう感 じない	わ か ら な い
全 体	725	22.8	41.0	15.3	6.3	6.5	8.1
18～19歳	10	0.0	60.0	10.0	10.0	10.0	10.0
20～24歳	20	15.0	45.0	15.0	10.0	5.0	10.0
25～29歳	39	23.1	35.9	15.4	7.7	10.3	7.7
30～34歳	41	26.8	36.6	14.6	12.2	4.9	4.9
35～39歳	51	37.3	41.2	15.7	2.0	2.0	2.0
40～44歳	57	22.8	45.6	21.1	3.5	3.5	3.5
45～49歳	69	23.2	44.9	14.5	4.3	5.8	7.2
50～54歳	83	22.9	45.8	12.0	8.4	8.4	2.4
55～59歳	78	19.2	37.2	17.9	5.1	11.5	9.0
60～64歳	55	25.5	36.4	14.5	7.3	5.5	10.9
65～69歳	47	12.8	46.8	19.1	6.4	4.3	10.6
70～74歳	57	19.3	47.4	10.5	8.8	5.3	8.8
75歳以上	117	24.8	33.3	15.4	5.1	6.8	14.5
年齢不詳	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

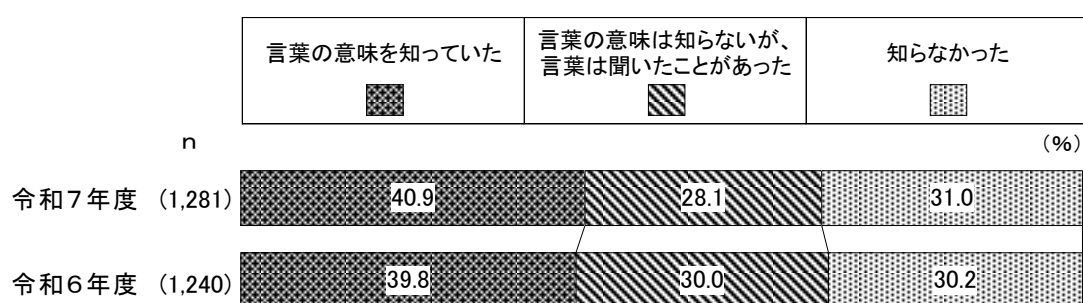
問4 あなたは、「生物多様性」について知っていますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

「生物多様性」とは、様々な生態系が存在すること、並びに生物の種間及び種内に様々な差異が存在することをいう。

<全体／経年比較>

- ・「言葉の意味を知っていた」が40.9%で最も高く、次いで「知らなかった」(31.0%)となっている。
- ・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表IV-10 生物多様性への知識



① 地区別

- ・地区別では、「言葉の意味を知っていた」の割合は、砂町地区と南砂地区を除くすべての地区で、最も高くなっている。

図表IV-11 生物多様性への知識（地区別）

	n	言葉の意味を知っていた	言葉の意味は知らないが、言葉は聞いたことがあった	知らなかった
全体	1,281	40.9	28.1	31.0
白河	131	43.5	29.0	27.5
小松橋	91	45.1	31.9	23.1
富岡	99	41.4	29.3	29.3
東陽	114	50.0	24.6	25.4
豊洲	274	46.0	23.4	30.7
亀戸	132	41.7	25.8	32.6
大島	138	38.4	31.2	30.4
砂町	176	33.0	29.0	38.1
南砂	98	27.6	35.7	36.7
居住地区不詳	28	32.1	32.1	35.7

② 性年齢別

- ・男女別にみると、「言葉の意味を知っていた」の割合は、男性（49.9％）の方が女性（34.4％）より15.5ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、「言葉の意味を知っていた」の割合は、男性では18～19歳、25～64歳で男性全体を上回っている。女性では18～49歳で女性全体を上回っている。

図表IV-12 生物多様性への知識（性年齢別）

<男性> (％)

	n	言葉の意味を知っていた	言葉の意味は知らないが、言葉は聞いたことがあった	知らなかった
全体	527	49.9	26.6	23.5
18～19歳	6	66.7	16.7	16.7
20～24歳	21	42.9	28.6	28.6
25～29歳	32	75.0	9.4	15.6
30～34歳	24	66.7	29.2	4.2
35～39歳	30	56.7	16.7	26.7
40～44歳	34	61.8	5.9	32.4
45～49歳	59	54.2	20.3	25.4
50～54歳	62	51.6	25.8	22.6
55～59歳	49	55.1	26.5	18.4
60～64歳	37	56.8	21.6	21.6
65～69歳	48	37.5	29.2	33.3
70～74歳	40	27.5	47.5	25.0
75歳以上	85	36.5	40.0	23.5

<女性> (％)

	n	言葉の意味を知っていた	言葉の意味は知らないが、言葉は聞いたことがあった	知らなかった
全体	724	34.4	29.4	36.2
18～19歳	10	50.0	30.0	20.0
20～24歳	20	45.0	25.0	30.0
25～29歳	39	61.5	20.5	17.9
30～34歳	41	51.2	26.8	22.0
35～39歳	51	41.2	31.4	27.5
40～44歳	57	43.9	29.8	26.3
45～49歳	69	36.2	27.5	36.2
50～54歳	83	28.9	26.5	44.6
55～59歳	78	32.1	32.1	35.9
60～64歳	55	25.5	27.3	47.3
65～69歳	47	19.1	36.2	44.7
70～74歳	57	29.8	35.1	35.1
75歳以上	116	25.0	30.2	44.8
年齢不詳	1	100.0	0.0	0.0

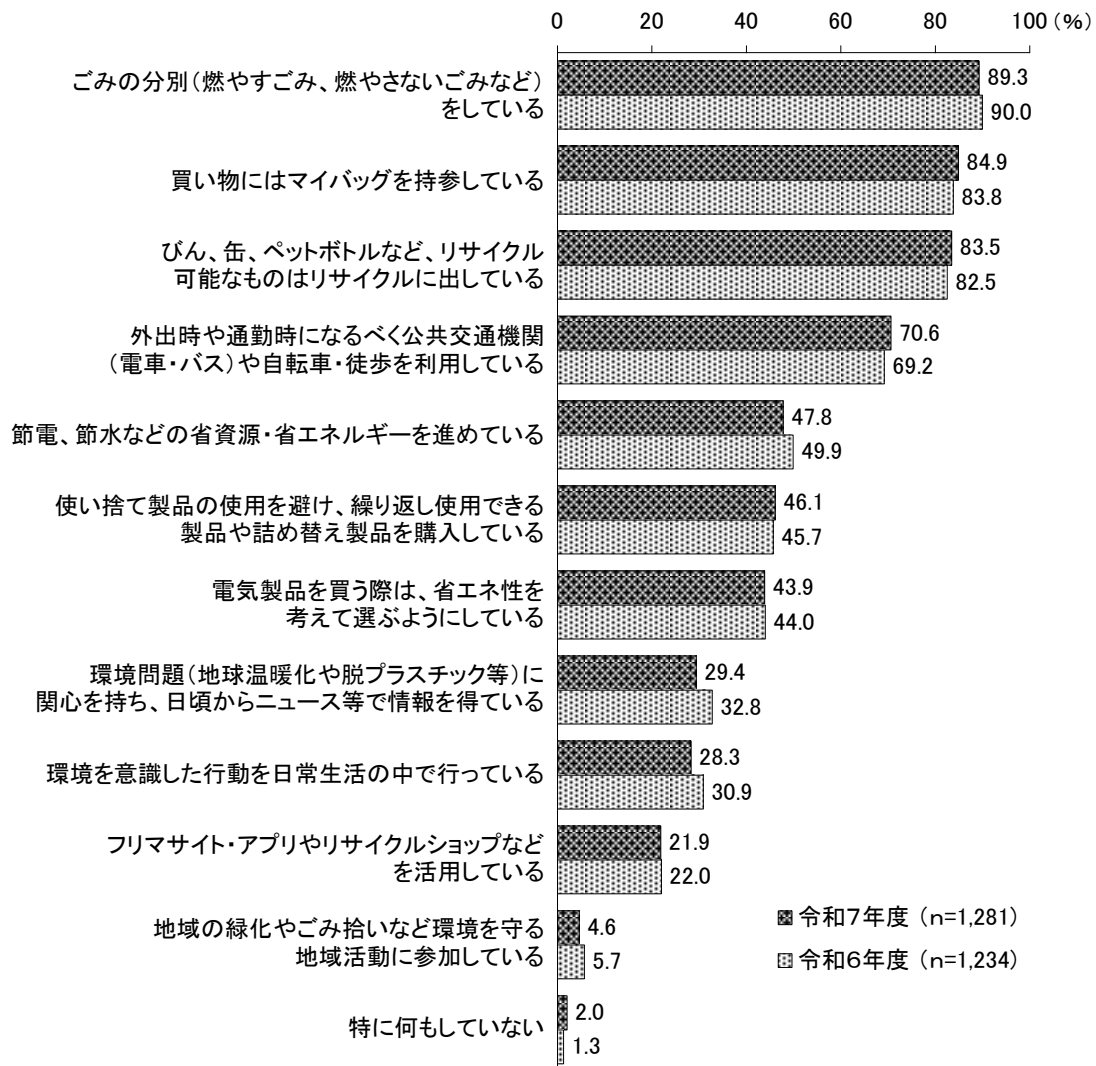
【地球温暖化対策と環境保全】

問5 あなたは、以下のような環境に配慮した行動に取り組んでいますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○はいくつでも)

＜全体／経年比較＞

- ・「ごみの分別（燃やすごみ、燃やさないごみなど）をしている」が89.3%で最も高く、次いで「買い物にはマイバッグを持参している」（84.9%）、「びん、缶、ペットボトルなど、リサイクル可能なものはリサイクルに出している」（83.5%）となっている。
- ・前回調査と比較すると、「環境問題（地球温暖化や脱プラスチック等）に関心を持ち、日頃からニュース等で情報を得ている」が3.4ポイント減少している。

図表Ⅳ－13 環境に配慮した行動



① 地区別

- ・地区別では、東陽地区と南砂地区を除くすべての地区で「ごみの分別（燃やすごみ、燃やさないごみなど）をしている」が同率を含め1位となっている。東陽地区では「びん、缶、ペットボトルなど、リサイクル可能なものはリサイクルに出している」が1位、大島地区と南砂地区では「買い物にはマイバッグを持参している」が同率を含め1位となっている。

図表IV-14 環境に配慮した行動（地区別）

	n	環境を意識した行動を日常生活で行っている	外出時や通勤時なるべく公共交通機関（電車・バス）や自転車・徒歩を利用している	節電、節水などの省資源・省エネルギーを進めている	電気製品を買う際は、省エネ性を考えて選んでいる	使い捨て製品の使用を避け、繰り返し使用できる製品や詰め替え製品を購入している	フリマサイト・アプリやリサイクルショップなどを活用している	ごみの分別（燃やすごみ、燃やさないごみなど）をしている	びん、缶、ペットボトルなど、リサイクル可能なものはリサイクルに出している	買い物にはマイバッグを持参している	環境問題（地球温暖化や脱プラスチック等）に関心を持ち、日頃からニュース等で情報を得ている	地域の緑化やごみ拾いなど環境を守る地域活動に参加している	特に何もしない
全体	1,281	28.3	70.6	47.8	43.9	46.1	21.9	89.3	83.5	84.9	29.4	4.6	2.0
白河	130	30.8	77.7	50.0	36.9	50.8	26.2	90.8	86.9	84.6	29.2	6.2	0.0
小松橋	91	30.8	65.9	44.0	35.2	50.5	20.9	87.9	86.8	83.5	30.8	7.7	3.3
富岡	99	24.2	71.7	46.5	41.4	46.5	22.2	94.9	87.9	79.8	31.3	3.0	2.0
東陽	114	30.7	69.3	46.5	54.4	52.6	27.2	85.1	86.0	84.2	40.4	4.4	0.9
豊洲	274	31.4	67.2	51.5	45.6	47.4	25.9	90.9	80.3	85.4	31.8	3.6	0.4
亀戸	132	28.8	71.2	47.0	40.2	35.6	17.4	84.8	77.3	83.3	28.8	4.5	4.5
大島	138	23.9	77.5	50.0	50.0	52.2	18.1	92.0	84.8	92.0	22.5	3.6	2.2
砂町	177	24.9	68.9	43.5	41.8	40.7	19.8	89.3	84.7	83.6	25.4	5.1	3.4
南砂	98	29.6	71.4	48.0	48.0	44.9	16.3	87.8	86.7	89.8	27.6	5.1	1.0
居住地区不詳	28	21.4	60.7	42.9	39.3	25.0	14.3	82.1	67.9	71.4	17.9	3.6	7.1

② 性年齢別

- ・男女別にみると、男女ともに「ごみの分別（燃やすごみ、燃やさないごみなど）をしている」が1位であり、次いで、男性では「びん、缶、ペットボトルなど、リサイクル可能なものはリサイクルに出している」、女性では「買い物にはマイバッグを持参している」が2位となっている。
- ・年齢別にみると、男性では「ごみの分別（燃やすごみ、燃やさないごみなど）をしている」の割合は、40～44歳、50～64歳、70歳以上で男性全体を上回っている。女性では「ごみの分別（燃やすごみ、燃やさないごみなど）をしている」の割合は、40～54歳、60歳以上で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－15 環境に配慮した行動（性年齢別）

<男性>

(%)

	n	環境を 意識した行動 を日常生活 の中で 行っている	外出時 や通勤 時になる べく公共 交通機関 (電車・ バス)や 自転車・ 徒歩を 利用している	節電、 節水な どの省 資源・ 省エネ を進め ている	電氣製 品を購 入する 際は、 省エネ 性を考 えて選 ぶよう にしている	使い捨 て製品 の使用 を避け 、繰り 返し使 用でき る製品 や詰め 替え製 品を購 入している	フリマ サイト・ アプリ やリサ イクル ショップ などを 活用している	ごみの 分別 (燃や すごみ 、燃や さない ごみ など)を している	びん、 缶、ペ ットボ トルな ど、リ サイク ル可能 なもの はリサ イクル に出し ている	買い物 にはマ イバッ グを持 参して いる	環境問題 (地球温 暖化や 脱プラ スチック 等)に関 心を持ち 、日頃 からニ ュース 等で情 報を得 ている	地域の 緑化や ごみ拾 いなど 環境を 守る地 域活動 に参加 している	特に 何も して いない
全 体	526	31.9	65.4	47.1	41.4	40.5	17.5	86.7	81.4	77.4	30.6	2.7	3.8
18～19歳	6	33.3	50.0	50.0	16.7	16.7	16.7	66.7	50.0	50.0	0.0	0.0	16.7
20～24歳	21	28.6	66.7	47.6	23.8	19.0	19.0	57.1	47.6	61.9	19.0	0.0	9.5
25～29歳	32	34.4	71.9	46.9	25.0	34.4	50.0	84.4	62.5	68.8	9.4	0.0	3.1
30～34歳	24	29.2	75.0	20.8	16.7	12.5	12.5	66.7	62.5	58.3	16.7	4.2	8.3
35～39歳	30	20.0	46.7	26.7	20.0	46.7	26.7	80.0	70.0	60.0	20.0	0.0	10.0
40～44歳	34	44.1	73.5	52.9	32.4	50.0	20.6	91.2	88.2	79.4	41.2	5.9	2.9
45～49歳	58	25.9	65.5	43.1	36.2	31.0	13.8	86.2	91.4	75.9	19.0	3.4	3.4
50～54歳	62	40.3	67.7	50.0	53.2	48.4	22.6	88.7	87.1	80.6	29.0	3.2	3.2
55～59歳	49	38.8	57.1	36.7	38.8	38.8	30.6	93.9	87.8	79.6	32.7	2.0	2.0
60～64歳	37	27.0	59.5	56.8	48.6	45.9	10.8	91.9	89.2	78.4	24.3	0.0	2.7
65～69歳	48	31.3	62.5	54.2	45.8	47.9	8.3	83.3	89.6	89.6	41.7	2.1	0.0
70～74歳	40	22.5	77.5	47.5	47.5	42.5	7.5	87.5	87.5	80.0	40.0	5.0	7.5
75歳以上	85	32.9	65.9	57.6	60.0	45.9	5.9	96.5	80.0	85.9	47.1	3.5	1.2

<女性>

(%)

	n	環境を 意識した行動 を日常生活 の中で 行っている	外出時 や通勤 時になる べく公共 交通機関 (電車・ バス)や 自転車・ 徒歩を 利用している	節電、 節水な どの省 資源・ 省エネ を進め ている	電氣製 品を購 入する 際は、 省エネ 性を考 えて選 ぶよう にしている	使い捨 て製品 の使用 を避け 、繰り 返し使 用でき る製品 や詰め 替え製 品を購 入している	フリマ サイト・ アプリ やリサ イクル ショップ などを 活用している	ごみの 分別 (燃や すごみ 、燃や さない ごみ など)を している	びん、 缶、ペ ットボ トルな ど、リ サイク ル可能 なもの はリサ イクル に出し ている	買い物 にはマ イバッ グを持 参して いる	環境問題 (地球温 暖化や 脱プラ スチック 等)に関 心を持ち 、日頃 からニ ュース 等で情 報を得 ている	地域の 緑化や ごみ拾 いなど 環境を 守る地 域活動 に参加 している	特に 何も して いない
全 体	725	26.5	74.3	48.7	46.2	50.3	24.8	91.9	86.1	90.2	28.7	6.1	0.4
18～19歳	10	30.0	70.0	20.0	10.0	40.0	30.0	80.0	50.0	70.0	30.0	0.0	0.0
20～24歳	20	20.0	55.0	40.0	20.0	20.0	15.0	85.0	70.0	70.0	5.0	0.0	0.0
25～29歳	39	12.8	66.7	33.3	30.8	33.3	25.6	71.8	66.7	79.5	5.1	0.0	2.6
30～34歳	41	17.1	68.3	26.8	26.8	31.7	39.0	90.2	73.2	73.2	12.2	0.0	0.0
35～39歳	51	25.5	74.5	47.1	21.6	52.9	37.3	82.4	80.4	82.4	13.7	0.0	2.0
40～44歳	57	19.3	73.7	54.4	35.1	50.9	43.9	93.0	87.7	93.0	17.5	8.8	0.0
45～49歳	69	36.2	66.7	52.2	44.9	46.4	27.5	92.8	88.4	95.7	30.4	4.3	0.0
50～54歳	83	21.7	77.1	51.8	60.2	47.0	32.5	94.0	89.2	90.4	21.7	2.4	0.0
55～59歳	78	33.3	70.5	52.6	57.7	60.3	29.5	91.0	93.6	91.0	33.3	6.4	0.0
60～64歳	55	36.4	83.6	65.5	60.0	60.0	25.5	98.2	92.7	98.2	38.2	7.3	0.0
65～69歳	47	34.0	74.5	46.8	57.4	61.7	10.6	95.7	91.5	97.9	34.0	4.3	0.0
70～74歳	57	26.3	84.2	54.4	47.4	59.6	7.0	96.5	87.7	98.2	36.8	8.8	0.0
75歳以上	117	24.8	78.6	47.0	53.0	51.3	10.3	96.6	89.7	92.3	48.7	15.4	0.9
年齢不詳	1	0.0	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0

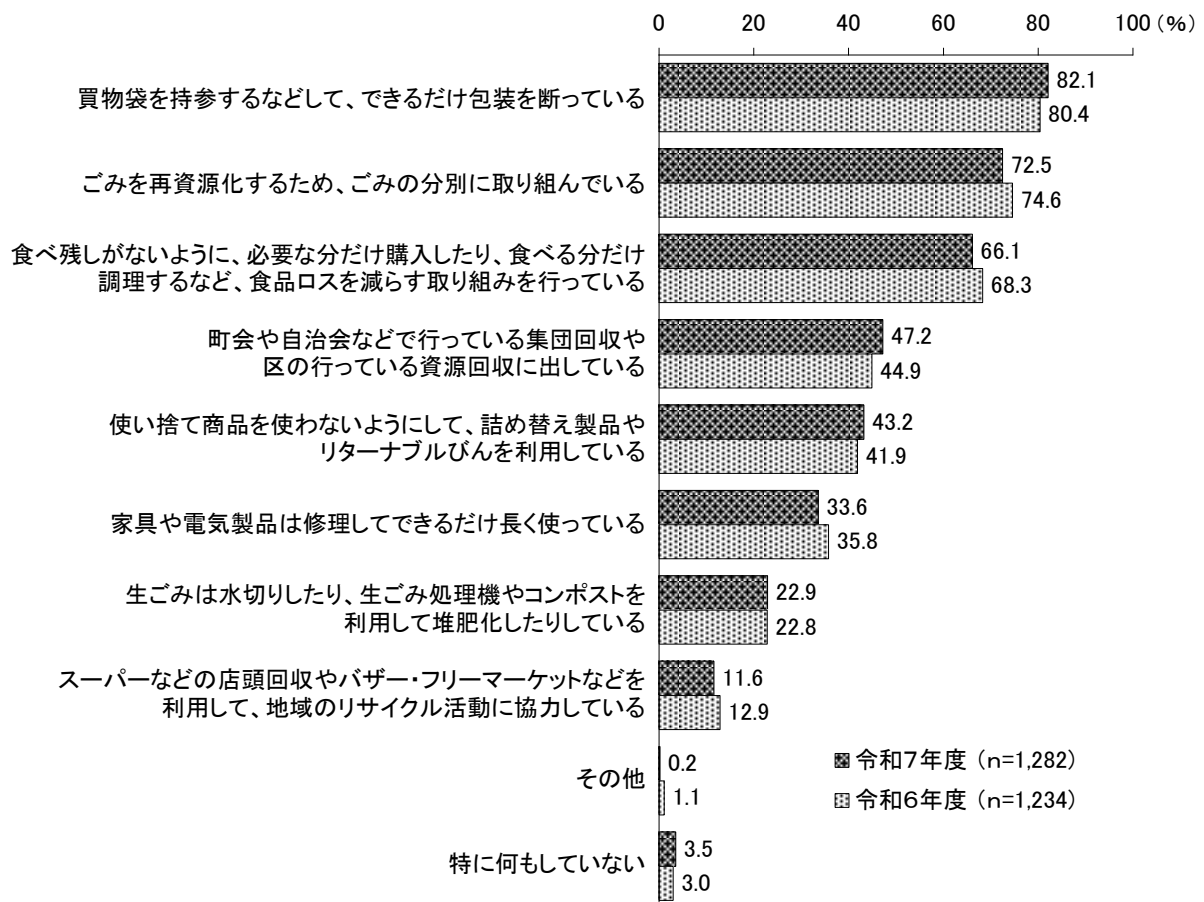
【持続可能な資源循環型地域社会の形成】

問6 あなたは、以下のようなごみを減らすための行動に取り組んでいますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○はいくつでも)

＜全体／経年比較＞

- ・「買物袋を持参するなどして、できるだけ包装を断っている」が82.1%で最も高く、次いで「ごみを再資源化するため、ごみの分別に取り組んでいる」(72.5%)、「食べ残しがないように、必要な分だけ購入したり、食べる分だけ調理するなど、食品ロスを減らす取り組みを行っている」(66.1%)となっている。
- ・一方で、「特に何もしていない」と回答した人が、3.5%となっている。
- ・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ-16 ゴミを減らすための行動



① 地区別

- ・地区別では、富岡地区を除くすべての地区で「買物袋を持参するなどして、できるだけ包装を断っている」が1位となっている。富岡地区では「ごみを再資源化するため、ごみの分別に取り組んでいる」が1位となっている。

図表IV-17 ゴミを減らすための行動（地区別）

(%)

	n	買物袋を持参するなどして、できるだけ包装を断っている	食べ残しがないように、必要な分だけ購入したり、食べる分だけ調理するなど、食品ロスを減らす取り組みを行っている	使い捨て商品を使わないようにして、詰め替え製品やリターナブルびんを利用している	町会や自治会などで行っている集団回収や区の行っている資源回収に出している	家具や電気製品は修理してできるだけ長く使っている	生ごみは水切りしたり、生ごみ処理機やコンポストを利用して堆肥化したりしている	スーパーなどの店頭回収やバザー・フリーマーケットなどを利用して、地域のリサイクル活動に協力している	ごみを再資源化するため、ごみの分別に取り組んでいる	その他	特に何もしていない
全体	1,282	82.1	66.1	43.2	47.2	33.6	22.9	11.6	72.5	0.2	3.5
白河	131	83.2	68.7	45.8	48.1	40.5	18.3	12.2	74.8	0.0	3.1
小松橋	91	79.1	65.9	44.0	48.4	34.1	29.7	14.3	71.4	0.0	6.6
富岡	99	75.8	59.6	38.4	45.5	33.3	12.1	7.1	79.8	0.0	5.1
東陽	114	84.2	68.4	54.4	52.6	41.2	24.6	15.8	79.8	0.0	3.5
豊洲	274	83.2	67.9	43.4	38.0	32.1	26.3	9.9	73.7	0.4	2.6
亀戸	132	77.3	56.8	38.6	43.9	32.6	25.8	9.1	64.4	0.0	7.6
大島	138	85.5	74.6	39.1	47.8	31.2	21.7	8.7	68.1	0.0	0.7
砂町	177	84.2	62.1	42.4	53.1	26.0	24.3	11.9	71.2	0.6	2.3
南砂	98	85.7	68.4	45.9	58.2	40.8	18.4	20.4	68.4	0.0	3.1
居住地区不詳	28	67.9	71.4	35.7	50.0	25.0	21.4	10.7	78.6	0.0	3.6

② 性年齢別

- ・男女別にみると、男女ともに「買物袋を持参するなどして、できるだけ包装を断っている」が1位、「ごみを再資源化するため、ごみの分別に取り組んでいる」が2位となっている。
- ・年齢別にみると、男性では「買物袋を持参するなどして、できるだけ包装を断っている」の割合は、25～29歳、50～54歳、60歳以上で男性全体を上回っている。女性では「買物袋を持参するなどして、できるだけ包装を断っている」の割合は、18～19歳、40～54歳、60歳以上で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ-18 ゴミを減らすための行動（性年齢別）

<男性>

(%)

	n	買物袋を持参するなどして、できるだけ包装を断っている	食べ残しがないように、必要な分だけ購入したり、食べる分だけ調理するなど、食品ロス減らす取り組みを行っている	使い捨て商品を使わないようにして、詰め替え製品やリターナブルびんを利用している	町会や自治会などで行っている集団回収や区の行っている資源回収に出している	家具や電気製品は修理してできるだけ長く使っている	生ごみは水切りしたり、生ごみ処理機やコンポストを利用して堆肥化したりしている	スーパーなどの店頭回収やバザー・フリーマーケットなどを利用して、地域のリサイクル活動に協力している	ごみを再資源化するため、ごみの分別に組み入れている	その他	特に何もしていない
全体	527	74.0	60.7	38.3	41.6	33.8	17.5	9.3	72.3	0.2	5.7
18～19歳	6	66.7	33.3	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	66.7	0.0	0.0
20～24歳	21	66.7	76.2	23.8	23.8	4.8	4.8	4.8	52.4	0.0	9.5
25～29歳	32	81.3	59.4	40.6	15.6	25.0	18.8	6.3	40.6	0.0	3.1
30～34歳	24	37.5	45.8	29.2	16.7	20.8	16.7	4.2	54.2	0.0	16.7
35～39歳	30	56.7	63.3	43.3	26.7	36.7	6.7	6.7	70.0	0.0	10.0
40～44歳	34	70.6	70.6	38.2	26.5	41.2	29.4	5.9	76.5	0.0	8.8
45～49歳	59	67.8	54.2	27.1	33.9	32.2	15.3	1.7	69.5	0.0	6.8
50～54歳	62	74.2	71.0	46.8	46.8	32.3	30.6	11.3	75.8	0.0	6.5
55～59歳	49	73.5	65.3	36.7	44.9	40.8	18.4	18.4	75.5	0.0	4.1
60～64歳	37	83.8	51.4	40.5	43.2	27.0	10.8	8.1	89.2	0.0	2.7
65～69歳	48	87.5	68.8	45.8	56.3	39.6	12.5	8.3	77.1	0.0	2.1
70～74歳	40	80.0	52.5	30.0	55.0	30.0	12.5	10.0	80.0	2.5	2.5
75歳以上	85	81.2	56.5	44.7	60.0	44.7	18.8	14.1	77.6	0.0	4.7

<女性>

(%)

	n	買物袋を持参するなどして、できるだけ包装を断っている	食べ残しがないように、必要な分だけ購入したり、食べる分だけ調理するなど、食品ロス減らす取り組みを行っている	使い捨て商品を使わないようにして、詰め替え製品やリターナブルびんを利用している	町会や自治会などで行っている集団回収や区の行っている資源回収に出している	家具や電気製品は修理してできるだけ長く使っている	生ごみは水切りしたり、生ごみ処理機やコンポストを利用して堆肥化したりしている	スーパーなどの店頭回収やバザー・フリーマーケットなどを利用して、地域のリサイクル活動に協力している	ごみを再資源化するため、ごみの分別に組み入れている	その他	特に何もしていない
全体	725	88.3	71.0	46.9	51.4	33.8	27.0	13.4	73.0	0.1	1.7
18～19歳	10	100.0	40.0	20.0	10.0	20.0	10.0	20.0	50.0	0.0	0.0
20～24歳	20	70.0	60.0	30.0	20.0	25.0	25.0	0.0	45.0	0.0	10.0
25～29歳	39	79.5	74.4	33.3	20.5	15.4	12.8	0.0	41.0	0.0	2.6
30～34歳	41	70.7	70.7	31.7	26.8	22.0	12.2	4.9	65.9	0.0	2.4
35～39歳	51	80.4	68.6	39.2	35.3	25.5	25.5	5.9	64.7	0.0	2.0
40～44歳	57	89.5	64.9	50.9	43.9	35.1	19.3	8.8	70.2	0.0	1.8
45～49歳	69	95.7	71.0	47.8	43.5	31.9	31.9	23.2	73.9	1.4	1.4
50～54歳	83	90.4	66.3	51.8	54.2	33.7	39.8	12.0	79.5	0.0	1.2
55～59歳	78	85.9	78.2	51.3	57.7	32.1	32.1	19.2	75.6	0.0	2.6
60～64歳	55	96.4	76.4	56.4	61.8	43.6	38.2	18.2	76.4	0.0	0.0
65～69歳	47	93.6	78.7	59.6	61.7	40.4	23.4	17.0	89.4	0.0	0.0
70～74歳	57	91.2	77.2	57.9	66.7	45.6	26.3	8.8	82.5	0.0	0.0
75歳以上	117	91.5	68.4	41.9	71.8	39.3	24.8	17.9	77.8	0.0	1.7
年齢不詳	1	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

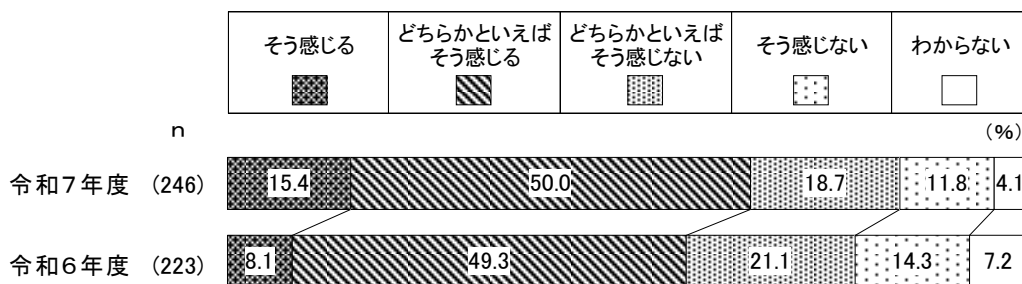
【みんなで取り組む子育て家庭への支援】

問7 中学生以下のお子さんがある保護者の方におたずねします。
あなたは、地域に見守られて子育てしていると感じますか。あてはまるものを選び
○印をおつけください。(○は1つ)

<全体／経年比較>

- ・「どちらかといえばそう感じる」が50.0%で最も高く、次いで「どちらかといえばそう感じない」(18.7%)、「そう感じる」(15.4%)となっている。
- ・「そう感じる」(15.4%)と「どちらかといえばそう感じる」(50.0%)を合わせた『そう感じる(計)』の割合は65.4%となっている。
- ・前回調査と比較すると、『そう感じる(計)』が8.0ポイント増加している。

図表Ⅳ-19 地域に見守られた子育てに対する評価

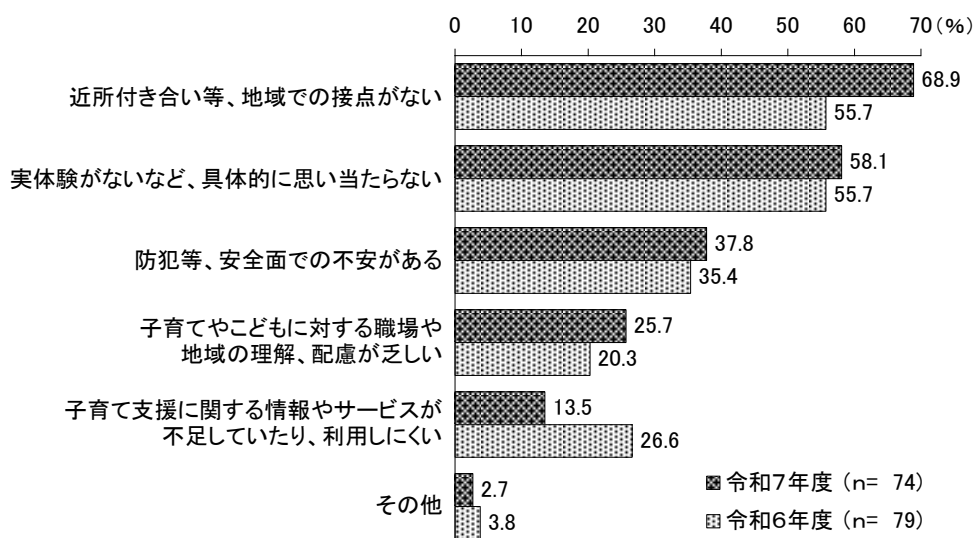


問7-1 問7で「3. どちらかといえばそう感じない」「4. そう感じない」を選んだ方におたずねします。
地域に見守られて子育てしていると感じない理由について、あてはまるものを選び○印をおつけください。(○はいくつでも)

<全体／経年比較>

- ・「近所付き合い等、地域での接点がない」が68.9%で最も高く、次いで「実体験がないなど、具体的に思い当たらない」(58.1%)、「防犯等、安全面での不安がある」(37.8%)となっている。
- ・前回調査と比較すると、「近所付き合い等、地域での接点がない」が13.2ポイント増加、「子育て支援に関する情報やサービスが不足していたり、利用しにくい」が13.1ポイント減少している。

図表Ⅳ-20 地域に見守られて子育てしていると感じない理由

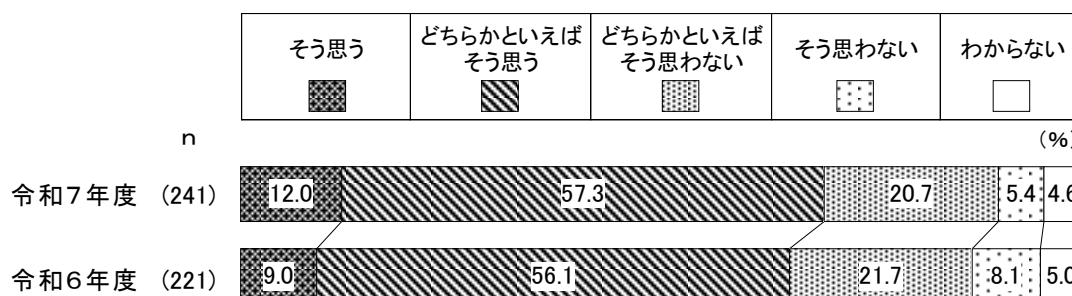


問8 中学生以下のお子さんがある保護者の方におたずねします。
あなたは、必要な子育て情報を入手しやすいと思いますか。あてはまるものを選び
○印をおつけください。(○は1つ)

<全体/経年比較>

- ・「どちらかといえばそう思う」が57.3%で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」(20.7%)となっている。
- ・「そう思う」(12.0%)と「どちらかといえばそう思う」(57.3%)を合わせた『そう思う(計)』の割合は69.3%となっている。
- ・前回調査と比較すると、『そう思う(計)』が4.2ポイント増加している。

図表IV-21 子育て情報の入手の容易さ

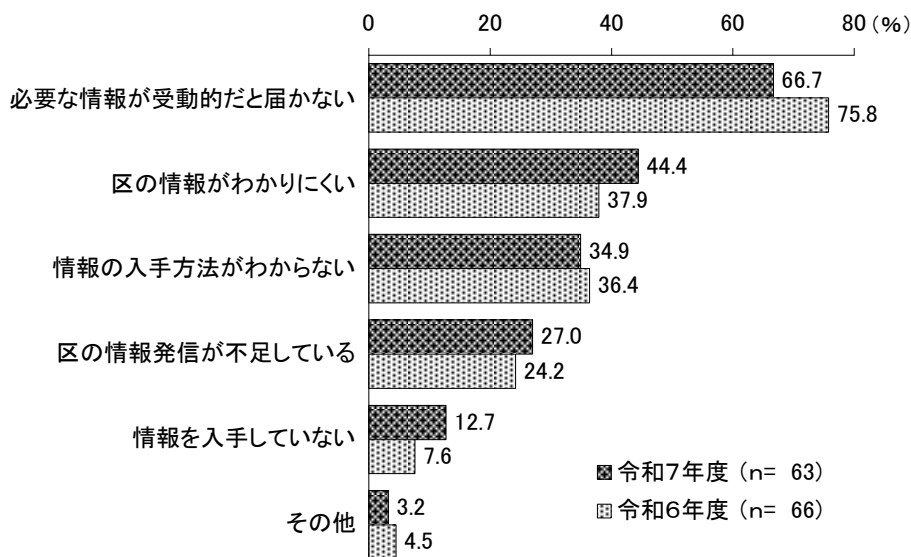


問8-1 問8で「3. どちらかといえばそう思わない」「4. そう思わない」を選んだ方におたずねします。
必要な子育て情報を入手しやすいと思わない理由について、あてはまるもの
を選び○印をおつけください。(○はいくつでも)

<全体/経年比較>

- ・「必要な情報が受動的だと届かない」が66.7%で最も高く、次いで「区の情報がわかりにくい」(44.4%)、「情報の入手方法がわからない」(34.9%)となっている。
- ・前回調査と比較すると、「区の情報がわかりにくい」が6.5ポイント増加、「情報を入手していない」が5.1ポイント増加、「必要な情報が受動的だと届かない」が9.1ポイント減少している。

図表IV-22 必要な子育て情報を入手しやすいと思わない理由

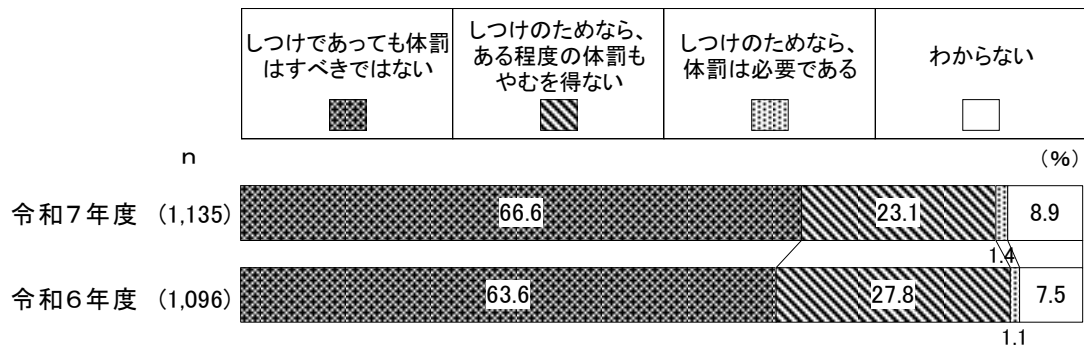


問9 こどものしつけと体罰の考え方についてうかがいます。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

<全体/経年比較>

- ・「しつけであっても体罰はすべきではない」が66.6%で最も高く、次いで「しつけのためなら、ある程度の体罰もやむを得ない」(23.1%)となっている。
- ・前回調査と比較すると、「しつけであっても体罰はすべきではない」が3.0ポイント増加している。

図表IV-23 しつけと体罰の認識



① 地区別

- ・地区別では、「しつけであっても体罰はすべきではない」の割合は、白河地区(74.6%)、富岡地区(70.0%)、小松橋地区(69.5%)、砂町地区(67.8%)で全体を上回っている。

図表IV-24 しつけと体罰の認識(地区別)

	n	しつけであっても体罰はすべきではない	しつけのためなら、ある程度の体罰もやむを得ない	しつけのためなら、体罰は必要である	わからない
全 体	1,135	66.6	23.1	1.4	8.9
白河	118	74.6	14.4	2.5	8.5
小松橋	82	69.5	17.1	1.2	12.2
富岡	90	70.0	25.6	1.1	3.3
東陽	106	65.1	22.6	1.9	10.4
豊洲	250	66.4	23.2	0.8	9.6
亀戸	115	61.7	27.0	2.6	8.7
大島	116	66.4	26.7	0.0	6.9
砂町	149	67.8	22.8	1.3	8.1
南砂	81	58.0	30.9	1.2	9.9
居住地区不詳	28	60.7	17.9	3.6	17.9

② 性年齢別

- ・男女別にみると、「しつけであっても体罰はすべきではない」の割合は、女性（70.1%）の方が男性（63.3%）より6.8ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、「しつけであっても体罰はすべきではない」の割合は、男性では20～29歳、40～59歳、65～74歳で男性全体を上回っている。女性では18～24歳、30～39歳、70～74歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ-25 しつけと体罰の認識（性年齢別）

<男 性>

(%)

	n	しつけであっても 体罰はすべきでは ない	しつけのためなら、 ある程度の体罰も やむを得ない	しつけのためなら、 体罰は必要である	わからない
全 体	479	63.3	28.4	1.9	6.5
18～19歳	6	50.0	33.3	0.0	16.7
20～24歳	19	73.7	21.1	0.0	5.3
25～29歳	32	71.9	25.0	0.0	3.1
30～34歳	24	54.2	37.5	0.0	8.3
35～39歳	29	58.6	27.6	3.4	10.3
40～44歳	34	79.4	14.7	0.0	5.9
45～49歳	57	66.7	24.6	1.8	7.0
50～54歳	60	65.0	25.0	3.3	6.7
55～59歳	48	64.6	31.3	2.1	2.1
60～64歳	37	51.4	35.1	2.7	10.8
65～69歳	40	67.5	22.5	5.0	5.0
70～74歳	31	64.5	32.3	0.0	3.2
75歳以上	62	51.6	38.7	1.6	8.1

<女 性>

(%)

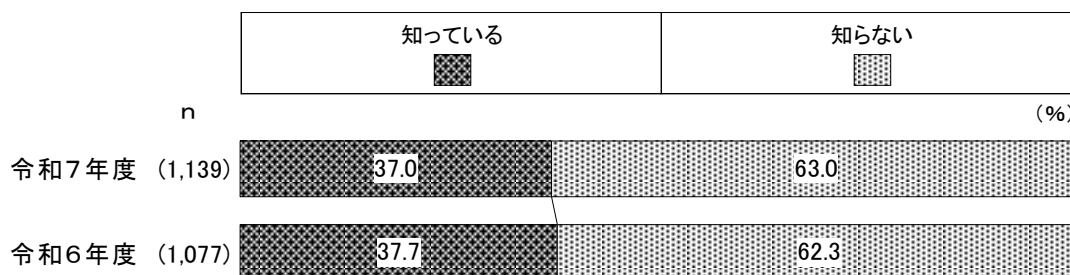
	n	しつけであっても 体罰はすべきでは ない	しつけのためなら、 ある程度の体罰も やむを得ない	しつけのためなら、 体罰は必要である	わからない
全 体	633	70.1	18.5	1.1	10.3
18～19歳	10	80.0	20.0	0.0	0.0
20～24歳	19	89.5	5.3	0.0	5.3
25～29歳	39	64.1	28.2	0.0	7.7
30～34歳	39	92.3	5.1	0.0	2.6
35～39歳	49	73.5	14.3	2.0	10.2
40～44歳	55	69.1	18.2	3.6	9.1
45～49歳	66	63.6	16.7	0.0	19.7
50～54歳	83	65.1	20.5	1.2	13.3
55～59歳	72	65.3	20.8	1.4	12.5
60～64歳	51	66.7	23.5	2.0	7.8
65～69歳	39	69.2	20.5	2.6	7.7
70～74歳	46	80.4	10.9	0.0	8.7
75歳以上	64	65.6	25.0	0.0	9.4
年齢不詳	1	100.0	0.0	0.0	0.0

問10 あなたは、児童虐待を疑ったときの通告先について知っていますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

<全体／経年比較>

- ・「知らない」が63.0%で、「知っている」(37.0%)を上回っている。
- ・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表IV-26 児童虐待に対する通告先の認知度



① 地区別

- ・地区別では、児童虐待を疑ったときの通告先を「知っている」割合は、大島地区(44.3%)、亀戸地区(42.2%)、東陽地区(38.7%)、小松橋地区(38.3%)で全体を上回っている。

図表IV-27 児童虐待に対する通告先の認知度(地区別)

	n	知っている (%)	知らない (%)
全 体	1,139	37.0	63.0
白河	120	35.8	64.2
小松橋	81	38.3	61.7
富岡	91	35.2	64.8
東陽	106	38.7	61.3
豊洲	251	33.1	66.9
亀戸	116	42.2	57.8
大島	115	44.3	55.7
砂町	153	35.9	64.1
南砂	80	35.0	65.0
居住地区不詳	26	30.8	69.2

② 性年齢別

- ・男女別にみると、児童虐待を疑ったときの通告先を「知っている」割合は、女性（40.8%）の方が男性（31.3%）より9.5ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、児童虐待を疑ったときの通告先を「知っている」割合は、男性では20～24歳、30～39歳、60歳以上で男性全体を上回っている。女性では35～49歳、55～74歳で女性全体を上回っている。

図表IV-28 児童虐待に対する通告先の認知度（性年齢別）

＜男 性＞ (%)

	n	知っている	知らない
全 体	479	31.3	68.7
18～19歳	6	0.0	100.0
20～24歳	19	47.4	52.6
25～29歳	32	15.6	84.4
30～34歳	24	37.5	62.5
35～39歳	29	34.5	65.5
40～44歳	34	23.5	76.5
45～49歳	57	29.8	70.2
50～54歳	60	28.3	71.7
55～59歳	48	22.9	77.1
60～64歳	36	33.3	66.7
65～69歳	38	39.5	60.5
70～74歳	32	40.6	59.4
75歳以上	64	37.5	62.5

＜女 性＞ (%)

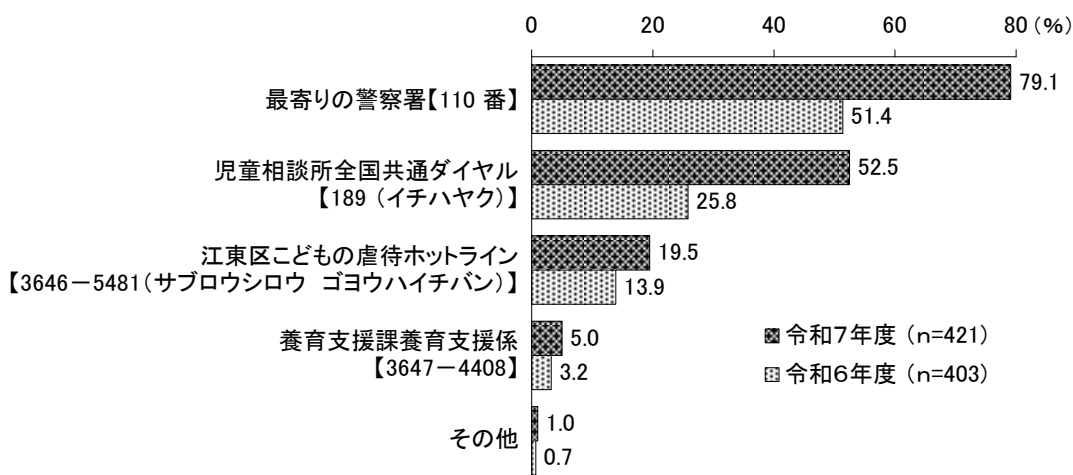
	n	知っている	知らない
全 体	638	40.8	59.2
18～19歳	10	20.0	80.0
20～24歳	19	5.3	94.7
25～29歳	38	31.6	68.4
30～34歳	39	38.5	61.5
35～39歳	51	52.9	47.1
40～44歳	54	44.4	55.6
45～49歳	66	48.5	51.5
50～54歳	83	36.1	63.9
55～59歳	72	50.0	50.0
60～64歳	51	45.1	54.9
65～69歳	41	43.9	56.1
70～74歳	46	45.7	54.3
75歳以上	67	28.4	71.6
年齢不詳	1	0.0	100.0

問10-1 問10で「1. 知っている」を選んだ方におたずねします。
 知っている通告先を次の中から、あてはまるものを選び○印をおつけください。(○はいくつでも)

<全体／経年比較>

- ・知っていた通告先では、「最寄りの警察署【110番】」が79.1%で最も高く、次いで「児童相談所全国共通ダイヤル【189（イチハヤク）】」(52.5%)となっている。
- ・前回調査と比較すると、「最寄りの警察署【110番】」が27.7ポイント増加、「児童相談所全国共通ダイヤル【189（イチハヤク）】」が26.7ポイント増加、「江東区こどもの虐待ホットライン【3646-5481（サブロウシロウ ゴヨウハイチバン）】」が5.6ポイント増加している。

図表IV-29 児童虐待に対する通告先



【一人一人に向き合う学校教育の充実】

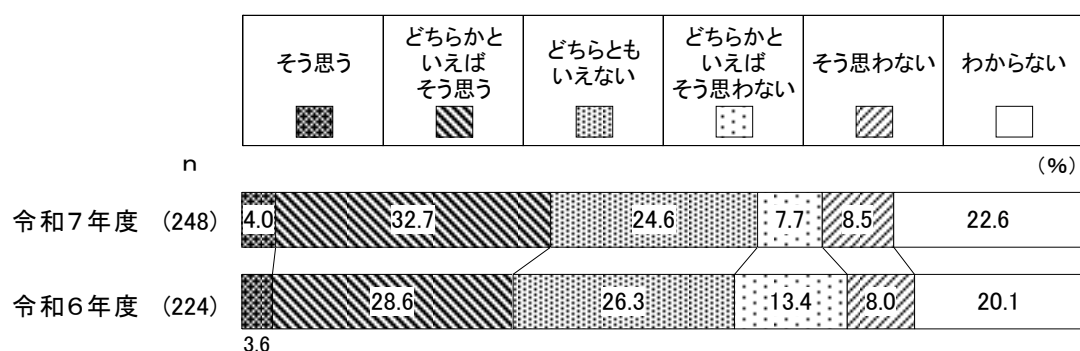
問11 中学生以下のお子さんがある保護者の方におたずねします。

江東区では、児童・生徒一人一人に向き合った教育を推進していると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

<全体／経年比較>

- ・「どちらかといえばそう思う」が32.7%で最も高く、次いで「どちらともいえない」(24.6%)となっている。
- ・「そう思う」(4.0%)と「どちらかといえばそう思う」(32.7%)を合わせた『そう思う(計)』の割合は36.7%となっている。
- ・前回調査と比較すると、『そう思う(計)』が4.5ポイント増加している。

図表Ⅳ-30 一人一人に向き合った教育への認知度



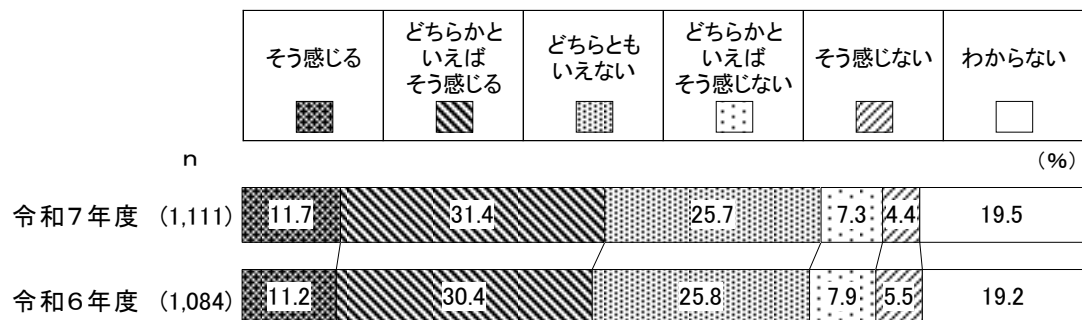
【こどもが安全に過ごせる居場所・環境づくり】

問12 あなたは、こどもが安全・安心に過ごせる居場所があると感じていますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

<全体／経年比較>

- ・「どちらかといえばそう感じる」が31.4%で最も高く、次いで「どちらともいえない」(25.7%)となっている。
- ・「そう感じる」(11.7%)と「どちらかといえばそう感じる」(31.4%)を合わせた『そう感じる(計)』の割合は43.1%となっている。
- ・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表IV-31 こどもの居場所の有無に関する認識



① 地区別

- ・地区別では、『そう感じる(計)』の割合は、豊洲地区(52.4%)、白河地区(48.2%)、富岡地区(44.4%)、小松橋地区(43.9%)、東陽地区(43.7%)で全体を上回っている。

図表IV-32 こどもの居場所の有無に関する認識(地区別)

	n	そう感じる	どちらかといえばそう感じる	どちらともいえない	どちらかといえばそう感じない	そう感じない	わからない
全 体	1,111	11.7	31.4	25.7	7.3	4.4	19.5
白河	116	19.8	28.4	25.9	7.8	4.3	13.8
小松橋	82	9.8	34.1	25.6	4.9	3.7	22.0
富岡	90	12.2	32.2	23.3	5.6	1.1	25.6
東陽	103	14.6	29.1	30.1	7.8	5.8	12.6
豊洲	246	13.8	38.6	20.3	6.1	3.7	17.5
亀戸	112	9.8	28.6	28.6	8.9	3.6	20.5
大島	111	8.1	29.7	25.2	5.4	5.4	26.1
砂町	147	7.5	25.9	30.6	10.2	5.4	20.4
南砂	76	7.9	26.3	26.3	7.9	9.2	22.4
居住地区不詳	28	7.1	39.3	25.0	10.7	0.0	17.9

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『そう感じる（計）』の割合は、男性（46.7%）の方が女性（41.2%）より5.5ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、『そう感じる（計）』の割合は、男性では20～29歳、35～54歳、60～64歳で男性全体を上回っている。女性では18～54歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－33 こどもの居場所の有無に関する認識（性年齢別）

<男性>

(%)

	n	そう感じる	どちらかといえばそう感じる	どちらともいえない	どちらかといえばそう感じない	そう感じない	わからない
全 体	475	12.6	34.1	25.3	5.5	5.3	17.3
18～19歳	6	16.7	16.7	50.0	0.0	0.0	16.7
20～24歳	18	27.8	61.1	0.0	0.0	5.6	5.6
25～29歳	32	18.8	34.4	15.6	6.3	6.3	18.8
30～34歳	24	12.5	33.3	25.0	8.3	8.3	12.5
35～39歳	30	20.0	43.3	3.3	3.3	6.7	23.3
40～44歳	34	14.7	50.0	17.6	5.9	0.0	11.8
45～49歳	55	7.3	43.6	23.6	7.3	9.1	9.1
50～54歳	61	19.7	37.7	18.0	6.6	0.0	18.0
55～59歳	49	10.2	30.6	30.6	4.1	8.2	16.3
60～64歳	33	6.1	42.4	33.3	6.1	6.1	6.1
65～69歳	39	12.8	17.9	25.6	5.1	5.1	33.3
70～74歳	30	3.3	13.3	56.7	3.3	3.3	20.0
75歳以上	64	7.8	21.9	34.4	6.3	6.3	23.4

<女性>

(%)

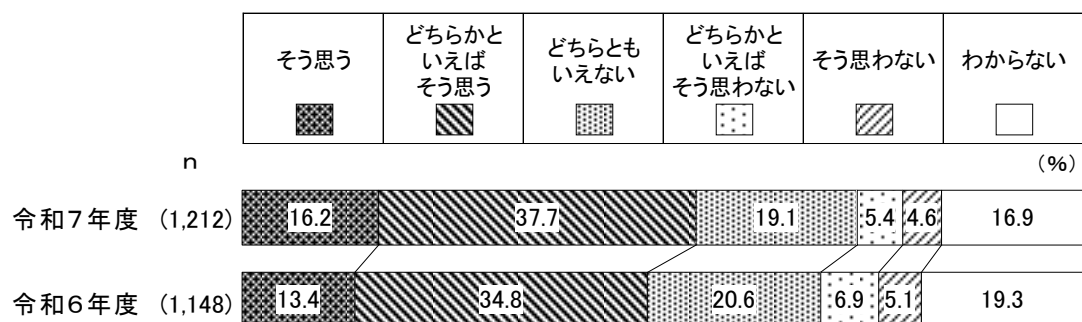
	n	そう感じる	どちらかといえばそう感じる	どちらともいえない	どちらかといえばそう感じない	そう感じない	わからない
全 体	613	11.3	29.9	25.8	8.6	3.8	20.7
18～19歳	10	50.0	30.0	10.0	10.0	0.0	0.0
20～24歳	19	31.6	31.6	21.1	5.3	0.0	10.5
25～29歳	39	10.3	35.9	25.6	2.6	2.6	23.1
30～34歳	38	5.3	47.4	28.9	5.3	2.6	10.5
35～39歳	48	29.2	31.3	12.5	4.2	2.1	20.8
40～44歳	55	7.3	36.4	29.1	10.9	5.5	10.9
45～49歳	66	6.1	37.9	24.2	12.1	4.5	15.2
50～54歳	81	13.6	29.6	23.5	9.9	4.9	18.5
55～59歳	71	9.9	25.4	26.8	7.0	1.4	29.6
60～64歳	46	4.3	13.0	37.0	15.2	4.3	26.1
65～69歳	39	10.3	25.6	30.8	5.1	7.7	20.5
70～74歳	41	4.9	31.7	19.5	17.1	4.9	22.0
75歳以上	59	6.8	18.6	32.2	5.1	3.4	33.9
年齢不詳	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

問13 あなたは、行政や地域の活動（こども110番の家、地域でのパトロールなど）が、こどもたちを犯罪や事故から守る地域環境づくりに役立っていると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は1つ）

＜全体／経年比較＞

- ・「どちらかといえばそう思う」が37.7%で最も高く、次いで「どちらともいえない」（19.1%）となっている。
- ・「そう思う」（16.2%）と「どちらかといえばそう思う」（37.7%）を合わせた『そう思う（計）』の割合は53.9%となっている。
- ・前回調査と比較すると、『そう思う（計）』が5.7ポイント増加している。

図表Ⅳ-34 行政地域の活動がこどもたちの安全な地域環境づくりに役立っているという認識



① 地区別

- ・地区別では、『そう思う（計）』の割合は、豊洲地区（59.3%）、小松橋地区（57.4%）、東陽地区（56.8%）、白河地区（54.9%）、富岡地区（54.7%）で全体を上回っている。

図表Ⅳ-35 行政地域の活動がこどもたちの安全な地域環境づくりに役立っているという認識（地区別）

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全体	1,212	16.2	37.7	19.1	5.4	4.6	16.9
白河	124	21.0	33.9	21.0	3.2	4.0	16.9
小松橋	87	19.5	37.9	11.5	5.7	3.4	21.8
富岡	95	14.7	40.0	22.1	5.3	3.2	14.7
東陽	109	17.4	39.4	18.3	4.6	6.4	13.8
豊洲	263	17.1	42.2	16.3	4.9	4.2	15.2
亀戸	124	13.7	38.7	15.3	7.3	6.5	18.5
大島	130	18.5	31.5	22.3	3.8	5.4	18.5
砂町	164	10.4	36.6	24.4	7.9	3.7	17.1
南砂	88	15.9	35.2	18.2	6.8	6.8	17.0
居住地区不詳	28	10.7	35.7	28.6	3.6	0.0	21.4

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『そう思う（計）』の割合に、特に大きな違いはみられない。
- ・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では18～39歳、50～64歳で男性全体を上回っている。女性では18～24歳、35～39歳、70歳以上で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－36 行政地域の活動が子どもたちの安全な地域環境づくりに役立っているという認識（性年齢別）

＜男 性＞ (%)

	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない
全 体	510	15.7	38.0	19.8	4.7	5.9	15.9
18～19歳	6	16.7	66.7	0.0	0.0	0.0	16.7
20～24歳	20	25.0	45.0	15.0	5.0	5.0	5.0
25～29歳	32	15.6	59.4	6.3	3.1	6.3	9.4
30～34歳	24	12.5	50.0	20.8	4.2	4.2	8.3
35～39歳	30	13.3	46.7	13.3	0.0	6.7	20.0
40～44歳	34	11.8	29.4	26.5	5.9	5.9	20.6
45～49歳	57	14.0	38.6	15.8	5.3	15.8	10.5
50～54歳	61	16.4	37.7	26.2	3.3	0.0	16.4
55～59歳	49	14.3	40.8	22.4	2.0	10.2	10.2
60～64歳	37	10.8	45.9	16.2	8.1	2.7	16.2
65～69歳	47	14.9	36.2	17.0	10.6	4.3	17.0
70～74歳	37	16.2	21.6	37.8	0.0	5.4	18.9
75歳以上	76	21.1	25.0	18.4	6.6	3.9	25.0

＜女 性＞ (%)

	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない
全 体	676	16.9	38.0	18.3	6.1	3.7	17.0
18～19歳	10	50.0	30.0	10.0	10.0	0.0	0.0
20～24歳	20	20.0	45.0	25.0	0.0	0.0	10.0
25～29歳	39	12.8	38.5	17.9	5.1	7.7	17.9
30～34歳	40	20.0	27.5	27.5	5.0	5.0	15.0
35～39歳	51	19.6	43.1	21.6	7.8	2.0	5.9
40～44歳	55	9.1	45.5	21.8	7.3	5.5	10.9
45～49歳	67	10.4	38.8	22.4	9.0	4.5	14.9
50～54歳	83	14.5	38.6	15.7	4.8	6.0	20.5
55～59歳	74	14.9	39.2	23.0	5.4	0.0	17.6
60～64歳	52	11.5	42.3	15.4	11.5	3.8	15.4
65～69歳	44	18.2	31.8	20.5	4.5	4.5	20.5
70～74歳	52	23.1	38.5	7.7	1.9	1.9	26.9
75歳以上	88	22.7	33.0	12.5	5.7	3.4	22.7
年齢不詳	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【次代を担う青少年の健全育成の推進】

問14 江東区は、青少年への支援や相談窓口の定着・充実など、青少年が健全に育つ環境が整っていると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。
(○は1つ)

「青少年」とは、中・高生～35歳未満の青年期の者〔子供・若者白書（内閣府）〕。

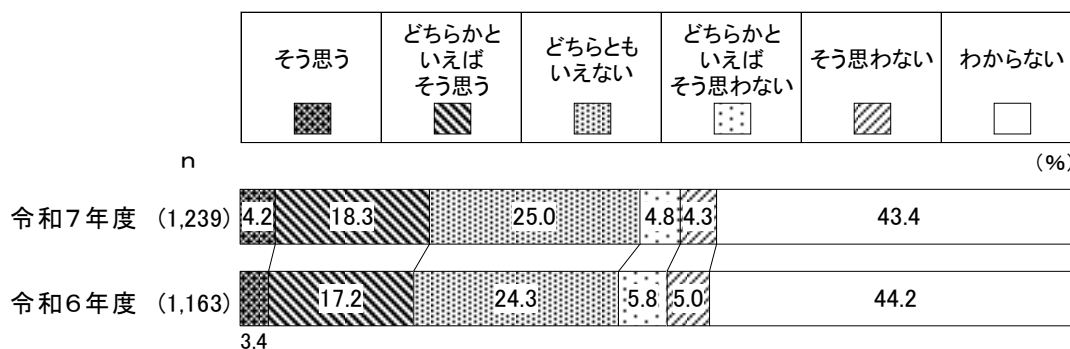
【青少年への支援や相談の取組例】

青少年交流プラザの運営、ジュニアリーダーの養成、青少年相談、地域の青少年向け事業

<全体／経年比較>

- ・「わからない」が43.4%で最も高く、次いで「どちらともいえない」（25.0%）となっている。
- ・「そう思う」（4.2%）と「どちらかといえばそう思う」（18.3%）を合わせた『そう思う（計）』の割合は22.5%となっている。
- ・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ-37 青少年が健全に育つ環境整備に関する認識



① 地区別

- ・地区別では、『そう思う（計）』の割合は、豊洲地区（29.1%）、東陽地区（28.8%）、白河地区（25.8%）、南砂地区（24.2%）で全体を上回っている。

図表Ⅳ-38 青少年が健全に育つ環境整備に関する認識（地区別）

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全 体	1,239	4.2	18.3	25.0	4.8	4.3	43.4
白河	128	4.7	21.1	25.0	2.3	3.1	43.8
小松橋	90	5.6	14.4	28.9	3.3	3.3	44.4
富岡	98	2.0	13.3	32.7	7.1	7.1	37.8
東陽	111	7.2	21.6	25.2	5.4	8.1	32.4
豊洲	265	5.7	23.4	21.1	4.9	4.2	40.8
亀戸	127	3.9	15.7	25.2	6.3	3.1	45.7
大島	132	3.0	12.1	29.5	4.5	2.3	48.5
砂町	170	2.4	15.9	21.8	4.1	4.7	51.2
南砂	91	2.2	22.0	20.9	5.5	4.4	45.1
居住地区不詳	27	3.7	18.5	33.3	3.7	0.0	40.7

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性（27.1%）の方が女性（19.5%）より7.6ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では20～34歳、40～49歳、60～64歳で男性全体を上回っている。女性では18～24歳、35～39歳、45～49歳、55～59歳、65～74歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ-39 青少年が健全に育つ環境整備に関する認識（性年齢別）

<男 性>

(%)

	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない
全 体	521	5.0	22.1	25.0	3.8	5.8	38.4
18～19歳	6	0.0	16.7	33.3	0.0	16.7	33.3
20～24歳	20	10.0	45.0	0.0	15.0	5.0	25.0
25～29歳	32	12.5	25.0	12.5	3.1	3.1	43.8
30～34歳	24	0.0	29.2	37.5	4.2	8.3	20.8
35～39歳	30	10.0	16.7	16.7	0.0	3.3	53.3
40～44歳	34	8.8	32.4	20.6	0.0	2.9	35.3
45～49歳	59	3.4	28.8	16.9	5.1	6.8	39.0
50～54歳	62	6.5	19.4	32.3	6.5	3.2	32.3
55～59歳	49	4.1	20.4	30.6	0.0	10.2	34.7
60～64歳	38	2.6	26.3	28.9	2.6	7.9	31.6
65～69歳	49	0.0	18.4	32.7	2.0	4.1	42.9
70～74歳	38	5.3	13.2	28.9	5.3	10.5	36.8
75歳以上	80	3.8	13.8	25.0	5.0	3.8	48.8

<女 性>

(%)

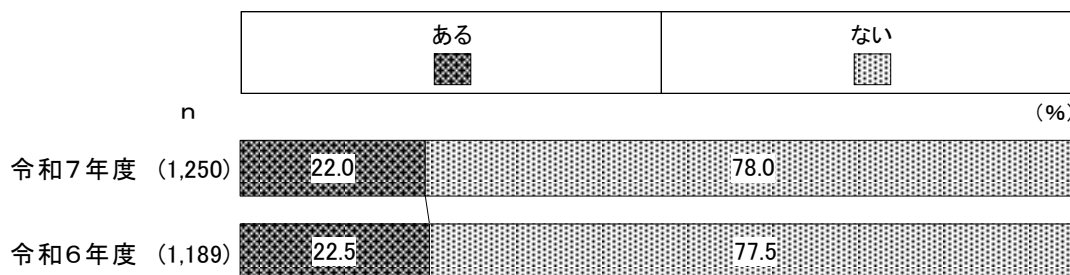
	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない
全 体	693	3.8	15.7	25.4	5.6	3.2	46.3
18～19歳	10	10.0	20.0	30.0	10.0	0.0	30.0
20～24歳	20	0.0	45.0	20.0	0.0	0.0	35.0
25～29歳	39	0.0	12.8	20.5	12.8	7.7	46.2
30～34歳	41	7.3	4.9	26.8	2.4	0.0	58.5
35～39歳	51	3.9	19.6	29.4	0.0	2.0	45.1
40～44歳	56	1.8	12.5	26.8	12.5	8.9	37.5
45～49歳	68	0.0	20.6	26.5	5.9	1.5	45.6
50～54歳	83	7.2	10.8	25.3	8.4	4.8	43.4
55～59歳	77	3.9	20.8	24.7	7.8	1.3	41.6
60～64歳	54	3.7	13.0	31.5	3.7	1.9	46.3
65～69歳	46	2.2	17.4	23.9	2.2	6.5	47.8
70～74歳	54	5.6	16.7	25.9	3.7	1.9	46.3
75歳以上	93	4.3	11.8	21.5	3.2	2.2	57.0
年齢不詳	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

問15 あなたは、この1年間にサークルや趣味を目的として、区公共施設を利用または地域などの活動に参加したことがありますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

<全体／経年比較>

- ・「ない」が78.0%で、「ある」(22.0%)を上回っている。
- ・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表IV-40 サークルや趣味による地域活動状況



① 地区別

- ・地区別では、サークルや趣味による地域活動への参加が「ある」割合は、東陽地区(33.0%)、豊洲地区(23.9%)、小松橋地区(23.1%)で全体を上回っている。

図表IV-41 サークルや趣味による地域活動状況(地区別)

	n	ある (%)	ない (%)
全 体	1,250	22.0	78.0
白河	128	20.3	79.7
小松橋	91	23.1	76.9
富岡	101	19.8	80.2
東陽	112	33.0	67.0
豊洲	268	23.9	76.1
亀戸	127	16.5	83.5
大島	134	20.9	79.1
砂町	171	18.1	81.9
南砂	91	22.0	78.0
居住地区不詳	27	25.9	74.1

② 性年齢別

- ・男女別にみると、サークルや趣味による地域活動への参加が「ある」割合に、特に大きな違いはみられない。
- ・年齢別にみると、サークルや趣味による地域活動への参加が「ある」割合は、男性では18～19歳、30～44歳、75歳以上で男性全体を上回っている。女性では40～49歳、55歳以上で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－42 サークルや趣味による地域活動状況（性年齢別）

＜男 性＞ (%)

	n	ある	ない
全 体	522	20.7	79.3
18～19歳	6	50.0	50.0
20～24歳	20	15.0	85.0
25～29歳	32	18.8	81.3
30～34歳	24	25.0	75.0
35～39歳	30	26.7	73.3
40～44歳	34	23.5	76.5
45～49歳	59	20.3	79.7
50～54歳	62	16.1	83.9
55～59歳	49	16.3	83.7
60～64歳	38	13.2	86.8
65～69歳	49	18.4	81.6
70～74歳	39	20.5	79.5
75歳以上	80	27.5	72.5

＜女 性＞ (%)

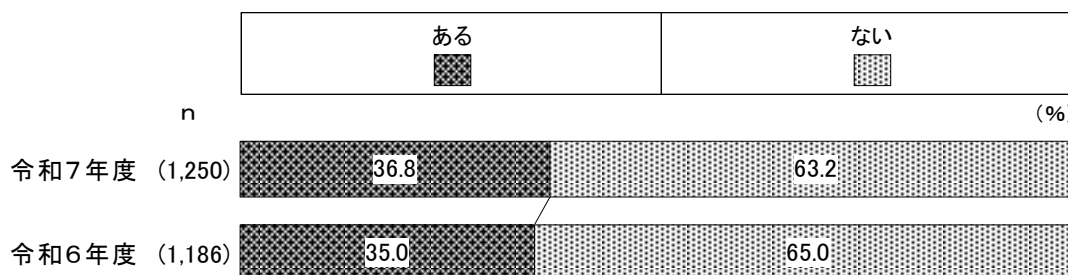
	n	ある	ない
全 体	702	23.1	76.9
18～19歳	10	20.0	80.0
20～24歳	20	15.0	85.0
25～29歳	39	5.1	94.9
30～34歳	41	4.9	95.1
35～39歳	51	11.8	88.2
40～44歳	56	28.6	71.4
45～49歳	69	26.1	73.9
50～54歳	83	15.7	84.3
55～59歳	77	23.4	76.6
60～64歳	54	29.6	70.4
65～69歳	46	23.9	76.1
70～74歳	56	32.1	67.9
75歳以上	99	37.4	62.6
年齢不詳	1	0.0	100.0

問16 あなたは、SNSやスマートフォン等の安全な利用方法やルール、マナーについて学んだことがありますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

<全体／経年比較>

- ・「ない」が63.2%で、「ある」(36.8%)を上回っている。
- ・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ-43 SNS等利用ルールの学習状況



① 地区別

- ・地区別では、SNS等利用ルールの学習が「ある」割合は、小松橋地区(40.7%)、豊洲地区(40.2%)、東陽地区(39.3%)、富岡地区(38.6%)、大島地区(37.3%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ-44 SNS等利用ルールの学習状況(地区別)

	n	ある (%)	ない (%)
全 体	1,250	36.8	63.2
白河	129	35.7	64.3
小松橋	91	40.7	59.3
富岡	101	38.6	61.4
東陽	112	39.3	60.7
豊洲	266	40.2	59.8
亀戸	128	32.0	68.0
大島	134	37.3	62.7
砂町	171	33.9	66.1
南砂	91	29.7	70.3
居住地区不詳	27	40.7	59.3

② 性年齢別

- ・男女別にみると、SNS等利用ルールの学習が「ある」割合に、特に大きな違いはみられない。
- ・年齢別にみると、SNS等利用ルールの学習が「ある」割合は、男性では18～59歳で男性全体を上回っている。女性では18～39歳、50～54歳で女性全体を上回っている。男女ともに若い年代で「ある」割合が高くなっている。

図表IV-45 SNS等利用ルールの学習状況（性年齢別）

＜男 性＞ (%)

	n	ある	ない
全 体	522	37.2	62.8
18～19歳	6	83.3	16.7
20～24歳	20	85.0	15.0
25～29歳	32	65.6	34.4
30～34歳	24	58.3	41.7
35～39歳	30	43.3	56.7
40～44歳	34	38.2	61.8
45～49歳	59	40.7	59.3
50～54歳	62	41.9	58.1
55～59歳	48	41.7	58.3
60～64歳	38	28.9	71.1
65～69歳	49	20.4	79.6
70～74歳	39	17.9	82.1
75歳以上	81	16.0	84.0

＜女 性＞ (%)

	n	ある	ない
全 体	702	36.2	63.8
18～19歳	10	100.0	0.0
20～24歳	20	100.0	0.0
25～29歳	39	64.1	35.9
30～34歳	41	58.5	41.5
35～39歳	51	49.0	51.0
40～44歳	56	33.9	66.1
45～49歳	69	33.3	66.7
50～54歳	83	39.8	60.2
55～59歳	77	32.5	67.5
60～64歳	54	20.4	79.6
65～69歳	46	17.4	82.6
70～74歳	56	19.6	80.4
75歳以上	99	19.2	80.8
年齢不詳	1	100.0	0.0

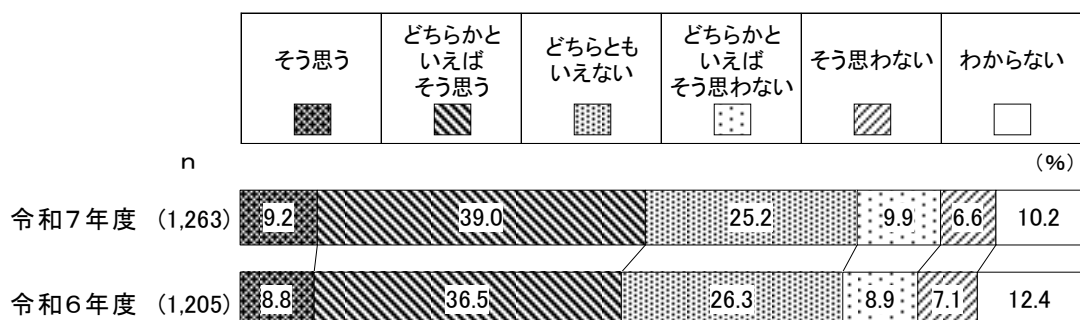
【魅力的で活力ある区内産業・商店街の形成】

問17 あなたは、区内の企業やお店が元気に活動していると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

<全体／経年比較>

- ・「どちらかといえばそう思う」が39.0%で最も高く、次いで「どちらともいえない」(25.2%)となっている。
- ・「そう思う」(9.2%)と「どちらかといえばそう思う」(39.0%)を合わせた『そう思う(計)』の割合は48.2%となっている。
- ・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ-46 区内の産業やお店が元気に活動している認識



① 地区別

- ・地区別では、『そう思う(計)』の割合は、富岡地区(61.4%)、東陽地区(58.8%)、白河地区(53.1%)、豊洲地区(52.2%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ-47 区内の産業やお店が元気に活動している認識(地区別)

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全体	1,263	9.2	39.0	25.2	9.9	6.6	10.2
白河	128	7.8	45.3	30.5	3.9	3.1	9.4
小松橋	91	6.6	38.5	22.0	12.1	7.7	13.2
富岡	101	6.9	54.5	21.8	7.9	5.0	4.0
東陽	114	11.4	47.4	18.4	10.5	5.3	7.0
豊洲	268	11.9	40.3	25.4	6.7	5.2	10.4
亀戸	130	10.0	34.6	23.8	13.8	7.7	10.0
大島	135	8.9	28.9	29.6	14.1	10.4	8.1
砂町	174	8.0	32.2	26.4	10.9	9.2	13.2
南砂	94	6.4	29.8	24.5	13.8	7.4	18.1
居住地区不詳	28	10.7	50.0	28.6	7.1	0.0	3.6

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『そう思う（計）』の割合に、特に大きな違いはみられない。
- ・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では18～29歳、35～54歳、60～64歳で男性全体を上回っている。女性では18～49歳、60～64歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－48 区内の産業やお店が元気に活動している認識（性年齢別）

<男性>

(%)

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全 体	527	9.9	38.3	26.2	10.8	7.2	7.6
18～19歳	6	16.7	33.3	16.7	16.7	0.0	16.7
20～24歳	21	33.3	42.9	9.5	0.0	4.8	9.5
25～29歳	32	15.6	56.3	15.6	0.0	0.0	12.5
30～34歳	24	8.3	29.2	33.3	20.8	4.2	4.2
35～39歳	30	16.7	36.7	16.7	10.0	3.3	16.7
40～44歳	34	8.8	52.9	26.5	8.8	0.0	2.9
45～49歳	59	11.9	49.2	27.1	6.8	0.0	5.1
50～54歳	62	4.8	45.2	25.8	14.5	4.8	4.8
55～59歳	49	0.0	38.8	38.8	4.1	14.3	4.1
60～64歳	38	10.5	39.5	26.3	13.2	5.3	5.3
65～69歳	49	4.1	34.7	26.5	18.4	14.3	2.0
70～74歳	40	10.0	30.0	37.5	7.5	7.5	7.5
75歳以上	83	10.8	20.5	22.9	15.7	15.7	14.5

<女性>

(%)

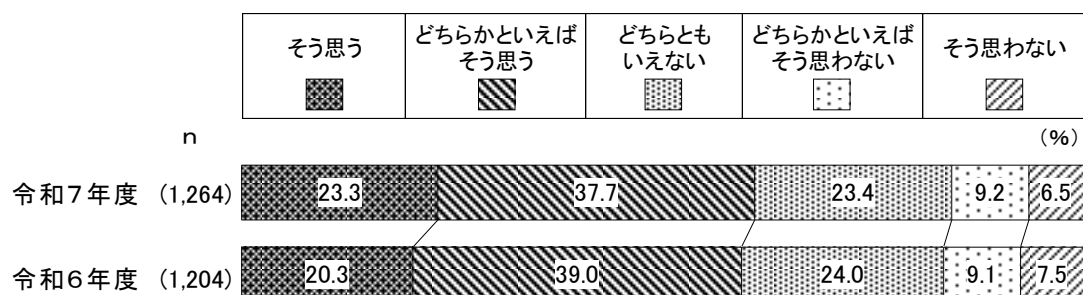
	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全 体	708	8.9	39.7	24.2	9.2	6.2	11.9
18～19歳	10	20.0	30.0	20.0	0.0	0.0	30.0
20～24歳	20	35.0	40.0	15.0	0.0	0.0	10.0
25～29歳	39	15.4	46.2	15.4	12.8	5.1	5.1
30～34歳	41	9.8	56.1	14.6	9.8	0.0	9.8
35～39歳	51	15.7	51.0	19.6	5.9	0.0	7.8
40～44歳	56	7.1	53.6	23.2	3.6	5.4	7.1
45～49歳	69	5.8	44.9	17.4	15.9	2.9	13.0
50～54歳	83	10.8	36.1	21.7	15.7	7.2	8.4
55～59歳	77	6.5	40.3	26.0	7.8	9.1	10.4
60～64歳	54	7.4	42.6	33.3	3.7	7.4	5.6
65～69歳	45	4.4	35.6	40.0	6.7	6.7	6.7
70～74歳	57	1.8	31.6	31.6	14.0	5.3	15.8
75歳以上	105	6.7	22.9	25.7	7.6	13.3	23.8
年齢不詳	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

問18 あなたは、魅力のある商店街やお店が区内にあると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

<全体／経年比較>

- ・「どちらかといえばそう思う」が37.7%で最も高く、次いで「どちらともいえない」(23.4%)となっている。
- ・「そう思う」(23.3%)と「どちらかといえばそう思う」(37.7%)を合わせた『そう思う(計)』の割合は61.0%となっている。
- ・前回調査と比較すると、「そう思う」が3.0ポイント増加している。

図表IV-49 魅力ある商店街やお店があると思う区民の割合



① 地区別

- ・地区別では、『そう思う(計)』の割合は、東陽地区(70.2%)、砂町地区(66.1%)、富岡地区(65.3%)、白河地区(64.9%)で全体を上回っている。

図表IV-50 魅力ある商店街やお店があると思う区民の割合(地区別)

	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない
全 体	1,264	23.3	37.7	23.4	9.2	6.5
白河	128	26.6	38.3	23.4	8.6	3.1
小松橋	91	22.0	36.3	24.2	9.9	7.7
富岡	101	27.7	37.6	20.8	6.9	6.9
東陽	114	28.1	42.1	18.4	6.1	5.3
豊洲	269	20.4	39.0	22.7	10.4	7.4
亀戸	130	23.8	35.4	25.4	8.5	6.9
大島	135	22.2	30.4	25.2	13.3	8.9
砂町	174	25.9	40.2	21.8	6.3	5.7
南砂	94	17.0	36.2	28.7	12.8	5.3
居住地区不詳	28	10.7	42.9	32.1	7.1	7.1

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『そう思う（計）』の割合に、特に大きな違いはみられない。
- ・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では18～49歳で男性全体を上回っている。女性では18～59歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－51 魅力ある商店街やお店があると思う区民の割合（性年齢別）

<男性> (％)

	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない
全 体	527	23.3	38.9	21.1	8.9	7.8
18～19歳	6	33.3	33.3	16.7	16.7	0.0
20～24歳	21	71.4	9.5	9.5	4.8	4.8
25～29歳	32	37.5	50.0	9.4	3.1	0.0
30～34歳	24	41.7	29.2	8.3	16.7	4.2
35～39歳	30	36.7	30.0	20.0	6.7	6.7
40～44歳	34	38.2	38.2	23.5	0.0	0.0
45～49歳	59	25.4	55.9	10.2	6.8	1.7
50～54歳	62	16.1	41.9	24.2	11.3	6.5
55～59歳	49	10.2	51.0	22.4	4.1	12.2
60～64歳	38	18.4	42.1	21.1	5.3	13.2
65～69歳	49	12.2	34.7	26.5	14.3	12.2
70～74歳	40	17.5	32.5	32.5	10.0	7.5
75歳以上	83	12.0	31.3	27.7	14.5	14.5

<女性> (％)

	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない
全 体	708	23.4	36.7	24.7	9.7	5.4
18～19歳	10	40.0	40.0	10.0	10.0	0.0
20～24歳	20	50.0	35.0	10.0	5.0	0.0
25～29歳	39	30.8	41.0	12.8	12.8	2.6
30～34歳	41	36.6	29.3	17.1	12.2	4.9
35～39歳	51	37.3	37.3	15.7	9.8	0.0
40～44歳	56	25.0	39.3	21.4	8.9	5.4
45～49歳	69	17.4	47.8	24.6	5.8	4.3
50～54歳	83	25.3	36.1	25.3	9.6	3.6
55～59歳	77	18.2	45.5	22.1	10.4	3.9
60～64歳	54	18.5	35.2	29.6	13.0	3.7
65～69歳	46	10.9	37.0	26.1	15.2	10.9
70～74歳	57	15.8	38.6	24.6	17.5	3.5
75歳以上	104	19.2	23.1	41.3	2.9	13.5
年齢不詳	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【人・地域をつなぐ地域コミュニティの活性化】

問19 町会・自治会、NPO、ボランティアなどが日頃より様々な地域活動を主催しています。この1年間、あなたはこれらの地域活動に参加したことがありますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

<全体／経年比較>

- ・「まったく参加したことはない」が65.7%で最も高く、次いで「参加したことはあるが、今はほとんど参加していない」(16.5%)となっている。
- ・「よく参加している」(4.9%)と「ときどき参加している」(12.9%)を合わせた『参加している(計)』の割合は17.8%となっている。
- ・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ-52 地域活動に参加したことがある区民の割合



① 地区別

- ・地区別では、『参加している(計)』の割合は、南砂地区(30.4%)、白河地区(24.2%)、小松橋地区(20.0%)、富岡地区(19.2%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ-53 地域活動に参加したことがある区民の割合(地区別)

	n	よく参加している	ときどき参加している	参加したことはあるが、今はほとんど参加していない	まったく参加したことはない
全体	1,258	4.9	12.9	16.5	65.7
白河	128	7.0	17.2	21.1	54.7
小松橋	90	10.0	10.0	15.6	64.4
富岡	99	10.1	9.1	18.2	62.6
東陽	111	1.8	15.3	17.1	65.8
豊洲	271	4.8	12.9	14.8	67.5
亀戸	130	3.1	12.3	16.2	68.5
大島	134	5.2	6.0	16.4	72.4
砂町	175	1.7	10.9	16.0	71.4
南砂	92	4.3	26.1	15.2	54.3
居住地区不詳	28	3.6	10.7	14.3	71.4

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『参加している（計）』の割合は、女性（19.5％）の方が、男性（15.7％）より3.8ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では35～44歳、55～59歳、65歳以上で男性全体を上回っている。女性では35～49歳、70歳以上で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－54 地域活動に参加したことある区民の割合（性年齢別）

<男 性> (％)

	n	よく参加している	ときどき参加している	参加したことはあるが、今はほとんど参加していない	まったく参加したことはない
全 体	522	4.8	10.9	16.9	67.4
18～19歳	6	0.0	0.0	33.3	66.7
20～24歳	21	0.0	4.8	19.0	76.2
25～29歳	32	0.0	6.3	9.4	84.4
30～34歳	24	4.2	8.3	8.3	79.2
35～39歳	30	0.0	16.7	6.7	76.7
40～44歳	34	8.8	20.6	8.8	61.8
45～49歳	59	1.7	11.9	18.6	67.8
50～54歳	62	0.0	8.1	19.4	72.6
55～59歳	49	12.2	6.1	14.3	67.3
60～64歳	38	2.6	5.3	15.8	76.3
65～69歳	48	6.3	10.4	33.3	50.0
70～74歳	39	7.7	12.8	12.8	66.7
75歳以上	80	8.8	16.3	18.8	56.3

<女 性> (％)

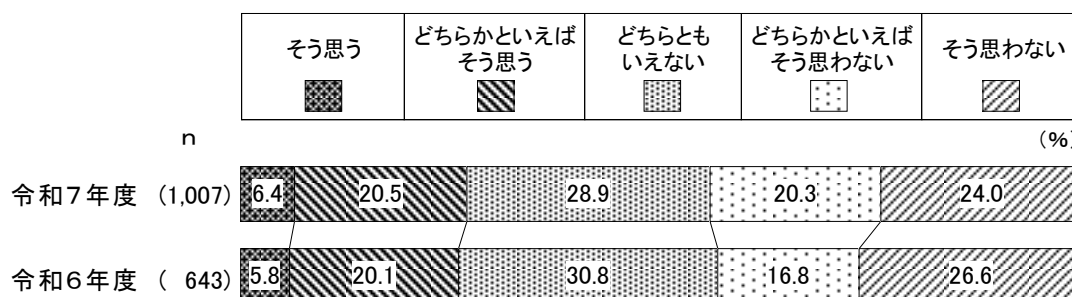
	n	よく参加している	ときどき参加している	参加したことはあるが、今はほとんど参加していない	まったく参加したことはない
全 体	707	5.2	14.3	16.5	63.9
18～19歳	10	0.0	0.0	20.0	80.0
20～24歳	20	0.0	5.0	25.0	70.0
25～29歳	39	0.0	0.0	5.1	94.9
30～34歳	41	4.9	7.3	9.8	78.0
35～39歳	51	3.9	15.7	11.8	68.6
40～44歳	57	7.0	17.5	8.8	66.7
45～49歳	69	1.4	20.3	11.6	66.7
50～54歳	83	3.6	10.8	21.7	63.9
55～59歳	78	2.6	11.5	17.9	67.9
60～64歳	53	5.7	11.3	22.6	60.4
65～69歳	45	2.2	15.6	17.8	64.4
70～74歳	55	14.5	18.2	16.4	50.9
75歳以上	105	10.5	22.9	22.9	43.8
年齢不詳	1	0.0	0.0	0.0	100.0

問19-1 問19で「3. 参加したことはあるが、今はほとんど参加していない」「4. まったく参加したことはない」を選んだ方におたずねします。
 地域活動へ参加したいと思いますか。あてはまるものを選び、○印をおつけください。(○は1つ)

<全体/経年比較>

- ・「どちらともいえない」が28.9%で最も高く、次いで「そう思わない」(24.0%)となっている。
- ・「そう思う」(6.4%)と「どちらかといえばそう思う」(20.5%)を合わせた『そう思う(計)』の割合は26.9%となっている。
- ・前回調査と比較すると、「どちらかといえばそう思わない」が3.5ポイント増加している。

図表IV-55 地域活動に参加していない区民の参加意欲



問20 江東区には、気軽に利用できる地域活動施設があると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

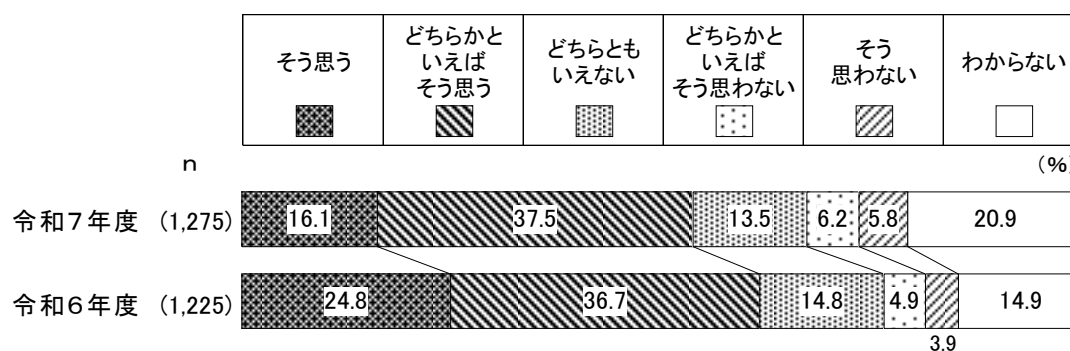
【地域活動施設の例】

区民館、地区集会所、文化センター、スポーツセンター、児童館、福祉会館

<全体／経年比較>

- ・「どちらかといえばそう思う」が37.5%で最も高く、次いで「わからない」(20.9%)となっている。
- ・「そう思う」(16.1%)と「どちらかといえばそう思う」(37.5%)を合わせた『そう思う(計)』の割合は53.6%となっている。
- ・前回調査と比較すると、『そう思う(計)』が7.9ポイント減少している。

図表Ⅳ-56 気軽に利用できる地域活動施設があると思う区民の割合



① 地区別

- ・地区別では、『そう思う(計)』の割合は、東陽地区(62.9%)、豊洲地区(57.6%)、砂町地区(56.0%)、富岡地区(54.4%)、南砂地区(53.7%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ-57 気軽に利用できる地域活動施設があると思う区民の割合(地区別)

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全体	1,275	16.1	37.5	13.5	6.2	5.8	20.9
白河	130	21.5	27.7	20.8	8.5	1.5	20.0
小松橋	91	15.4	37.4	8.8	8.8	6.6	23.1
富岡	101	15.8	38.6	13.9	5.0	7.9	18.8
東陽	113	19.5	43.4	14.2	6.2	3.5	13.3
豊洲	271	17.7	39.9	12.5	4.1	6.6	19.2
亀戸	132	12.1	31.1	14.4	9.1	6.1	27.3
大島	136	14.0	36.8	13.2	8.1	3.7	24.3
砂町	177	13.6	42.4	10.7	4.0	6.8	22.6
南砂	95	15.8	37.9	10.5	5.3	10.5	20.0
居住地区不詳	29	10.3	34.5	24.1	6.9	3.4	20.7

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『そう思う（計）』の割合に、特に大きな違いはみられない。
- ・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では20～49歳で男性全体を上回っている。女性では20～24歳、40～54歳、60～64歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－58 気軽に利用できる地域活動施設があると思う区民の割合（性年齢別）

<男性>

(%)

	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない
全 体	525	15.8	37.7	13.9	5.9	6.9	19.8
18～19歳	6	16.7	33.3	16.7	0.0	16.7	16.7
20～24歳	21	28.6	33.3	0.0	4.8	4.8	28.6
25～29歳	32	15.6	43.8	6.3	9.4	9.4	15.6
30～34歳	24	41.7	29.2	16.7	4.2	0.0	8.3
35～39歳	30	23.3	40.0	10.0	0.0	3.3	23.3
40～44歳	34	23.5	50.0	8.8	0.0	0.0	17.6
45～49歳	59	15.3	47.5	6.8	5.1	5.1	20.3
50～54歳	62	11.3	41.9	14.5	8.1	6.5	17.7
55～59歳	48	10.4	31.3	25.0	4.2	6.3	22.9
60～64歳	38	10.5	28.9	21.1	15.8	13.2	10.5
65～69歳	48	6.3	39.6	16.7	12.5	6.3	18.8
70～74歳	40	10.0	35.0	15.0	2.5	5.0	32.5
75歳以上	83	16.9	31.3	15.7	3.6	12.0	20.5

<女性>

(%)

	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない
全 体	719	16.4	37.7	13.1	6.7	5.1	21.0
18～19歳	10	20.0	30.0	0.0	10.0	0.0	40.0
20～24歳	20	15.0	45.0	10.0	0.0	0.0	30.0
25～29歳	39	10.3	35.9	7.7	10.3	2.6	33.3
30～34歳	41	12.2	39.0	12.2	2.4	2.4	31.7
35～39歳	51	21.6	27.5	25.5	5.9	2.0	17.6
40～44歳	57	19.3	47.4	10.5	3.5	5.3	14.0
45～49歳	69	18.8	44.9	11.6	7.2	4.3	13.0
50～54歳	83	20.5	37.3	9.6	8.4	6.0	18.1
55～59歳	78	11.5	38.5	17.9	9.0	5.1	17.9
60～64歳	54	16.7	44.4	9.3	7.4	5.6	16.7
65～69歳	46	10.9	37.0	17.4	8.7	8.7	17.4
70～74歳	57	15.8	36.8	12.3	8.8	5.3	21.1
75歳以上	113	16.8	30.1	13.3	4.4	8.0	27.4
年齢不詳	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問21 あなたは、この1年間に地域イベントに参加しましたか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

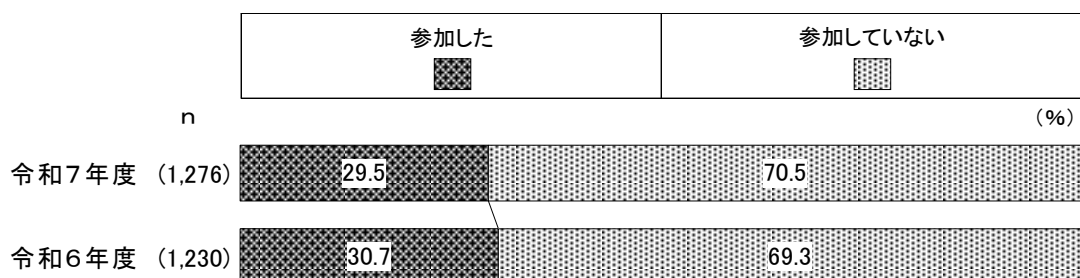
【地域イベントの例】

江東花火大会、江東区民まつり、国際交流のつどい

<全体／経年比較>

- ・「参加していない」が70.5%で、「参加した」(29.5%)を上回っている。
- ・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ-59 地域イベントへの参加状況



① 地区別

- ・地区別では、地域イベントに「参加した」割合は、東陽地区(44.7%)、南砂地区(36.5%)、小松橋地区(34.1%)、白河地区(31.8%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ-60 地域イベントへの参加状況(地区別)

	n	参加した	参加していない
全 体	1,276	29.5	70.5
白河	129	31.8	68.2
小松橋	91	34.1	65.9
富岡	101	27.7	72.3
東陽	114	44.7	55.3
豊洲	272	26.1	73.9
亀戸	132	25.0	75.0
大島	136	25.7	74.3
砂町	177	23.2	76.8
南砂	96	36.5	63.5
居住地区不詳	28	39.3	60.7

② 性年齢別

- ・男女別にみると、「参加した」割合に、特に大きな違いはみられない。
- ・年齢別にみると、「参加した」割合は、男性では25～29歳、35～49歳、55～59歳、65～69歳で男性全体を上回っている。女性では35～49歳、75歳以上で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－61 地域イベントへの参加状況（性年齢別）

＜男 性＞ (%)

	n	参加した	参加していない
全 体	526	27.9	72.1
18～19歳	6	16.7	83.3
20～24歳	21	23.8	76.2
25～29歳	32	37.5	62.5
30～34歳	24	16.7	83.3
35～39歳	30	43.3	56.7
40～44歳	34	47.1	52.9
45～49歳	59	28.8	71.2
50～54歳	62	24.2	75.8
55～59歳	49	30.6	69.4
60～64歳	38	18.4	81.6
65～69歳	48	33.3	66.7
70～74歳	41	19.5	80.5
75歳以上	82	22.0	78.0

＜女 性＞ (%)

	n	参加した	参加していない
全 体	720	30.4	69.6
18～19歳	10	10.0	90.0
20～24歳	20	20.0	80.0
25～29歳	39	23.1	76.9
30～34歳	41	29.3	70.7
35～39歳	51	41.2	58.8
40～44歳	57	42.1	57.9
45～49歳	69	50.7	49.3
50～54歳	83	21.7	78.3
55～59歳	78	24.4	75.6
60～64歳	54	29.6	70.4
65～69歳	46	13.0	87.0
70～74歳	56	28.6	71.4
75歳以上	115	33.0	67.0
年齢不詳	1	0.0	100.0

【多様性を認め合う（ダイバーシティ）社会の実現】

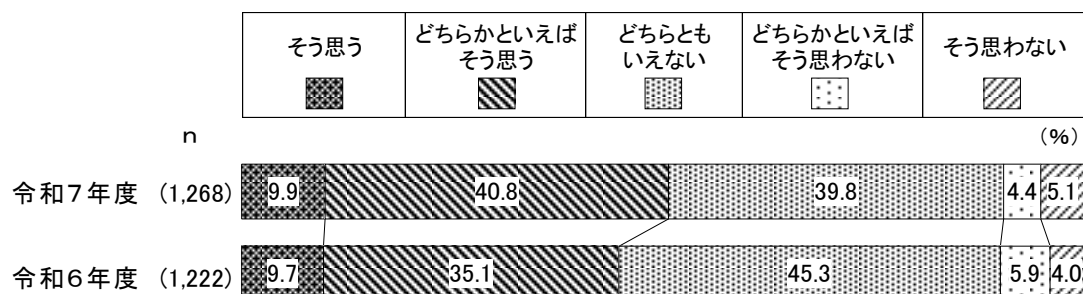
問22 江東区は、多様性を認め合い、誰もが尊重され、暮らしやすいまちであると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は1つ）

「多様性」とは、年齢、性別、国籍、障害の有無、価値観、生き方など様々な違いのことをいう。

<全体／経年比較>

- ・「どちらかといえばそう思う」が40.8%で最も高く、次いで「どちらともいえない」（39.8%）となっている。
- ・「そう思う」（9.9%）と「どちらかといえばそう思う」（40.8%）を合わせた『そう思う（計）』の割合は50.7%となっている。
- ・前回調査と比較すると、『そう思う（計）』が5.9ポイント増加している。

図表IV-62 多様性を認め合い暮らしやすいまちだと思う区民の割合



① 地区別

- ・地区別では、『そう思う（計）』の割合は、大島地区（58.4%）、白河地区（55.8%）、富岡地区（55.6%）、小松橋地区（52.8%）で全体を上回っている。

図表IV-63 多様性を認め合い暮らしやすいまちだと思う区民の割合（地区別）

	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない
全 体	1,268	9.9	40.8	39.8	4.4	5.1
白河	129	11.6	44.2	38.0	2.3	3.9
小松橋	91	11.0	41.8	38.5	4.4	4.4
富岡	97	8.2	47.4	36.1	5.2	3.1
東陽	115	8.7	40.0	40.0	2.6	8.7
豊洲	270	13.3	37.4	41.9	4.4	3.0
亀戸	131	6.1	39.7	41.2	3.8	9.2
大島	137	10.2	48.2	31.4	2.9	7.3
砂町	175	5.7	38.9	44.6	6.3	4.6
南砂	95	13.7	30.5	43.2	8.4	4.2
居住地区不詳	28	3.6	50.0	39.3	3.6	3.6

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『そう思う（計）』の割合に、特に大きな違いはみられない。
- ・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では20～54歳、70～74歳で男性全体を上回っている。女性では18～39歳、65～69歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－64 多様性を認め合い暮らしやすいまちだと思ふ区民の割合（性年齢別）

<男 性> (％)

	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない
全 体	525	9.1	41.5	37.9	4.8	6.7
18～19歳	6	16.7	0.0	66.7	0.0	16.7
20～24歳	21	4.8	57.1	33.3	4.8	0.0
25～29歳	32	18.8	46.9	34.4	0.0	0.0
30～34歳	24	20.8	41.7	25.0	4.2	8.3
35～39歳	30	10.0	53.3	20.0	3.3	13.3
40～44歳	34	2.9	58.8	26.5	5.9	5.9
45～49歳	59	5.1	54.2	32.2	3.4	5.1
50～54歳	61	9.8	41.0	41.0	1.6	6.6
55～59歳	49	12.2	32.7	40.8	6.1	8.2
60～64歳	37	2.7	32.4	56.8	2.7	5.4
65～69歳	46	4.3	34.8	56.5	0.0	4.3
70～74歳	40	10.0	42.5	32.5	7.5	7.5
75歳以上	86	10.5	31.4	37.2	11.6	9.3

<女 性> (％)

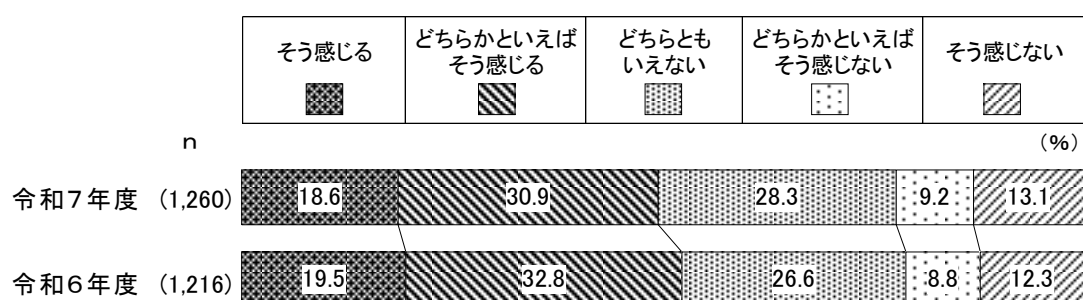
	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない
全 体	714	10.2	40.8	41.2	4.1	3.8
18～19歳	10	0.0	70.0	20.0	10.0	0.0
20～24歳	20	10.0	50.0	40.0	0.0	0.0
25～29歳	39	12.8	56.4	28.2	2.6	0.0
30～34歳	41	12.2	48.8	31.7	4.9	2.4
35～39歳	50	12.0	44.0	42.0	0.0	2.0
40～44歳	57	3.5	43.9	35.1	7.0	10.5
45～49歳	69	7.2	37.7	44.9	5.8	4.3
50～54歳	82	11.0	32.9	51.2	3.7	1.2
55～59歳	77	9.1	41.6	46.8	1.3	1.3
60～64歳	55	7.3	43.6	45.5	3.6	0.0
65～69歳	48	8.3	45.8	35.4	4.2	6.3
70～74歳	55	5.5	38.2	43.6	3.6	9.1
75歳以上	110	19.1	29.1	40.0	6.4	5.5
年齢不詳	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

問23 あなたは、問22の多様性について、自分にも関わりがあると感じていますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

<全体／経年比較>

- ・「どちらかといえばそう感じる」が30.9%で最も高く、次いで「どちらともいえない」(28.3%)となっている。
- ・「そう感じる」(18.6%)と「どちらかといえばそう感じる」(30.9%)を合わせた『そう感じる(計)』の割合は49.5%となっている。
- ・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表IV-65 多様性に関わりがあると思う区民の割合



① 地区別

- ・地区別では、『そう感じる(計)』の割合は、東陽地区(52.2%)、豊洲地区(52.0%)、小松橋地区(51.1%)、亀戸地区(51.1%)、大島地区(50.4%)、白河地区(50.0%)で全体を上回っている。

図表IV-66 多様性に関わりがあると思う区民の割合(地区別)

	n	そう感じる	どちらかといえ ばそう感じる	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう感じない	そう感じない
全 体	1,260	18.6	30.9	28.3	9.2	13.1
白河	128	19.5	30.5	28.1	10.9	10.9
小松橋	90	16.7	34.4	27.8	7.8	13.3
富岡	96	15.6	31.3	25.0	15.6	12.5
東陽	115	25.2	27.0	26.1	7.8	13.9
豊洲	269	20.4	31.6	30.1	7.8	10.0
亀戸	131	20.6	30.5	26.0	6.1	16.8
大島	133	18.8	31.6	25.6	9.0	15.0
砂町	174	13.8	28.2	31.6	10.9	15.5
南砂	95	15.8	32.6	27.4	10.5	13.7
居住地区不詳	29	13.8	37.9	37.9	3.4	6.9

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性（51.8%）の方が女性（47.7%）より4.1ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、『そう感じる（計）』の割合は、男性では18～24歳、30～59歳、70～74歳で男性全体を上回っている。女性では25～49歳、70～74歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－67 多様性に関わりがあると思う区民の割合（性年齢別）

<男 性> (％)

	n	そう感じる	どちらかといえ ばそう感じる	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう感じない	そう感じない
全 体	522	21.1	30.7	24.1	8.4	15.7
18～19歳	6	50.0	16.7	33.3	0.0	0.0
20～24歳	21	28.6	33.3	0.0	9.5	28.6
25～29歳	32	28.1	18.8	31.3	15.6	6.3
30～34歳	24	29.2	25.0	16.7	12.5	16.7
35～39歳	30	23.3	43.3	10.0	6.7	16.7
40～44歳	34	23.5	29.4	32.4	2.9	11.8
45～49歳	59	16.9	35.6	15.3	8.5	23.7
50～54歳	60	25.0	28.3	26.7	6.7	13.3
55～59歳	48	20.8	35.4	25.0	6.3	12.5
60～64歳	37	18.9	27.0	32.4	8.1	13.5
65～69歳	47	12.8	21.3	38.3	10.6	17.0
70～74歳	40	10.0	42.5	27.5	2.5	17.5
75歳以上	84	21.4	29.8	21.4	11.9	15.5

<女 性> (％)

	n	そう感じる	どちらかといえ ばそう感じる	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう感じない	そう感じない
全 体	708	16.9	30.8	31.2	9.7	11.3
18～19歳	10	30.0	10.0	30.0	20.0	10.0
20～24歳	20	30.0	15.0	45.0	0.0	10.0
25～29歳	39	25.6	23.1	20.5	12.8	17.9
30～34歳	41	14.6	39.0	24.4	17.1	4.9
35～39歳	50	14.0	40.0	28.0	8.0	10.0
40～44歳	57	17.5	33.3	36.8	8.8	3.5
45～49歳	69	17.4	42.0	26.1	4.3	10.1
50～54歳	82	12.2	26.8	26.8	17.1	17.1
55～59歳	77	15.6	31.2	35.1	11.7	6.5
60～64歳	55	18.2	25.5	40.0	7.3	9.1
65～69歳	46	13.0	32.6	28.3	13.0	13.0
70～74歳	55	20.0	34.5	27.3	7.3	10.9
75歳以上	106	15.1	25.5	36.8	5.7	17.0
年齢不詳	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

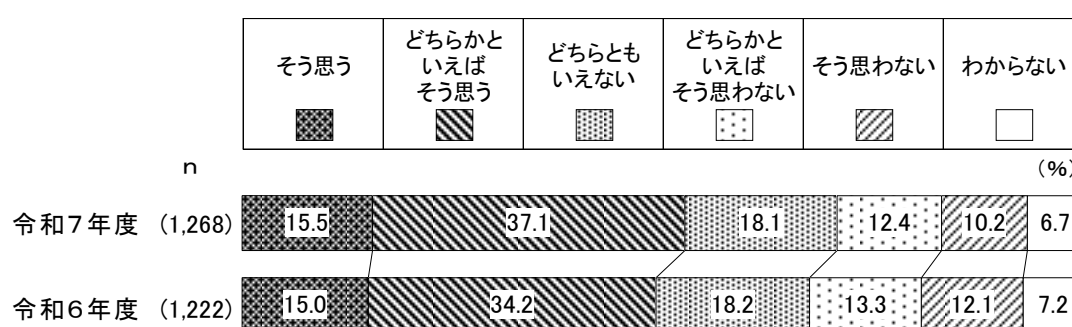
問24 あなたは現在、仕事、家庭生活（家事・子育て・介護・家族との交流）、地域・個人の生活（地域活動・趣味・学習・休養）を自分が希望するバランスで実現することができていると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。

(○は1つ)

<全体／経年比較>

- ・「どちらかといえばそう思う」が37.1%で最も高く、次いで「どちらともいえない」(18.1%)となっている。
- ・「そう思う」(15.5%)と「どちらかといえばそう思う」(37.1%)を合わせた『そう思う(計)』の割合は52.6%となっている。
- ・前回調査と比較すると、『そう思う(計)』が3.4ポイント増加している。

図表IV-68 仕事、家庭生活などと自分が希望するバランスがとれていると思う区民の割合



① 地区別

- ・地区別では、『そう思う(計)』の割合は、東陽地区(60.8%)、豊洲地区(58.5%)、白河地区(55.8%)、南砂地区(55.7%)、小松橋地区(55.5%)、富岡地区(55.1%)で全体を上回っている。

図表IV-69 仕事、家庭生活などと自分が希望するバランスがとれていると思う区民の割合(地区別)

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全体	1,268	15.5	37.1	18.1	12.4	10.2	6.7
白河	129	13.2	42.6	18.6	8.5	9.3	7.8
小松橋	90	12.2	43.3	17.8	11.1	10.0	5.6
富岡	98	13.3	41.8	14.3	18.4	8.2	4.1
東陽	115	19.1	41.7	12.2	13.9	10.4	2.6
豊洲	268	21.6	36.9	15.7	11.6	10.1	4.1
亀戸	132	12.9	28.8	25.0	15.9	9.8	7.6
大島	136	15.4	34.6	18.4	11.0	12.5	8.1
砂町	175	8.0	36.0	20.6	13.7	10.3	11.4
南砂	97	20.6	35.1	14.4	8.2	10.3	11.3
居住地区不詳	28	14.3	21.4	42.9	10.7	10.7	0.0

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『そう思う（計）』の割合は、女性（55.3%）の方が男性（49.8%）より5.5ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では20～49歳で男性全体を上回っている。女性では20～29歳、35～39歳、45～49歳、55～64歳、70～74歳で女性全体を上回っている。

図表IV-70 仕事、家庭生活などと自分が希望するバランスがとれていると思う区民の割合（性年齢別）

<男性> (%)

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全体	524	14.1	35.7	20.2	12.6	11.3	6.1
18～19歳	6	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0
20～24歳	21	14.3	52.4	4.8	4.8	9.5	14.3
25～29歳	32	15.6	40.6	6.3	12.5	15.6	9.4
30～34歳	24	16.7	33.3	4.2	25.0	16.7	4.2
35～39歳	30	26.7	26.7	10.0	16.7	16.7	3.3
40～44歳	34	17.6	38.2	26.5	11.8	5.9	0.0
45～49歳	59	13.6	50.8	15.3	8.5	8.5	3.4
50～54歳	61	13.1	34.4	14.8	14.8	19.7	3.3
55～59歳	48	12.5	29.2	25.0	14.6	16.7	2.1
60～64歳	37	13.5	32.4	29.7	5.4	13.5	5.4
65～69歳	47	10.6	23.4	40.4	14.9	4.3	6.4
70～74歳	40	7.5	40.0	27.5	5.0	5.0	15.0
75歳以上	85	15.3	32.9	20.0	14.1	8.2	9.4

<女性> (%)

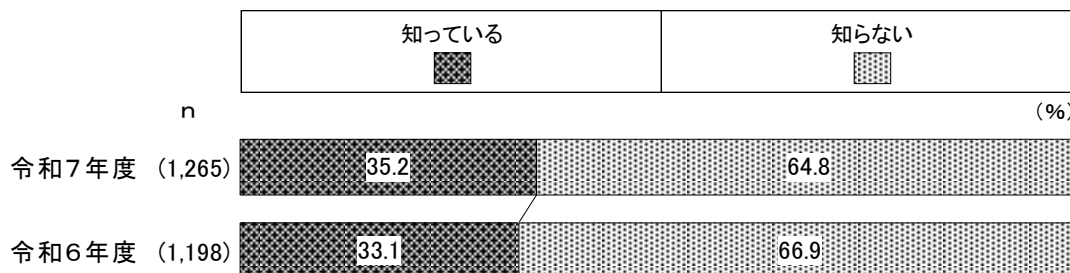
	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全体	714	16.4	38.9	16.4	12.0	9.2	7.0
18～19歳	10	10.0	40.0	20.0	0.0	30.0	0.0
20～24歳	20	30.0	50.0	20.0	0.0	0.0	0.0
25～29歳	39	12.8	46.2	12.8	17.9	10.3	0.0
30～34歳	41	14.6	29.3	24.4	17.1	9.8	4.9
35～39歳	50	28.0	32.0	18.0	6.0	10.0	6.0
40～44歳	57	12.3	40.4	12.3	21.1	10.5	3.5
45～49歳	69	11.6	44.9	7.2	18.8	11.6	5.8
50～54歳	82	19.5	35.4	23.2	13.4	7.3	1.2
55～59歳	78	17.9	39.7	10.3	10.3	11.5	10.3
60～64歳	55	14.5	43.6	14.5	18.2	7.3	1.8
65～69歳	48	14.6	35.4	22.9	10.4	10.4	6.3
70～74歳	55	9.1	47.3	18.2	12.7	5.5	7.3
75歳以上	109	18.3	33.0	17.4	2.8	8.3	20.2
年齢不詳	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問25 あなたは、「ドメスティックバイオレンス(DV=配偶者等からの暴力)」について相談できる窓口を知っていますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。
(○は1つ)

<全体／経年比較>

- ・「知らない」が64.8%で、「知っている」(35.2%)を上回っている。
- ・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ-71 ドメスティックバイオレンスについて相談できる窓口の認知度



① 地区別

- ・地区別では、「知っている」の割合は、小松橋地区 (39.6%)、東陽地区 (37.4%)、白河地区 (35.9%)、富岡地区 (35.7%)、南砂地区 (35.4%) で全体を上回っている。

図表Ⅳ-72 ドメスティックバイオレンスについて相談できる窓口の認知度 (地区別)

	n	知っている (%)	知らない (%)
全 体	1,265	35.2	64.8
白河	128	35.9	64.1
小松橋	91	39.6	60.4
富岡	98	35.7	64.3
東陽	115	37.4	62.6
豊洲	269	33.5	66.5
亀戸	130	33.1	66.9
大島	137	35.0	65.0
砂町	174	34.5	65.5
南砂	96	35.4	64.6
居住地区不詳	27	37.0	63.0

② 性年齢別

- ・男女別にみると、「知っている」の割合は、女性（38.0%）の方が男性（31.5%）より6.5ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、「知っている」の割合は、男性では35～44歳、60～64歳、70歳以上で男性全体を上回っている。女性では30～49歳、55～74歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ-73 ドメスティックバイオレンスについて相談できる窓口の認知度（性年齢別）

＜男 性＞ (％)

	n	知っている	知らない
全 体	523	31.5	68.5
18～19歳	6	16.7	83.3
20～24歳	21	19.0	81.0
25～29歳	32	18.8	81.3
30～34歳	24	29.2	70.8
35～39歳	29	41.4	58.6
40～44歳	34	32.4	67.6
45～49歳	59	25.4	74.6
50～54歳	61	23.0	77.0
55～59歳	49	24.5	75.5
60～64歳	37	40.5	59.5
65～69歳	47	29.8	70.2
70～74歳	40	50.0	50.0
75歳以上	84	40.5	59.5

＜女 性＞ (％)

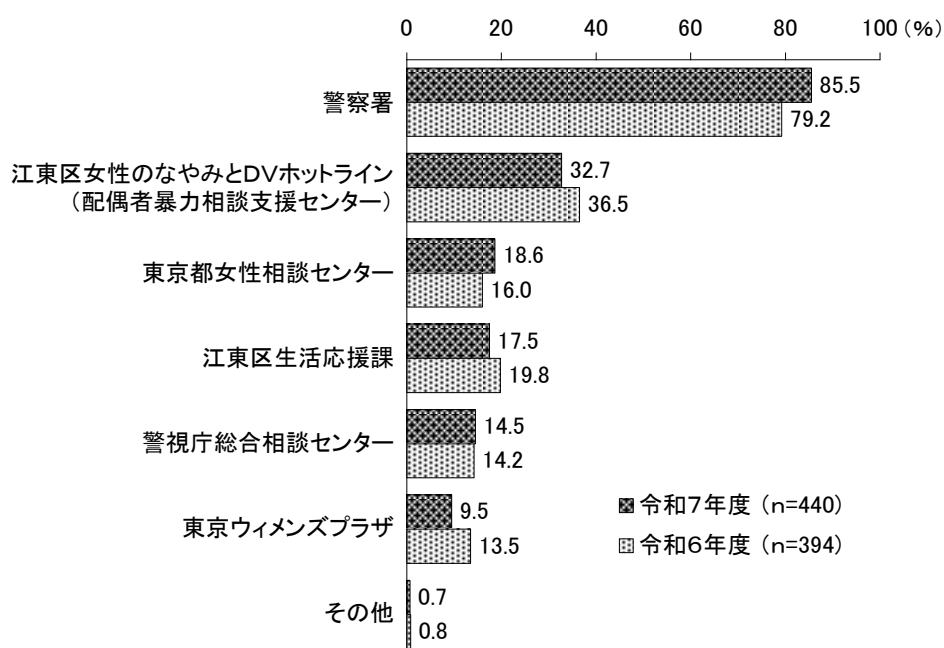
	n	知っている	知らない
全 体	714	38.0	62.0
18～19歳	10	20.0	80.0
20～24歳	20	5.0	95.0
25～29歳	39	33.3	66.7
30～34歳	41	39.0	61.0
35～39歳	50	44.0	56.0
40～44歳	57	45.6	54.4
45～49歳	69	42.0	58.0
50～54歳	82	32.9	67.1
55～59歳	78	42.3	57.7
60～64歳	55	40.0	60.0
65～69歳	47	42.6	57.4
70～74歳	54	42.6	57.4
75歳以上	111	33.3	66.7
年齢不詳	1	0.0	100.0

問25-1 問25で「1. 知っている」を選んだ方におたずねします。
 相談できると知っていた窓口（機関）を次の中から、あてはまるものを選び○
 印をおつけください。（○はいくつでも）

<全体／経年比較>

- ・相談できると知っていた相談窓口では、「警察署」が85.5%で最も高く、次いで「江東区女性のなやみとDVホットライン（配偶者暴力相談支援センター）」（32.7%）となっている。
- ・前回調査と比較すると、「警察署」が6.3ポイント増加、「東京ウィメンズプラザ」が4.0ポイント減少、「江東区女性のなやみとDVホットライン（配偶者暴力相談支援センター）」が3.8ポイント減少している。

図表IV-74 ドメスティックバイオレンスについての相談窓口



【生涯にわたり学習できる環境の充実】

問26 あなたは、以下のような学習講座や地域の集まりなどに参加していますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

【学習講座や地域の集まりの例】

- ① 趣味（野球、サッカー、ウォーキング、ピアノ、ヨガなど）、② 教養（英会話など）、
③ 芸術、④ 文化、⑤ 教室（料理など）

<全体／経年比較>

- ・「まったく参加したことはない」が67.6%で最も高く、次いで「参加したことはあるが、今はほとんど参加していない」（20.6%）となっている。
- ・「よく参加している」（4.9%）と「ときどき参加している」（6.9%）を合わせた『参加している（計）』の割合は11.8%となっている。
- ・前回調査と比較すると、「参加したことはあるが、今はほとんど参加していない」が3.9ポイント増加している。

図表Ⅳ－75 生涯学習講座や地域の集まりなどに参加している区民の割合



① 地区別

- ・地区別では、『参加している（計）』の割合は、南砂地区（17.7%）、東陽地区（16.5%）、小松橋地区（12.4%）、豊洲地区（12.2%）で全体を上回っている。

図表Ⅳ－76 生涯学習講座や地域の集まりなどに参加している区民の割合（地区別）

	n	よく参加している	ときどき参加している	参加したことはあるが、今はほとんど参加していない	まったく参加したことはない
全 体	1,269	4.9	6.9	20.6	67.6
白河	130	3.1	8.5	25.4	63.1
小松橋	89	3.4	9.0	21.3	66.3
富岡	97	4.1	6.2	24.7	64.9
東陽	115	4.3	12.2	27.0	56.5
豊洲	271	5.2	7.0	19.6	68.3
亀戸	131	5.3	4.6	13.7	76.3
大島	137	4.4	6.6	17.5	71.5
砂町	176	4.5	2.8	19.3	73.3
南砂	96	8.3	9.4	18.8	63.5
居住地区不詳	27	11.1	0.0	29.6	59.3

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『参加している（計）』の割合は、女性（14.1%）の方が男性（9.0%）より5.1ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、『参加している（計）』の割合は、男性では18～19歳、35～39歳、55～59歳、65歳以上で男性全体を上回っている。女性では40～49歳、60歳以上で女性全体を上回っている。

図表IV-77 生涯学習講座や地域の集まりなどに参加している区民の割合（性年齢別）

<男性>

(%)

	n	よく参加している	ときどき参加している	参加したことはあるが、今はほとんど参加していない	まったく参加したことはない
全 体	524	2.9	6.1	17.7	73.3
18～19歳	6	0.0	16.7	33.3	50.0
20～24歳	21	4.8	0.0	28.6	66.7
25～29歳	32	0.0	3.1	6.3	90.6
30～34歳	24	4.2	0.0	12.5	83.3
35～39歳	30	3.3	6.7	10.0	80.0
40～44歳	34	0.0	8.8	11.8	79.4
45～49歳	59	1.7	3.4	15.3	79.7
50～54歳	61	0.0	4.9	19.7	75.4
55～59歳	49	2.0	8.2	10.2	79.6
60～64歳	37	0.0	2.7	18.9	78.4
65～69歳	46	2.2	8.7	28.3	60.9
70～74歳	40	0.0	10.0	15.0	75.0
75歳以上	85	10.6	8.2	24.7	56.5

<女性>

(%)

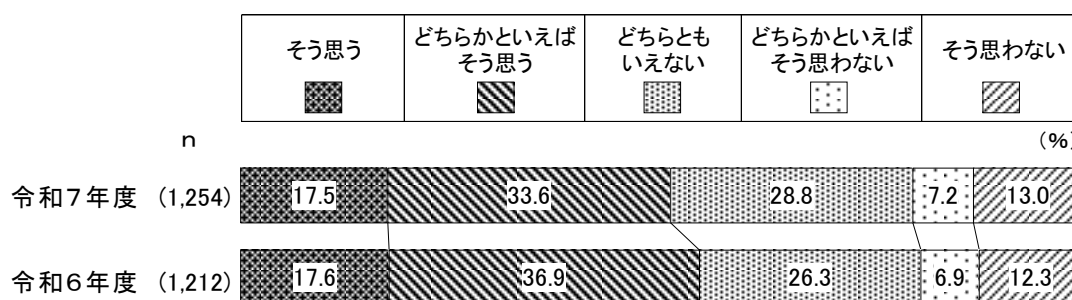
	n	よく参加している	ときどき参加している	参加したことはあるが、今はほとんど参加していない	まったく参加したことはない
全 体	717	6.6	7.5	23.2	62.8
18～19歳	10	0.0	0.0	10.0	90.0
20～24歳	20	5.0	5.0	35.0	55.0
25～29歳	39	2.6	0.0	7.7	89.7
30～34歳	41	0.0	7.3	7.3	85.4
35～39歳	50	2.0	2.0	20.0	76.0
40～44歳	57	3.5	14.0	19.3	63.2
45～49歳	69	10.1	4.3	26.1	59.4
50～54歳	82	3.7	6.1	32.9	57.3
55～59歳	78	10.3	3.8	24.4	61.5
60～64歳	55	3.6	14.5	21.8	60.0
65～69歳	48	12.5	6.3	25.0	56.3
70～74歳	55	7.3	12.7	23.6	56.4
75歳以上	112	9.8	10.7	26.8	52.7
年齢不詳	1	100.0	0.0	0.0	0.0

問 27 あなたは、学習や講座などを通じて得られた新たな学びを、地域活動や仕事、趣味などに活かしたいと思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。
(○は1つ)

<全体／経年比較>

- ・「どちらかといえばそう思う」が33.6%で最も高く、次いで「どちらともいえない」(28.8%)となっている。
- ・「そう思う」(17.5%)と「どちらかといえばそう思う」(33.6%)を合わせた『そう思う(計)』の割合は51.1%となっている。
- ・前回調査と比較すると、『そう思う(計)』が3.4ポイント減少している。

図表Ⅳ-78 新たな学びを、地域活動や仕事、趣味などに活かしたい区民の割合



① 地区別

- ・地区別では、『そう思う(計)』の割合は、東陽地区(62.9%)、豊洲地区(56.5%)、白河地区(53.9%)、大島地区(52.2%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ-79 新たな学びを、地域活動や仕事、趣味などに活かしたい区民の割合(地区別)

	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない
全 体	1,254	17.5	33.6	28.8	7.2	13.0
白河	128	14.8	39.1	26.6	6.3	13.3
小松橋	88	20.5	27.3	33.0	6.8	12.5
富岡	96	15.6	34.4	22.9	8.3	18.8
東陽	113	25.7	37.2	17.7	8.8	10.6
豊洲	271	22.9	33.6	29.5	5.5	8.5
亀戸	128	14.1	31.3	29.7	4.7	20.3
大島	136	13.2	39.0	27.2	11.0	9.6
砂町	174	11.5	27.0	36.8	9.8	14.9
南砂	93	18.3	32.3	33.3	4.3	11.8
居住地区不詳	27	11.1	40.7	22.2	3.7	22.2

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『そう思う（計）』の割合は、女性（55.6%）の方が男性（46.1%）より9.5ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では18～34歳、50～59歳、75歳以上で男性全体を上回っている。女性では20～29歳、40～49歳、55～59歳、70～74歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－80 新たな学びを、地域活動や仕事、趣味などに活かしたい区民の割合（性年齢別）

<男 性>

(%)

	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない
全 体	521	16.3	29.8	28.0	9.2	16.7
18～19歳	6	33.3	16.7	50.0	0.0	0.0
20～24歳	21	47.6	23.8	9.5	4.8	14.3
25～29歳	32	28.1	40.6	12.5	6.3	12.5
30～34歳	24	8.3	41.7	12.5	16.7	20.8
35～39歳	29	3.4	31.0	31.0	13.8	20.7
40～44歳	34	14.7	29.4	26.5	8.8	20.6
45～49歳	59	11.9	30.5	33.9	8.5	15.3
50～54歳	61	19.7	31.1	29.5	6.6	13.1
55～59歳	49	14.3	32.7	24.5	8.2	20.4
60～64歳	37	16.2	27.0	35.1	5.4	16.2
65～69歳	46	8.7	21.7	43.5	13.0	13.0
70～74歳	39	12.8	25.6	38.5	12.8	10.3
75歳以上	84	17.9	28.6	21.4	9.5	22.6

<女 性>

(%)

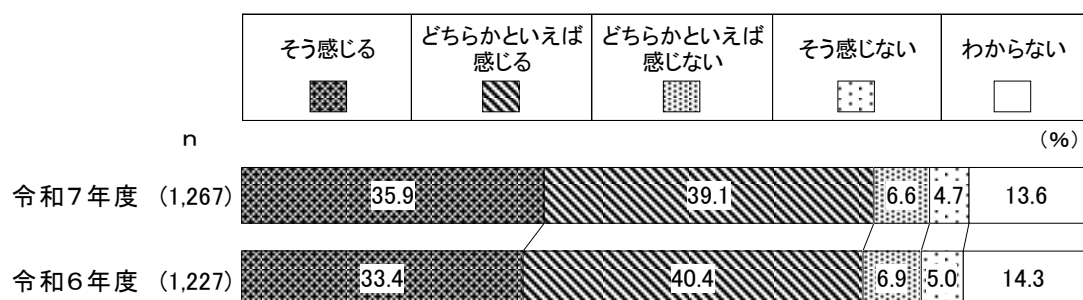
	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない
全 体	705	18.9	36.7	28.7	5.4	10.4
18～19歳	10	30.0	10.0	20.0	20.0	20.0
20～24歳	20	10.0	50.0	15.0	5.0	20.0
25～29歳	39	20.5	46.2	25.6	2.6	5.1
30～34歳	41	12.2	31.7	34.1	2.4	19.5
35～39歳	50	18.0	36.0	30.0	6.0	10.0
40～44歳	56	19.6	44.6	26.8	1.8	7.1
45～49歳	68	13.2	45.6	20.6	2.9	17.6
50～54歳	82	18.3	36.6	28.0	7.3	9.8
55～59歳	78	28.2	33.3	21.8	11.5	5.1
60～64歳	55	16.4	36.4	36.4	3.6	7.3
65～69歳	48	12.5	37.5	33.3	10.4	6.3
70～74歳	54	25.9	42.6	24.1	3.7	3.7
75歳以上	103	19.4	25.2	37.9	2.9	14.6
年齢不詳	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

問28 あなたは、図書館が学びの場として役に立っていると感じていますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

<全体/経年比較>

- ・「どちらかといえば感じる」が39.1%で最も高く、次いで「そう感じる」(35.9%)となっている。
- ・これらを合わせた『そう感じる(計)』の割合は75.0%となっている。
- ・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ-81 図書館が学びの場として役立っていると感じる区民の割合



① 地区別

- ・地区別では、『そう感じる(計)』の割合は、東陽地区(82.7%)、南砂地区(80.0%)、豊洲地区(79.5%)、小松橋地区(78.9%)、砂町地区(76.2%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ-82 図書館が学びの場として役立っていると感じる区民の割合(地区別)

	n	そう感じる	どちらかといえば感じる	どちらかといえば感じない	そう感じない	わからない
全 体	1,267	35.9	39.1	6.6	4.7	13.6
白河	130	40.8	32.3	3.8	6.9	16.2
小松橋	90	40.0	38.9	5.6	1.1	14.4
富岡	98	35.7	38.8	8.2	2.0	15.3
東陽	115	47.0	35.7	7.0	5.2	5.2
豊洲	269	37.5	42.0	6.3	3.7	10.4
亀戸	130	27.7	35.4	9.2	7.7	20.0
大島	137	28.5	38.0	8.0	7.3	18.2
砂町	176	33.0	43.2	5.7	4.5	13.6
南砂	95	37.9	42.1	5.3	3.2	11.6
居住地区不詳	27	25.9	48.1	11.1	3.7	11.1

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『そう感じる（計）』の割合に、特に大きな違いはみられない。
- ・年齢別にみると、『そう感じる（計）』の割合は、男性では20～29歳、35～39歳、45～59歳で男性全体を上回っている。女性では18～29歳、35～54歳、70～74歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－83 図書館が学びの場として役立っていると感じる区民の割合（性年齢別）

<男 性> (％)

	n	そう感じる	どちらかといえは感じる	どちらかといえは感じない	そう感じない	わからない
全 体	525	35.2	41.0	6.7	5.7	11.4
18～19歳	6	16.7	50.0	16.7	0.0	16.7
20～24歳	21	23.8	61.9	0.0	0.0	14.3
25～29歳	32	59.4	25.0	6.3	0.0	9.4
30～34歳	24	29.2	41.7	4.2	8.3	16.7
35～39歳	30	23.3	60.0	3.3	0.0	13.3
40～44歳	34	32.4	35.3	2.9	14.7	14.7
45～49歳	59	44.1	32.2	3.4	11.9	8.5
50～54歳	61	45.9	37.7	9.8	1.6	4.9
55～59歳	49	30.6	55.1	6.1	0.0	8.2
60～64歳	37	29.7	43.2	13.5	5.4	8.1
65～69歳	47	25.5	36.2	12.8	8.5	17.0
70～74歳	40	25.0	47.5	2.5	12.5	12.5
75歳以上	85	38.8	35.3	7.1	4.7	14.1

<女 性> (％)

	n	そう感じる	どちらかといえは感じる	どちらかといえは感じない	そう感じない	わからない
全 体	715	36.2	38.2	6.6	4.2	14.8
18～19歳	10	40.0	50.0	0.0	10.0	0.0
20～24歳	20	45.0	30.0	0.0	0.0	25.0
25～29歳	39	46.2	35.9	2.6	0.0	15.4
30～34歳	41	41.5	29.3	12.2	4.9	12.2
35～39歳	50	46.0	40.0	6.0	0.0	8.0
40～44歳	57	28.1	50.9	7.0	7.0	7.0
45～49歳	69	39.1	42.0	7.2	1.4	10.1
50～54歳	82	39.0	42.7	2.4	6.1	9.8
55～59歳	78	21.8	32.1	10.3	7.7	28.2
60～64歳	55	29.1	40.0	9.1	7.3	14.5
65～69歳	48	35.4	37.5	10.4	4.2	12.5
70～74歳	55	29.1	45.5	7.3	3.6	14.5
75歳以上	110	42.7	30.0	4.5	2.7	20.0
年齢不詳	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

【スポーツを楽しめる環境の充実】

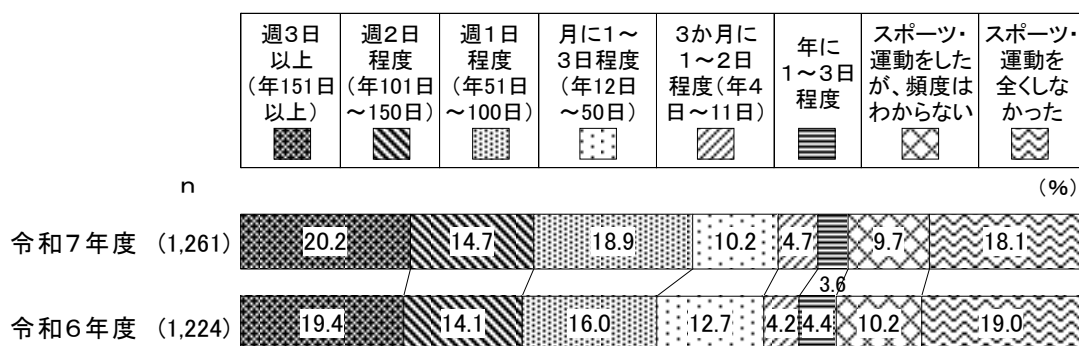
問29 あなたは、この1年間にどれくらいの頻度でスポーツ・運動を行っていますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

「スポーツ・運動」には、散歩や体操などの体を動かすことを意識して行う運動も含む。

＜全体／経年比較＞

- ・「週3日以上（年151日以上）」が20.2%で最も高く、次いで「週1日程度（年51日～100日）」（18.9%）となっている。
- ・「週3日以上」（20.2%）、「週2日程度」（14.7%）、「週1日程度」（18.9%）を合わせた『週1日以上スポーツ・運動を行う（計）』の割合は53.8%となっている。
- ・前回調査と比較すると、『週1日以上スポーツ・運動を行う（計）』が4.3ポイント増加している。

図表IV-84 スポーツ・運動の頻度



① 地区別

- ・地区別では、豊洲地区、亀戸地区、南砂地区で「週3日以上」が同率を含め1位、富岡地区で「週2日程度」が1位、白河地区、東陽地区、豊洲地区で「週1日程度」が同率を含め1位、小松橋地区で「月に1～3日程度」が1位となっている。一方で、大島地区と砂町地区では「スポーツ・運動を全くしなかった」が1位となっている。

図表IV-85 スポーツ・運動の頻度（地区別）

	n	週3日以上 (年151日以上)	週2日程度 (年101日～150日)	週1日程度 (年51日～100日)	月に1～3日程度 (年12日～50日)	3か月に1～2日程度 (年4日～11日)	年に1～3日程度	スポーツ・運動をしたが、頻度はわからない	スポーツ・運動を全くしなかった
全 体	1,261	20.2	14.7	18.9	10.2	4.7	3.6	9.7	18.1
白河	131	15.3	14.5	26.0	13.7	5.3	1.5	9.2	14.5
小松橋	89	16.9	14.6	15.7	19.1	1.1	2.2	12.4	18.0
富岡	98	19.4	21.4	19.4	7.1	4.1	4.1	7.1	17.3
東陽	114	21.1	15.8	21.9	10.5	2.6	3.5	9.6	14.9
豊洲	268	19.4	14.9	19.4	10.4	6.0	3.4	10.8	15.7
亀戸	128	21.9	14.1	16.4	10.2	3.9	3.9	9.4	20.3
大島	137	18.2	18.2	19.0	5.8	4.4	1.5	8.0	24.8
砂町	176	19.9	9.1	15.3	9.1	7.4	7.4	8.0	23.9
南砂	92	33.7	13.0	17.4	8.7	3.3	2.2	8.7	13.0
居住地区不詳	28	21.4	10.7	14.3	7.1	3.6	7.1	25.0	10.7

② 性年齢別

- ・男女別にみると、男性では「週1日程度」が1位、女性では「週3日以上」が1位となっている。
- ・年齢別にみると、「週3日以上」の割合は、男性では18～24歳、60歳以上で男性全体を上回っている。女性では20～24歳、55～59歳、65歳以上で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ-86 スポーツ・運動の頻度（性年齢別）

<男性>

(%)

	n	週3日以上 (年151日以上)	週2日程度 (年101日～150日)	週1日程度 (年51日～100日)	月に1～3日程度 (年12日～50日)	3か月に1～2日程度 (年4日～11日)	年に1～3日程度	スポーツ・運動をしたが、頻度はわからない	スポーツ・運動を全くしなかった
全体	525	18.9	15.0	19.4	11.4	5.5	3.8	9.1	16.8
18～19歳	6	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
20～24歳	21	19.0	4.8	23.8	19.0	9.5	4.8	14.3	4.8
25～29歳	32	15.6	3.1	28.1	21.9	3.1	9.4	12.5	6.3
30～34歳	24	8.3	20.8	16.7	12.5	16.7	8.3	8.3	8.3
35～39歳	30	13.3	6.7	13.3	16.7	13.3	3.3	10.0	23.3
40～44歳	34	8.8	5.9	41.2	11.8	8.8	0.0	11.8	11.8
45～49歳	59	10.2	22.0	20.3	10.2	15.3	5.1	3.4	13.6
50～54歳	61	16.4	18.0	19.7	14.8	4.9	4.9	9.8	11.5
55～59歳	49	18.4	12.2	24.5	6.1	2.0	4.1	12.2	20.4
60～64歳	37	24.3	10.8	18.9	8.1	0.0	2.7	8.1	27.0
65～69歳	47	34.0	12.8	12.8	4.3	4.3	2.1	8.5	21.3
70～74歳	40	20.0	25.0	7.5	15.0	0.0	2.5	7.5	22.5
75歳以上	85	24.7	21.2	14.1	7.1	0.0	2.4	9.4	21.2

<女性>

(%)

	n	週3日以上 (年151日以上)	週2日程度 (年101日～150日)	週1日程度 (年51日～100日)	月に1～3日程度 (年12日～50日)	3か月に1～2日程度 (年4日～11日)	年に1～3日程度	スポーツ・運動をしたが、頻度はわからない	スポーツ・運動を全くしなかった
全体	708	21.2	14.7	18.2	9.2	4.0	3.5	10.2	19.1
18～19歳	10	10.0	10.0	0.0	10.0	20.0	20.0	20.0	10.0
20～24歳	20	25.0	5.0	10.0	15.0	5.0	0.0	25.0	15.0
25～29歳	39	7.7	15.4	23.1	17.9	5.1	12.8	10.3	7.7
30～34歳	41	17.1	9.8	9.8	7.3	9.8	14.6	14.6	17.1
35～39歳	50	14.0	20.0	22.0	8.0	10.0	2.0	8.0	16.0
40～44歳	57	12.3	14.0	28.1	10.5	5.3	1.8	5.3	22.8
45～49歳	69	17.4	15.9	17.4	8.7	2.9	5.8	13.0	18.8
50～54歳	82	15.9	13.4	19.5	13.4	3.7	3.7	9.8	20.7
55～59歳	78	23.1	14.1	24.4	10.3	2.6	2.6	5.1	17.9
60～64歳	54	20.4	20.4	22.2	9.3	1.9	0.0	7.4	18.5
65～69歳	47	29.8	17.0	14.9	8.5	2.1	0.0	10.6	17.0
70～74歳	55	27.3	14.5	10.9	5.5	1.8	1.8	9.1	29.1
75歳以上	105	34.3	13.3	14.3	3.8	1.0	0.0	12.4	21.0
年齢不詳	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

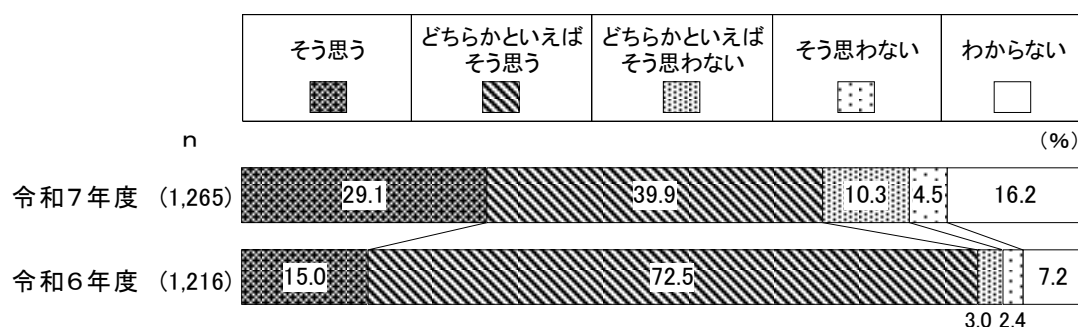
【文化・歴史の継承と観光振興】

問30 あなたは、江東区内に魅力的な文化観光資源があると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

<全体／経年比較>

- ・「どちらかといえばそう思う」が39.9%で最も高く、次いで「そう思う」(29.1%)となっている。
- ・これらを合わせた『そう思う(計)』の割合は69.0%となっている。
- ・前回調査と比較すると、『そう思う(計)』が18.5ポイント減少している。

図表IV-87 江東区内に魅力的な文化観光資源があるという認識



① 地区別

- ・地区別では、『そう思う(計)』の割合は、白河地区(79.6%)、富岡地区(77.7%)、東陽地区(73.0%)、豊洲地区(71.7%)で全体を上回っている。

図表IV-88 江東区内に魅力的な文化観光資源があるという認識(地区別)

	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない
全 体	1,265	29.1	39.9	10.3	4.5	16.2
白河	132	41.7	37.9	9.8	2.3	8.3
小松橋	89	30.3	38.2	10.1	5.6	15.7
富岡	99	34.3	43.4	6.1	1.0	15.2
東陽	115	33.9	39.1	13.0	4.3	9.6
豊洲	269	31.2	40.5	10.0	4.5	13.8
亀戸	130	20.0	43.1	10.8	6.2	20.0
大島	136	20.6	38.2	11.0	8.8	21.3
砂町	174	26.4	38.5	9.2	3.4	22.4
南砂	94	27.7	38.3	9.6	4.3	20.2
居住地区不詳	27	11.1	48.1	22.2	3.7	14.8

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『そう思う（計）』の割合に、特に大きな違いはみられない。
- ・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では25～29歳、40～49歳、60～74歳で男性全体を上回っている。女性では20～24歳、30～34歳、40～54歳、70歳以上で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－89 江東区内に魅力的な文化観光資源があるという認識（性年齢別）

<男 性>

(%)

	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない
全 体	524	30.5	37.6	11.8	5.3	14.7
18～19歳	6	16.7	16.7	33.3	0.0	33.3
20～24歳	21	28.6	38.1	4.8	4.8	23.8
25～29歳	32	28.1	43.8	6.3	6.3	15.6
30～34歳	23	26.1	34.8	13.0	21.7	4.3
35～39歳	29	20.7	37.9	10.3	6.9	24.1
40～44歳	34	38.2	32.4	11.8	8.8	8.8
45～49歳	59	37.3	35.6	11.9	6.8	8.5
50～54歳	62	24.2	43.5	16.1	1.6	14.5
55～59歳	49	22.4	40.8	14.3	8.2	14.3
60～64歳	38	36.8	34.2	15.8	0.0	13.2
65～69歳	47	38.3	36.2	14.9	2.1	8.5
70～74歳	39	35.9	35.9	5.1	0.0	23.1
75歳以上	85	29.4	37.6	9.4	5.9	17.6

<女 性>

(%)

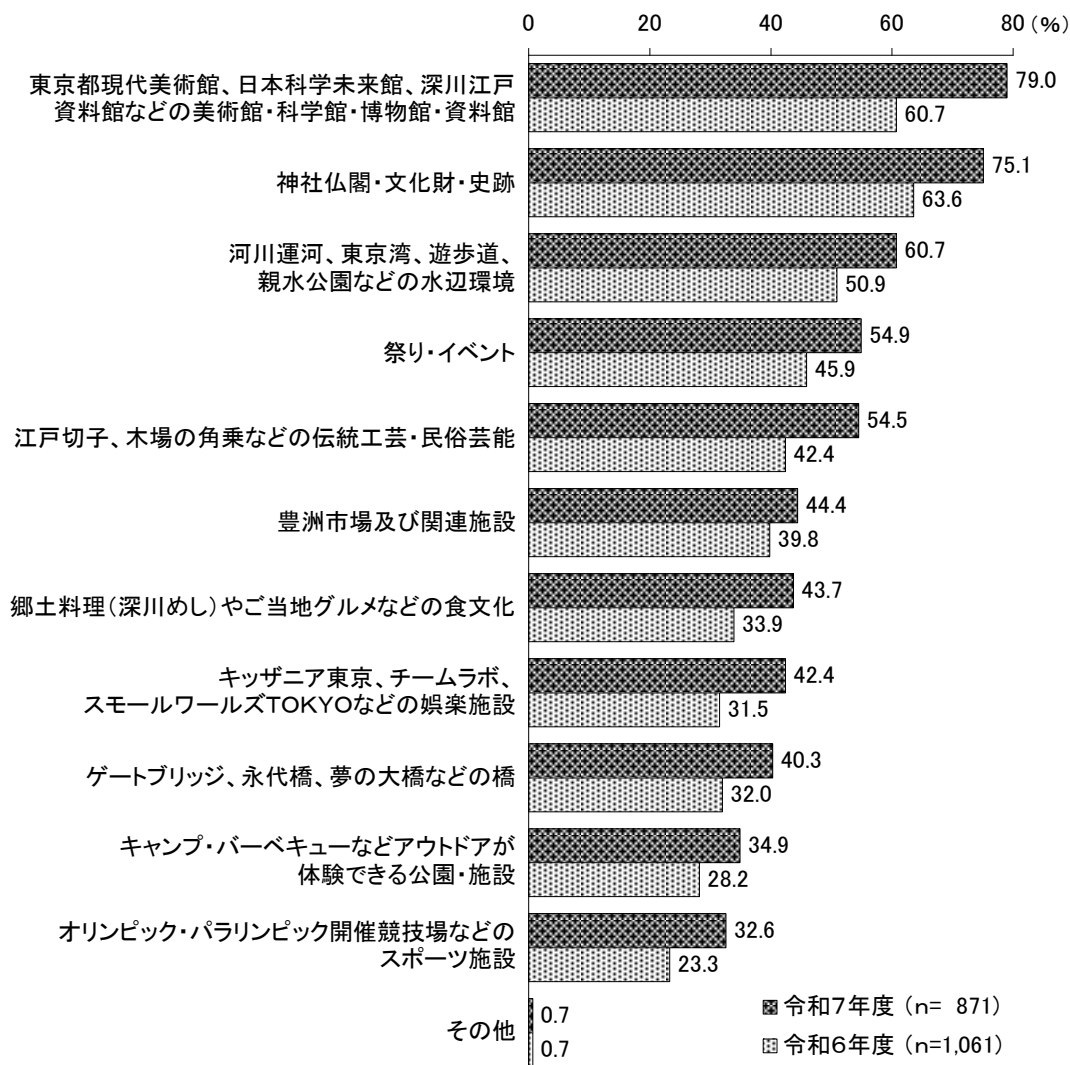
	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない
全 体	714	28.4	41.7	9.2	3.9	16.7
18～19歳	10	0.0	50.0	20.0	10.0	20.0
20～24歳	20	25.0	60.0	5.0	0.0	10.0
25～29歳	39	20.5	38.5	17.9	7.7	15.4
30～34歳	41	34.1	41.5	4.9	9.8	9.8
35～39歳	51	37.3	29.4	11.8	3.9	17.6
40～44歳	57	29.8	40.4	12.3	3.5	14.0
45～49歳	69	29.0	50.7	4.3	4.3	11.6
50～54歳	83	25.3	45.8	9.6	2.4	16.9
55～59歳	77	26.0	35.1	11.7	2.6	24.7
60～64歳	55	29.1	36.4	9.1	3.6	21.8
65～69歳	48	31.3	37.5	12.5	10.4	8.3
70～74歳	54	33.3	48.1	5.6	0.0	13.0
75歳以上	109	27.5	43.1	6.4	1.8	21.1
年齢不詳	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

問30-1 問30で「1. そう思う」「2. どちらかといえばそう思う」を選んだ方におたずねします。
 あなたにとって魅力的だと思う観光資源を次の中から、あてはまるものを選び○印をおつけください。(○はいくつでも)

<全体/経年比較>

- ・「東京都現代美術館、日本科学未来館、深川江戸資料館などの美術館・科学館・博物館・資料館」が79.0%で最も高く、次いで「神社仏閣・文化財・史跡」(75.1%)となっている。
- ・前回調査と比較すると、「その他」を除くすべての項目で増加しており、特に「東京都現代美術館、日本科学未来館、深川江戸資料館などの美術館・科学館・博物館・資料館」が18.3ポイント増加している。

図表Ⅳ-90 魅力的だと思う文化観光資源



問31 あなたは、江東区には未来に引き継ぎたい文化財、民俗芸能や伝統技能があると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

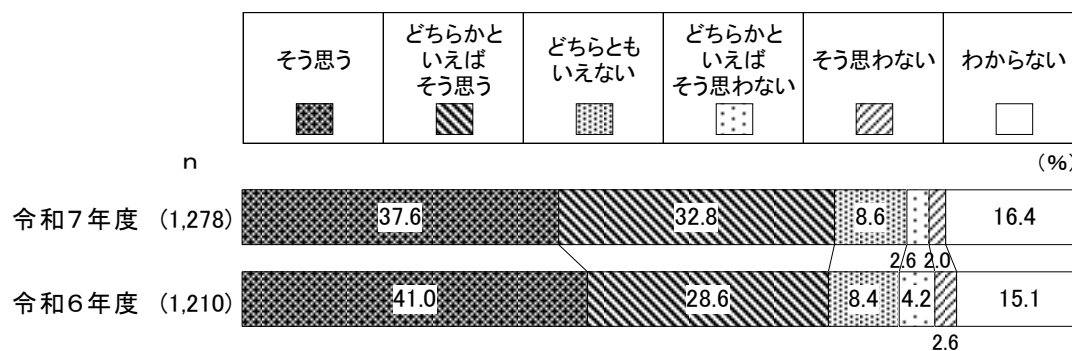
【民俗芸能・伝統芸能の例】

江戸切子、船大工、木工（建具・彫刻）、染色（無地染・更紗染）、木場の角乗、木場の木遣、深川の力持、砂村囃子（すなむらばやし）、富岡八幡の手古舞

<全体／経年比較>

- ・「そう思う」が37.6%で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」（32.8%）となっている。
- ・これらを合わせた『そう思う（計）』の割合は70.4%となっている。
- ・前回調査と比較すると、「どちらかといえばそう思う」が4.2ポイント増加している。

図表Ⅳ-91 未来に引き継ぎたい文化財、民俗芸能や伝統技能があると思う区民の割合



① 地区別

- ・地区別では、『そう思う（計）』の割合は、東陽地区（82.7%）、富岡地区（77.2%）、白河地区（76.5%）、小松橋地区（73.3%）、南砂地区（70.8%）、豊洲地区（70.6%）で全体を上回っている。

図表Ⅳ-92 未来に引き継ぎたい文化財、民俗芸能や伝統技能があると思う区民の割合（地区別）

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全 体	1,278	37.6	32.8	8.6	2.6	2.0	16.4
白河	132	47.7	28.8	9.8	0.8	1.5	11.4
小松橋	90	43.3	30.0	8.9	2.2	1.1	14.4
富岡	101	49.5	27.7	6.9	0.0	1.0	14.9
東陽	115	47.0	35.7	5.2	0.9	1.7	9.6
豊洲	272	34.6	36.0	8.8	1.8	2.6	16.2
亀戸	130	30.0	28.5	10.0	2.3	3.8	25.4
大島	138	30.4	35.5	6.5	5.8	1.4	20.3
砂町	176	31.8	34.1	8.5	4.0	2.3	19.3
南砂	96	35.4	35.4	9.4	4.2	2.1	13.5
居住地区不詳	28	32.1	25.0	21.4	7.1	0.0	14.3

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『そう思う（計）』の割合は、女性（73.2%）の方が男性（66.6%）より6.6ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では40～54歳、60～74歳で男性全体を上回っている。女性では40～49歳、55～64歳、70歳以上で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－93 未来に引き継ぎたい文化財、民俗芸能や伝統技能があると思う区民の割合（性年齢別）

<男 性> (%)

	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない
全 体	527	36.4	30.2	10.1	3.4	3.2	16.7
18～19歳	6	16.7	16.7	33.3	0.0	0.0	33.3
20～24歳	21	52.4	9.5	0.0	0.0	4.8	33.3
25～29歳	32	34.4	31.3	6.3	0.0	3.1	25.0
30～34歳	24	25.0	20.8	12.5	0.0	12.5	29.2
35～39歳	29	20.7	31.0	6.9	0.0	6.9	34.5
40～44歳	34	38.2	35.3	0.0	8.8	2.9	14.7
45～49歳	59	30.5	44.1	8.5	5.1	1.7	10.2
50～54歳	62	35.5	35.5	4.8	8.1	1.6	14.5
55～59歳	49	28.6	34.7	12.2	2.0	8.2	14.3
60～64歳	38	36.8	31.6	15.8	0.0	0.0	15.8
65～69歳	48	43.8	25.0	20.8	2.1	2.1	6.3
70～74歳	40	45.0	30.0	7.5	0.0	2.5	15.0
75歳以上	85	43.5	22.4	12.9	5.9	1.2	14.1

<女 性> (%)

	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない
全 体	722	38.2	35.0	7.3	2.1	1.1	16.2
18～19歳	10	20.0	50.0	10.0	0.0	10.0	10.0
20～24歳	20	30.0	40.0	5.0	0.0	0.0	25.0
25～29歳	39	25.6	25.6	15.4	2.6	5.1	25.6
30～34歳	41	29.3	34.1	4.9	2.4	2.4	26.8
35～39歳	51	47.1	15.7	7.8	0.0	0.0	29.4
40～44歳	57	36.8	38.6	7.0	0.0	1.8	15.8
45～49歳	69	31.9	44.9	10.1	0.0	0.0	13.0
50～54歳	83	41.0	31.3	8.4	2.4	1.2	15.7
55～59歳	78	29.5	46.2	9.0	5.1	0.0	10.3
60～64歳	55	41.8	32.7	0.0	7.3	1.8	16.4
65～69歳	48	37.5	35.4	14.6	4.2	2.1	6.3
70～74歳	57	52.6	33.3	3.5	0.0	0.0	10.5
75歳以上	113	44.2	34.5	4.4	0.9	0.0	15.9
年齢不詳	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

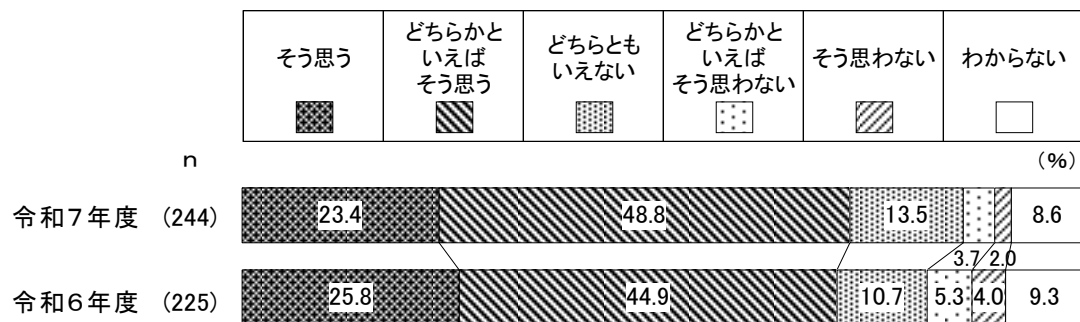
【切れ目のない支援による母子保健の充実】

問32 中学生以下のお子さんがある保護者の方におたずねします。
江東区は健診、各種相談事業、産前・産後支援等の母子保健サービスが充実していると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

<全体／経年比較>

- ・「どちらかといえばそう思う」が48.8%で最も高く、次いで「そう思う」(23.4%)となっている。
- ・これらを合わせた『そう思う(計)』の割合は72.2%となっている。
- ・前回調査と比較すると、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた『そう思わない(計)』が3.6ポイント減少している。

図表Ⅳ-94 母子保健サービスが充実していると思う区民の割合



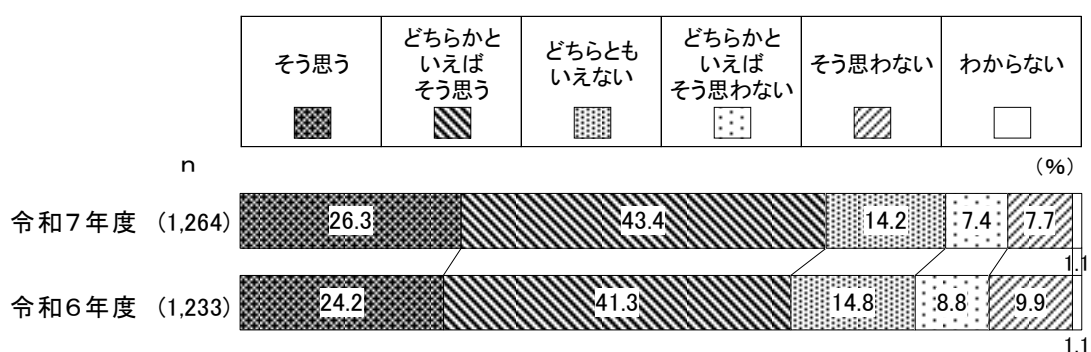
【健康づくりの推進と保健・医療体制の充実】

問33 あなたは、ご自身が健康であると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

＜全体／経年比較＞

- ・「どちらかといえばそう思う」が43.4%で最も高く、次いで「そう思う」(26.3%)となっている。
- ・これらを合わせた『そう思う(計)』の割合は69.7%となっている。
- ・前回調査と比較すると、『そう思う(計)』が4.2ポイント増加している。

図表Ⅳ-95 自分が健康である認識



① 地区別

- ・地区別では、『そう思う(計)』の割合は、富岡地区(76.0%)、小松橋地区(73.0%)、豊洲地区(72.7%)、南砂地区(72.6%)、東陽地区(72.5%)、白河地区(71.7%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ-96 自分が健康である認識(地区別)

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全体	1,264	26.3	43.4	14.2	7.4	7.7	1.1
白河	131	35.1	36.6	16.0	7.6	4.6	0.0
小松橋	89	30.3	42.7	13.5	7.9	3.4	2.2
富岡	100	20.0	56.0	11.0	6.0	7.0	0.0
東陽	113	33.6	38.9	13.3	7.1	6.2	0.9
豊洲	267	28.1	44.6	11.2	7.9	7.1	1.1
亀戸	130	20.8	46.9	14.6	7.7	10.0	0.0
大島	137	25.5	40.1	17.5	8.0	8.0	0.7
砂町	175	17.1	43.4	17.1	8.6	10.3	3.4
南砂	95	30.5	42.1	11.6	5.3	9.5	1.1
居住地区不詳	27	22.2	40.7	22.2	0.0	14.8	0.0

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『そう思う（計）』の割合は、女性（74.1%）の方が男性（64.7%）より9.4ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では18～49歳、60～64歳で男性全体を上回っている。女性では18～44歳、60～69歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－97 自分が健康である認識（性年齢別）

<男性>

(%)

	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない
全 体	522	23.9	40.8	15.5	8.2	10.0	1.5
18～19歳	6	16.7	50.0	16.7	0.0	0.0	16.7
20～24歳	21	52.4	28.6	9.5	0.0	4.8	4.8
25～29歳	32	37.5	46.9	6.3	3.1	6.3	0.0
30～34歳	24	33.3	33.3	12.5	12.5	8.3	0.0
35～39歳	28	39.3	32.1	14.3	3.6	10.7	0.0
40～44歳	34	29.4	41.2	17.6	2.9	5.9	2.9
45～49歳	59	16.9	55.9	8.5	10.2	8.5	0.0
50～54歳	62	21.0	43.5	19.4	8.1	6.5	1.6
55～59歳	49	10.2	49.0	14.3	14.3	10.2	2.0
60～64歳	37	21.6	45.9	24.3	2.7	5.4	0.0
65～69歳	49	20.4	36.7	20.4	6.1	16.3	0.0
70～74歳	39	20.5	25.6	30.8	7.7	10.3	5.1
75歳以上	82	22.0	35.4	9.8	14.6	17.1	1.2

<女性>

(%)

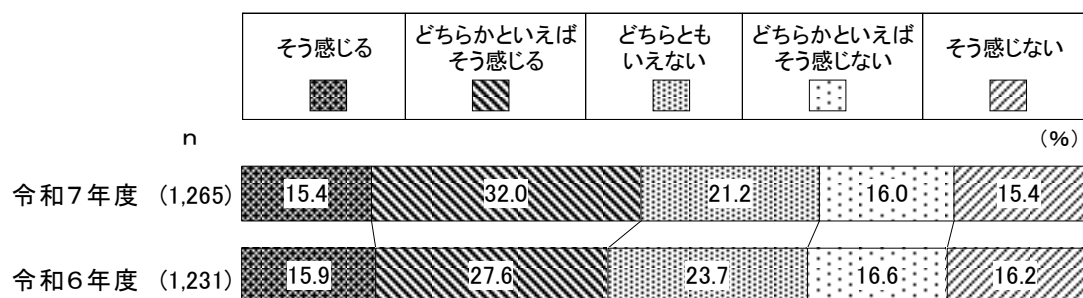
	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない
全 体	714	28.3	45.8	12.5	6.7	6.0	0.7
18～19歳	10	50.0	40.0	10.0	0.0	0.0	0.0
20～24歳	20	55.0	30.0	15.0	0.0	0.0	0.0
25～29歳	39	53.8	25.6	12.8	5.1	2.6	0.0
30～34歳	41	31.7	53.7	7.3	7.3	0.0	0.0
35～39歳	51	39.2	51.0	3.9	3.9	0.0	2.0
40～44歳	57	35.1	43.9	7.0	8.8	5.3	0.0
45～49歳	69	30.4	40.6	11.6	10.1	7.2	0.0
50～54歳	83	22.9	50.6	16.9	4.8	4.8	0.0
55～59歳	78	28.2	41.0	12.8	10.3	6.4	1.3
60～64歳	55	20.0	54.5	12.7	5.5	3.6	3.6
65～69歳	48	8.3	72.9	4.2	6.3	8.3	0.0
70～74歳	57	21.1	42.1	22.8	5.3	8.8	0.0
75歳以上	105	21.9	40.0	16.2	7.6	13.3	1.0
年齢不詳	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問34 あなたは、悩みを抱えた時やストレスを感じた時、誰かに支援を求めることのために
 らいを感じますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

<全体/経年比較>

- ・「どちらかといえばそう感じる」が32.0%で最も高く、次いで「どちらともいえない」(21.2%)となっている。
- ・「そう感じる」(15.4%)と「どちらかといえばそう感じる」(32.0%)を合わせた『そう感じる(計)』の割合は47.4%となっている。
- ・前回調査と比較すると、『そう感じる(計)』が3.9ポイント増加している。

図表Ⅳ-98 誰かに支援を求めることへのためらい



① 地区別

- ・地区別では、『そう感じる(計)』の割合は、大島地区(57.0%)、小松橋地区(52.2%)、砂町地区(50.6%)、南砂地区(49.0%)、豊洲地区(48.4%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ-99 誰かに支援を求めることへのためらい(地区別)

	n	そう感じる	どちらかといえ ばそう感じる	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう感じない	そう感じない
全 体	1,265	15.4	32.0	21.2	16.0	15.4
白河	130	12.3	29.2	20.0	19.2	19.2
小松橋	90	21.1	31.1	15.6	16.7	15.6
富岡	100	13.0	28.0	23.0	22.0	14.0
東陽	114	12.3	25.4	17.5	22.8	21.9
豊洲	267	13.9	34.5	20.6	18.0	13.1
亀戸	130	22.3	24.6	26.9	9.2	16.9
大島	137	16.1	40.9	17.5	13.1	12.4
砂町	174	19.0	31.6	27.0	9.8	12.6
南砂	96	9.4	39.6	20.8	14.6	15.6
居住地区不詳	27	11.1	33.3	14.8	18.5	22.2

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『そう感じる（計）』の割合に、特に大きな違いはみられない。
- ・年齢別にみると、『そう感じる（計）』の割合は、男性では18～44歳、60～64歳、75歳以上で男性全体を上回っている。女性では25～44歳、70歳以上で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－100 誰かに支援を求めることへのためらい（性年齢別）

<男性> (％)

	n	そう感じる	どちらかといえ ばそう感じる	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう感じない	そう感じない
全 体	523	17.2	30.4	23.5	13.6	15.3
18～19歳	6	33.3	16.7	50.0	0.0	0.0
20～24歳	21	23.8	28.6	0.0	14.3	33.3
25～29歳	32	21.9	43.8	12.5	6.3	15.6
30～34歳	24	16.7	33.3	12.5	12.5	25.0
35～39歳	28	17.9	35.7	17.9	7.1	21.4
40～44歳	34	38.2	26.5	17.6	11.8	5.9
45～49歳	59	10.2	32.2	20.3	18.6	18.6
50～54歳	62	16.1	29.0	17.7	21.0	16.1
55～59歳	49	18.4	22.4	34.7	14.3	10.2
60～64歳	38	13.2	39.5	23.7	13.2	10.5
65～69歳	49	8.2	26.5	38.8	14.3	12.2
70～74歳	39	10.3	20.5	43.6	10.3	15.4
75歳以上	82	19.5	32.9	20.7	12.2	14.6

<女性> (％)

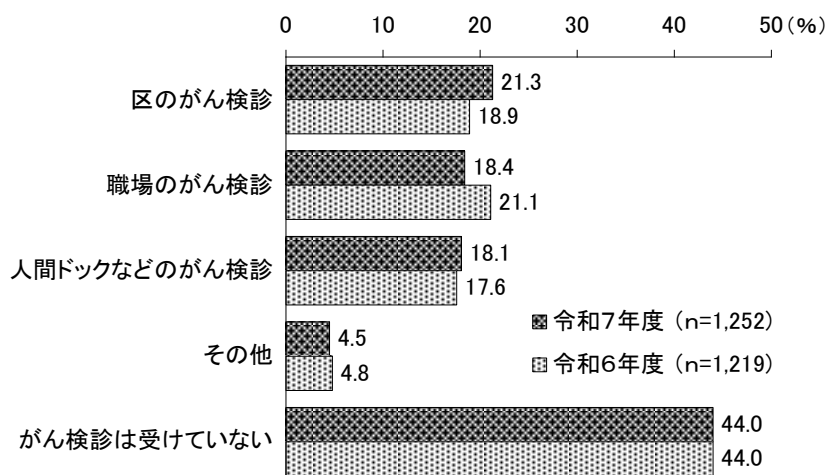
	n	そう感じる	どちらかといえ ばそう感じる	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう感じない	そう感じない
全 体	714	14.1	33.2	19.7	17.8	15.1
18～19歳	10	0.0	30.0	30.0	30.0	10.0
20～24歳	20	20.0	25.0	15.0	25.0	15.0
25～29歳	39	17.9	43.6	2.6	15.4	20.5
30～34歳	41	24.4	39.0	4.9	17.1	14.6
35～39歳	51	15.7	33.3	7.8	19.6	23.5
40～44歳	57	14.0	40.4	14.0	24.6	7.0
45～49歳	69	13.0	31.9	17.4	27.5	10.1
50～54歳	83	15.7	22.9	16.9	27.7	16.9
55～59歳	78	9.0	33.3	29.5	12.8	15.4
60～64歳	55	7.3	34.5	30.9	16.4	10.9
65～69歳	48	8.3	31.3	35.4	14.6	10.4
70～74歳	57	17.5	33.3	15.8	15.8	17.5
75歳以上	105	16.2	34.3	25.7	4.8	19.0
年齢不詳	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

問35 あなたは、この1年間で何らかのがん検診を受けましたか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○はいくつでも)

<全体／経年比較>

- ・「がん検診は受けていない」が44.0%で最も高く、次いで「区のがん検診」(21.3%)となっている。
- ・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ-101 がん検診を受けた区民の割合



① 地区別

- ・地区別では、すべての地区で「がん検診は受けていない」が1位となっている。次いで、富岡地区、東陽地区、大島地区、砂町地区、南砂地区では「区のがん検診」が2位、白河地区と亀戸地区では「職場のがん検診」が同率を含め2位、小松橋地区、豊洲地区、亀戸地区では「人間ドックなどのがん検診」が同率を含め2位となっている。

図表Ⅳ-102 がん検診を受けた区民の割合 (地区別)

	n	区のがん検診	職場のがん検診	人間ドックなどのがん検診	その他	がん検診は受けていない
全 体	1,252	21.3	18.4	18.1	4.5	44.0
白河	130	19.2	22.3	21.5	2.3	41.5
小松橋	90	21.1	16.7	22.2	4.4	42.2
富岡	100	21.0	16.0	17.0	3.0	50.0
東陽	112	25.0	18.8	20.5	5.4	36.6
豊洲	265	19.2	18.9	24.2	4.2	41.1
亀戸	126	15.9	16.7	16.7	9.5	47.6
大島	135	25.9	20.7	11.9	5.2	45.9
砂町	172	19.8	13.4	12.2	2.9	54.7
南砂	95	31.6	20.0	10.5	4.2	37.9
居住地区不詳	27	14.8	29.6	25.9	3.7	25.9

② 性年齢別

- ・男女別にみると、女性の方が「区のがん検診」と「職場のがん検診」の割合が高く、男性の方が「人間ドックなどのがん検診」と「がん検診は受けていない」の割合が高くなっている。
- ・年齢別にみると、「がん検診は受けていない」の割合は、男性では18～44歳で男性全体を上回っている。女性では18～34歳、75歳以上で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－103 がん検診を受けた区民の割合（性年齢別）

<男 性> (％)

	n	区のがん検診	職場のがん検診	人間ドックなどのがん検診	その他	がん検診は受けていない
全 体	517	15.9	13.3	20.3	4.1	50.5
18～19歳	6	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
20～24歳	21	0.0	0.0	4.8	0.0	95.2
25～29歳	32	0.0	9.4	0.0	0.0	90.6
30～34歳	24	4.2	8.3	8.3	0.0	79.2
35～39歳	29	0.0	13.8	34.5	0.0	55.2
40～44歳	34	5.9	29.4	17.6	0.0	52.9
45～49歳	59	13.6	25.4	25.4	0.0	39.0
50～54歳	62	6.5	29.0	25.8	3.2	41.9
55～59歳	48	14.6	14.6	35.4	2.1	43.8
60～64歳	37	16.2	13.5	29.7	2.7	43.2
65～69歳	48	29.2	8.3	14.6	6.3	41.7
70～74歳	40	25.0	2.5	17.5	12.5	47.5
75歳以上	77	39.0	0.0	16.9	11.7	36.4

<女 性> (％)

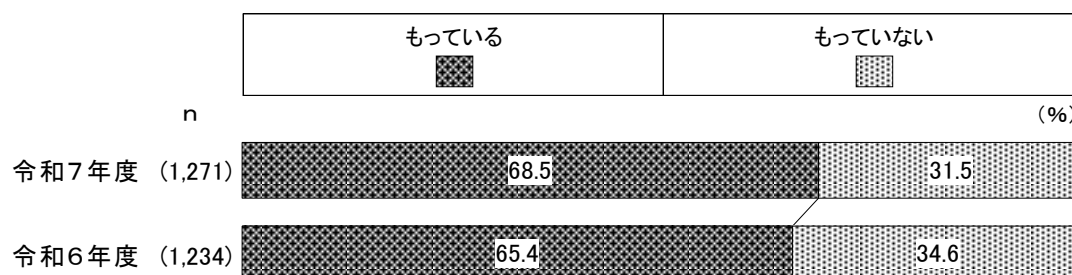
	n	区のがん検診	職場のがん検診	人間ドックなどのがん検診	その他	がん検診は受けていない
全 体	707	25.6	21.9	17.1	4.5	38.9
18～19歳	10	0.0	0.0	10.0	0.0	90.0
20～24歳	20	15.0	5.0	0.0	0.0	80.0
25～29歳	39	20.5	23.1	0.0	2.6	56.4
30～34歳	41	14.6	29.3	2.4	4.9	53.7
35～39歳	51	25.5	29.4	17.6	2.0	35.3
40～44歳	57	28.1	31.6	28.1	3.5	21.1
45～49歳	68	20.6	30.9	25.0	0.0	30.9
50～54歳	83	25.3	30.1	24.1	3.6	27.7
55～59歳	78	23.1	30.8	20.5	3.8	32.1
60～64歳	55	23.6	23.6	27.3	1.8	32.7
65～69歳	48	37.5	22.9	8.3	6.3	33.3
70～74歳	56	33.9	3.6	23.2	12.5	35.7
75歳以上	100	32.0	4.0	9.0	9.0	52.0
年齢不詳	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

問36 あなたは、①かかりつけ医・②かかりつけ歯科医・③かかりつけ薬局をもっていますか。それぞれについて、あてはまるものを選び○印をおつけください。
(○は1つずつ)

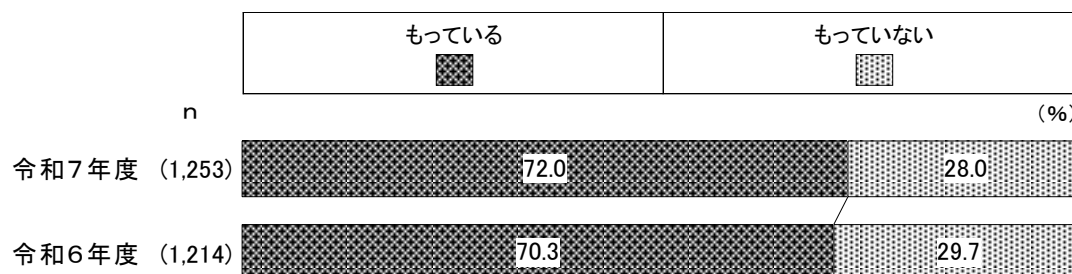
<全体／経年比較>

- ・「もっている」の割合で見ると、“かかりつけ歯科医”が72.0%で最も高く、次いで“かかりつけ医”（68.5%）、“かかりつけ薬局”（58.9%）となっている。
- ・前回調査と比較すると、“かかりつけ薬局”を「もっている」が3.7ポイント増加、“かかりつけ医”を「もっている」が3.1ポイント増加している。

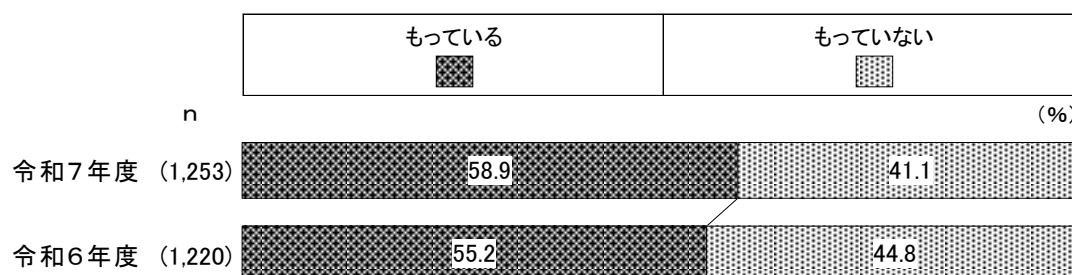
図表Ⅳ－104 かかりつけ医をもっている区民の割合



図表Ⅳ－105 かかりつけ歯科医をもっている区民の割合



図表Ⅳ－106 かかりつけ薬局をもっている区民の割合



① 地区別

- ・地区別でみると、“かかりつけ医”、“かかりつけ歯科医”、“かかりつけ薬局”をもっている割合は、いずれも南砂地区で最も高くなっている。

図表Ⅳ-107 かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局をもっている区民の割合（地区別）

	n	かかりつけ医		n	かかりつけ歯科医		n	かかりつけ薬局	
		もっている	もっていない		もっている	もっていない		もっている	もっていない
全 体	1,271	68.5	31.5	1,253	72.0	28.0	1,253	58.9	41.1
白河	132	68.9	31.1	131	76.3	23.7	130	53.8	46.2
小松橋	90	68.9	31.1	89	74.2	25.8	88	63.6	36.4
富岡	100	73.0	27.0	100	75.0	25.0	100	61.0	39.0
東陽	114	72.8	27.2	114	78.1	21.9	114	60.5	39.5
豊洲	270	64.1	35.9	267	67.8	32.2	265	61.5	38.5
亀戸	131	62.6	37.4	127	63.0	37.0	128	53.9	46.1
大島	135	68.1	31.9	134	71.6	28.4	133	57.1	42.9
砂町	175	69.1	30.9	174	69.0	31.0	173	52.0	48.0
南砂	97	78.4	21.6	90	80.0	20.0	95	70.5	29.5
居住地区不詳	27	66.7	33.3	27	85.2	14.8	27	63.0	37.0

② 性年齢別

- ・男女別にみると、“かかりつけ歯科医”をもっている割合は、女性（75.0%）の方が男性（67.9%）より7.1ポイント高く、“かかりつけ薬局”をもっている割合は、女性（60.5%）の方が男性（56.9%）より3.6ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、男性では“かかりつけ医”、“かかりつけ歯科医”、“かかりつけ薬局”をもっている割合は、いずれも75歳以上で最も高くなっている。女性では“かかりつけ医”と“かかりつけ薬局”をもっている割合は、75歳以上で最も高く、“かかりつけ歯科医”をもっている割合は、65～69歳で最も高くなっている。

図表Ⅳ－108 かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局をもっている区民の割合（性年齢別）

<男性>

(%)

	n	かかりつけ医		n	かかりつけ歯科医		n	かかりつけ薬局	
		もっている	もっていない		もっている	もっていない		もっている	もっていない
全体	525	69.3	30.7	520	67.9	32.1	522	56.9	43.1
18～19歳	6	83.3	16.7	6	83.3	16.7	6	50.0	50.0
20～24歳	21	61.9	38.1	21	52.4	47.6	21	47.6	52.4
25～29歳	32	40.6	59.4	32	28.1	71.9	32	25.0	75.0
30～34歳	24	54.2	45.8	24	50.0	50.0	24	41.7	58.3
35～39歳	29	48.3	51.7	29	69.0	31.0	29	37.9	62.1
40～44歳	34	55.9	44.1	34	64.7	35.3	34	52.9	47.1
45～49歳	59	62.7	37.3	59	61.0	39.0	59	44.1	55.9
50～54歳	62	62.9	37.1	62	75.8	24.2	62	48.4	51.6
55～59歳	49	63.3	36.7	49	63.3	36.7	49	57.1	42.9
60～64歳	37	70.3	29.7	36	66.7	33.3	36	38.9	61.1
65～69歳	49	85.7	14.3	48	81.3	18.8	48	77.1	22.9
70～74歳	40	80.0	20.0	39	71.8	28.2	40	70.0	30.0
75歳以上	83	96.4	3.6	81	85.2	14.8	82	90.2	9.8

<女性>

(%)

	n	かかりつけ医		n	かかりつけ歯科医		n	かかりつけ薬局	
		もっている	もっていない		もっている	もっていない		もっている	もっていない
全体	717	68.1	31.9	704	75.0	25.0	703	60.5	39.5
18～19歳	10	80.0	20.0	10	50.0	50.0	10	70.0	30.0
20～24歳	20	40.0	60.0	20	50.0	50.0	20	35.0	65.0
25～29歳	39	35.9	64.1	39	53.8	46.2	39	33.3	66.7
30～34歳	41	39.0	61.0	41	56.1	43.9	41	39.0	61.0
35～39歳	51	54.9	45.1	51	74.5	25.5	51	49.0	51.0
40～44歳	57	61.4	38.6	57	75.4	24.6	56	58.9	41.1
45～49歳	69	71.0	29.0	69	71.0	29.0	69	69.6	30.4
50～54歳	83	60.2	39.8	83	73.5	26.5	83	54.2	45.8
55～59歳	78	56.4	43.6	78	80.8	19.2	78	47.4	52.6
60～64歳	55	80.0	20.0	55	83.6	16.4	54	68.5	31.5
65～69歳	48	81.3	18.8	48	91.7	8.3	48	68.8	31.3
70～74歳	56	85.7	14.3	55	81.8	18.2	52	76.9	23.1
75歳以上	109	95.4	4.6	97	81.4	18.6	101	82.2	17.8
年齢不詳	1	100.0	0.0	1	100.0	0.0	1	100.0	0.0

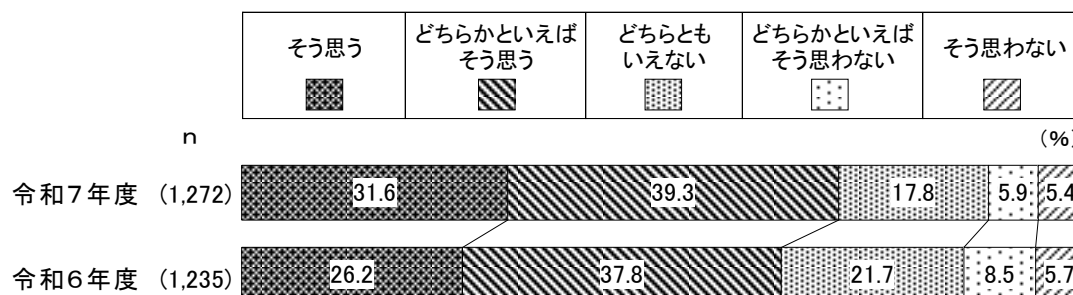
問37 あなたは、普段の体調不良時や休日・夜間の急病時などに、身近で必要とする医療を受けられると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。

(○は1つ)

<全体／経年比較>

- ・「どちらかといえばそう思う」が39.3%で最も高く、次いで「そう思う」(31.6%)となっている。
- ・これらを合わせた『そう思う(計)』の割合は70.9%となっている。
- ・前回調査と比較すると、『そう思う(計)』が6.9ポイント増加している。

図表Ⅳ-109 身近で必要とする医療を受けられると思う割合



① 地区別

- ・地区別では、『そう思う(計)』の割合は、東陽地区(76.3%)、豊洲地区(73.7%)、白河地区(73.3%)、南砂地区(72.9%)、小松橋地区(71.5%)、亀戸地区(71.0%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ-110 身近で必要とする医療を受けられると思う割合(地区別)

	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない
全 体	1,272	31.6	39.3	17.8	5.9	5.4
白河	131	37.4	35.9	16.8	6.1	3.8
小松橋	91	31.9	39.6	14.3	6.6	7.7
富岡	100	31.0	38.0	11.0	12.0	8.0
東陽	114	34.2	42.1	16.7	5.3	1.8
豊洲	270	33.0	40.7	17.0	4.1	5.2
亀戸	131	35.1	35.9	19.1	4.6	5.3
大島	137	27.0	35.0	29.2	4.4	4.4
砂町	175	27.4	41.1	16.6	6.3	8.6
南砂	96	27.1	45.8	14.6	7.3	5.2
居住地区不詳	27	29.6	37.0	25.9	7.4	0.0

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『そう思う（計）』の割合に、特に大きな違いはみられない。
- ・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では20～54歳、70～74歳で男性全体を上回っている。女性では18～54歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－111 身近で必要とする医療を受けられると思う割合（性年齢別）

<男性> (％)

	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない
全 体	527	34.3	38.1	15.0	6.1	6.5
18～19歳	6	33.3	16.7	16.7	16.7	16.7
20～24歳	21	38.1	42.9	9.5	0.0	9.5
25～29歳	32	34.4	40.6	15.6	6.3	3.1
30～34歳	24	41.7	33.3	16.7	4.2	4.2
35～39歳	29	48.3	31.0	6.9	3.4	10.3
40～44歳	34	44.1	32.4	11.8	8.8	2.9
45～49歳	59	32.2	45.8	10.2	3.4	8.5
50～54歳	62	27.4	45.2	11.3	9.7	6.5
55～59歳	49	18.4	40.8	30.6	6.1	4.1
60～64歳	38	31.6	34.2	23.7	5.3	5.3
65～69歳	49	34.7	34.7	14.3	8.2	8.2
70～74歳	40	40.0	42.5	7.5	0.0	10.0
75歳以上	84	36.9	33.3	16.7	8.3	4.8

<女性> (％)

	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない
全 体	717	30.0	39.5	20.1	5.7	4.7
18～19歳	10	30.0	40.0	30.0	0.0	0.0
20～24歳	20	25.0	50.0	5.0	15.0	5.0
25～29歳	39	25.6	51.3	17.9	0.0	5.1
30～34歳	41	46.3	31.7	14.6	4.9	2.4
35～39歳	51	49.0	23.5	17.6	3.9	5.9
40～44歳	57	40.4	33.3	19.3	1.8	5.3
45～49歳	69	33.3	43.5	10.1	10.1	2.9
50～54歳	83	32.5	44.6	16.9	3.6	2.4
55～59歳	77	22.1	42.9	24.7	5.2	5.2
60～64歳	55	16.4	45.5	20.0	10.9	7.3
65～69歳	48	22.9	37.5	27.1	8.3	4.2
70～74歳	57	26.3	36.8	29.8	3.5	3.5
75歳以上	109	24.8	37.6	23.9	6.4	7.3
年齢不詳	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【感染症対策と生活衛生の確保】

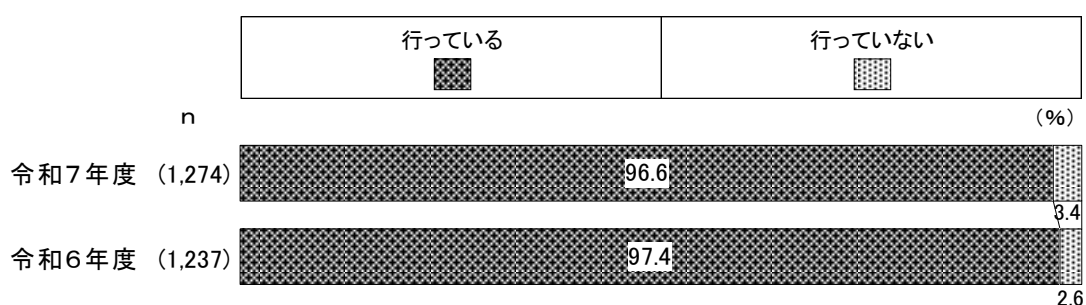
問38 あなたは、感染症予防や食中毒予防のために「①手洗い」「②咳エチケット」を励行していますか。それぞれについて、あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つずつ)

「咳エチケット」とは、咳やくしゃみをするときにマスクをつけたり、ティッシュで口と鼻を覆う等、周りの人に感染させないように配慮することをいう。

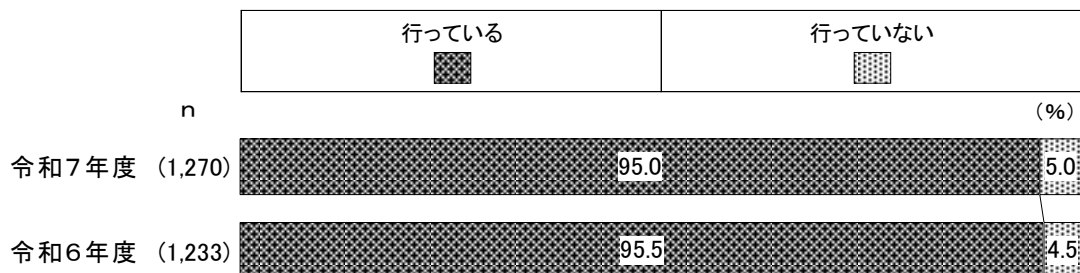
<全体／経年比較>

- ・「行っている」の割合で見ると、“手洗い”が96.6%、“咳エチケット”が95.0%となっている。
- ・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ－112 手洗いの励行状況



図表Ⅳ－113 咳エチケットの励行状況



① 地区別

- ・地区別でみると、“手洗い”を行っている割合は、豊洲地区と大島地区（ともに97.8%）で最も高く、“咳エチケット”を行っている割合は、豊洲地区（97.4%）で最も高くなっている。

図表IV-114 手洗い、咳エチケットの励行状況（地区別）

	n	手洗い		n	咳エチケット	
		行っている	行っていない		行っている	行っていない
全 体	1,274	96.6	3.4	1,270	95.0	5.0
白河	131	97.7	2.3	131	96.2	3.8
小松橋	87	93.1	6.9	87	95.4	4.6
富岡	100	95.0	5.0	99	92.9	7.1
東陽	114	97.4	2.6	114	96.5	3.5
豊洲	271	97.8	2.2	271	97.4	2.6
亀戸	132	94.7	5.3	131	93.1	6.9
大島	138	97.8	2.2	137	92.0	8.0
砂町	176	97.2	2.8	175	94.9	5.1
南砂	97	95.9	4.1	97	93.8	6.2
居住地区不詳	28	96.4	3.6	28	96.4	3.6

② 性年齢別

- ・男女別にみると、“手洗い”を行っている割合は、女性（98.9%）の方が男性（93.8%）より5.1ポイント高くなっている。“咳エチケット”を行っている割合は、女性（98.3%）の方が男性（91.1%）より7.2ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、男性では“手洗い”を行っている割合は、60～64歳で最も高く、“咳エチケット”を行っている割合は、18～19歳で最も高くなっている。女性では“手洗い”を行っている割合は、20～24歳、45～69歳で最も高く、“咳エチケット”を行っている割合は、18～29歳、45～49歳、55～64歳で最も高くなっている。

図表Ⅳ－115 手洗い、咳エチケットの励行状況（性年齢別）

＜男 性＞ （%）

	n	手洗い		n	咳エチケット	
		行っている	行っていない		行っている	行っていない
全 体	529	93.8	6.2	529	91.1	8.9
18～19歳	6	66.7	33.3	6	100.0	0.0
20～24歳	21	90.5	9.5	21	71.4	28.6
25～29歳	32	93.8	6.3	32	87.5	12.5
30～34歳	24	91.7	8.3	24	95.8	4.2
35～39歳	30	96.7	3.3	30	93.3	6.7
40～44歳	34	97.1	2.9	34	91.2	8.8
45～49歳	59	89.8	10.2	59	93.2	6.8
50～54歳	62	93.5	6.5	62	93.5	6.5
55～59歳	49	91.8	8.2	49	93.9	6.1
60～64歳	38	100.0	0.0	38	92.1	7.9
65～69歳	49	91.8	8.2	49	89.8	10.2
70～74歳	40	92.5	7.5	40	87.5	12.5
75歳以上	85	97.6	2.4	85	91.8	8.2

＜女 性＞ （%）

	n	手洗い		n	咳エチケット	
		行っている	行っていない		行っている	行っていない
全 体	716	98.9	1.1	712	98.3	1.7
18～19歳	10	90.0	10.0	10	100.0	0.0
20～24歳	20	100.0	0.0	20	100.0	0.0
25～29歳	39	97.4	2.6	39	100.0	0.0
30～34歳	41	97.6	2.4	41	97.6	2.4
35～39歳	51	96.1	3.9	51	98.0	2.0
40～44歳	57	98.2	1.8	57	94.7	5.3
45～49歳	69	100.0	0.0	69	100.0	0.0
50～54歳	83	100.0	0.0	83	97.6	2.4
55～59歳	78	100.0	0.0	78	100.0	0.0
60～64歳	53	100.0	0.0	53	100.0	0.0
65～69歳	48	100.0	0.0	48	97.9	2.1
70～74歳	54	98.1	1.9	54	96.3	3.7
75歳以上	112	99.1	0.9	108	98.1	1.9
年齢不詳	1	100.0	0.0	1	100.0	0.0

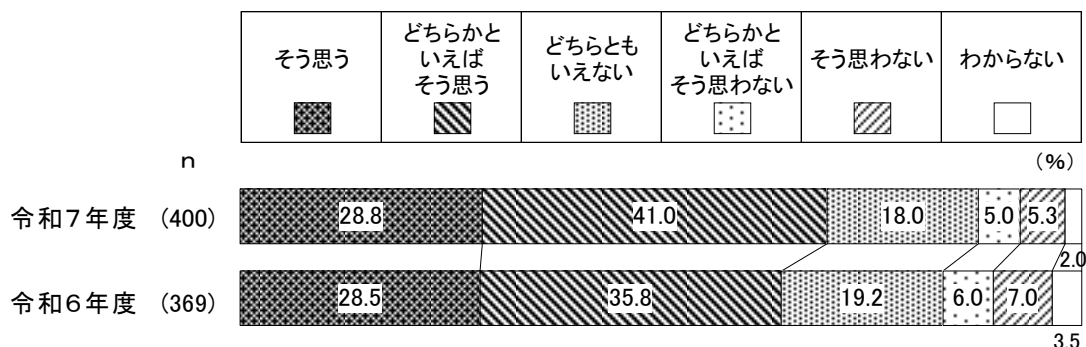
【高齢者支援と活躍の推進】

問39 65歳以上の方におたずねします。
あなたは現在、生きがいや幸せを感じる生活を送ることができていると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

<全体／経年比較>

- ・「どちらかといえばそう思う」が41.0%で最も高く、次いで「そう思う」(28.8%)となっている。
- ・これらを合わせた『そう思う(計)』の割合は69.8%となっている。
- ・前回調査と比較すると、『そう思う(計)』は5.5ポイント増加している。

図表Ⅳ-116 生きがいや幸せを感じる生活を送ることができている認識

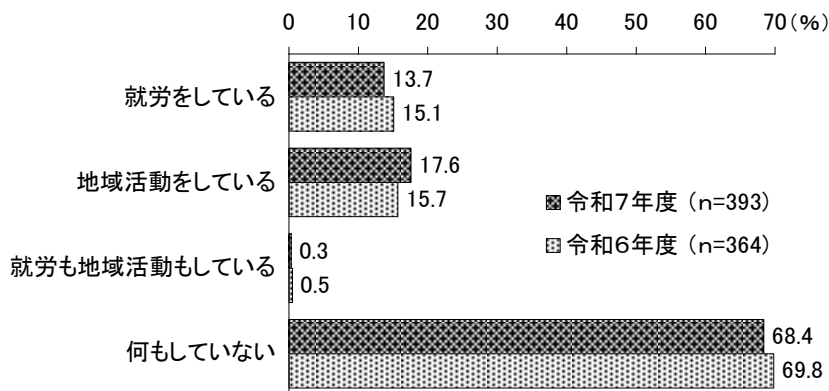


問40 65歳以上の方におたずねします。
あなたは、ボランティアなどの地域活動や就労を行っていますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○はいくつでも)

<全体／経年比較>

- ・「何もしていない」が68.4%で最も高く、次いで「地域活動をしている」(17.6%)となっている。
- ・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ-117 地域活動や就労を行っている65歳以上の区民の割合

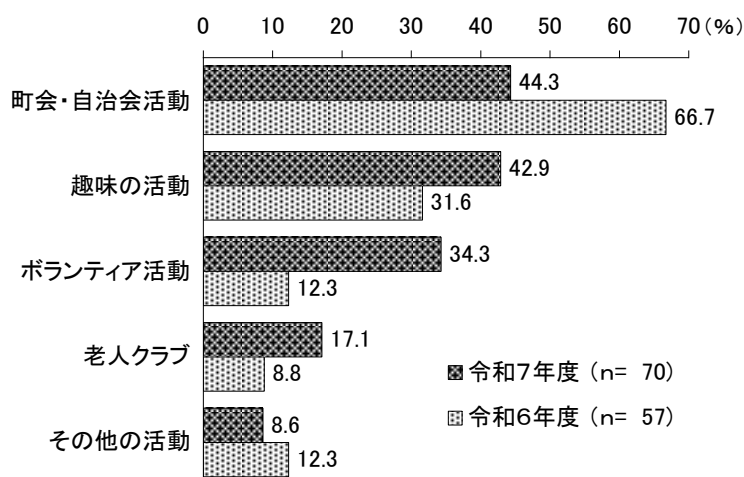


問40-1 問40で「2. 地域活動をしている」を選んだ方におたずねします。
 具体的な活動内容について、あてはまるものを選び○印をおつけください。
 (○はいくつでも)

<全体/経年比較>

- ・「町会・自治会活動」が44.3%で最も高く、次いで「趣味の活動」(42.9%)となっている。
- ・前回調査と比較すると、「ボランティア活動」が22.0ポイント増加、「趣味の活動」が11.3ポイント増加、「老人クラブ」が8.3ポイント増加、「町会・自治会活動」が22.4ポイント減少している。

図表IV-118 具体的な活動内容

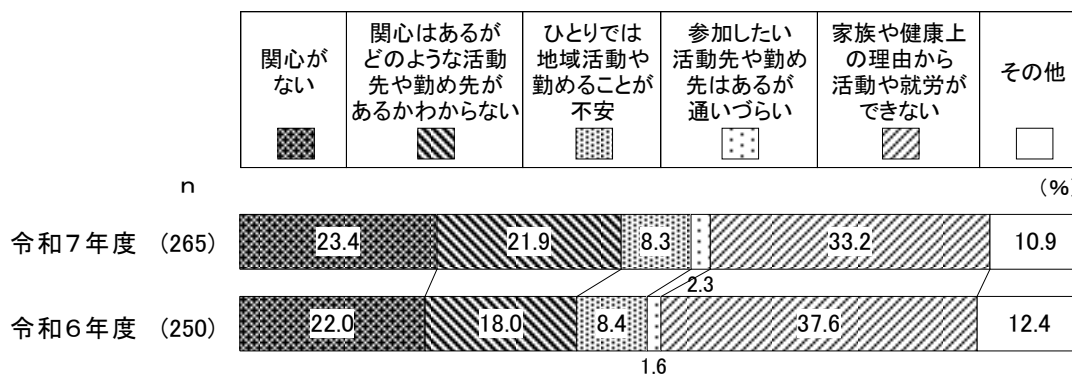


問40-2 問40で「3. 何もしていない」を選んだ方におたずねします。
 地域活動や就労を行っていない理由について、あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

<全体/経年比較>

- ・「家族や健康上の理由から活動や就労ができない」が33.2%で最も高く、次いで「関心がない」(23.4%)、「関心はあるがどのような活動先や勤め先があるかわからない」(21.9%)となっている。
- ・前回調査と比較すると、「関心はあるがどのような活動先や勤め先があるかわからない」が3.9ポイント増加、「家族や健康上の理由から活動や就労ができない」が4.4ポイント減少している。

図表IV-119 地域活動や就労を行っていない理由

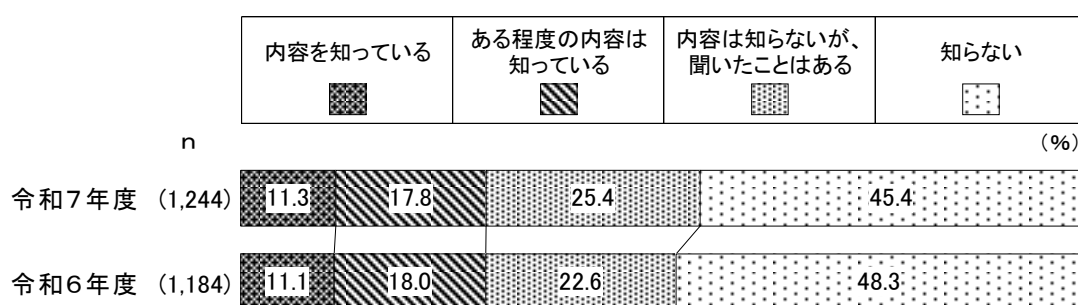


問41 地域包括支援センター（長寿サポートセンター）では、保健師（看護師）、社会福祉士、主任介護支援専門員などの専門職が互いに連携しながら高齢者の方が住み慣れた地域で暮らしていけるよう支援しています。あなたは、その活動内容を知っていますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は1つ）

<全体／経年比較>

- ・「知らない」が45.4%で最も高く、次いで「内容は知らないが、聞いたことはある」（25.4%）となっている。
- ・「内容を知っている」（11.3%）と「ある程度の内容は知っている」（17.8%）を合わせた『内容を知っている（計）』の割合は29.1%となっている。
- ・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ－120 地域包括支援センター（長寿サポートセンター）の活動の認知度



① 地区別

- ・地区別では、『内容を知っている（計）』の割合は、砂町地区（35.1%）、富岡地区（34.3%）、南砂地区（32.6%）、大島地区（32.1%）、小松橋地区（31.4%）、東陽地区（29.3%）で全体を上回っている。

図表Ⅳ－121 地域包括支援センター（長寿サポートセンター）の活動の認知度（地区別）

	n	内容を知っている	ある程度の内容は知っている	内容は知らないが、聞いたことはある	知らない
全 体	1,244	11.3	17.8	25.4	45.4
白河	129	6.2	19.4	23.3	51.2
小松橋	86	15.1	16.3	23.3	45.3
富岡	99	13.1	21.2	21.2	44.4
東陽	109	11.9	17.4	25.7	45.0
豊洲	264	9.8	14.8	28.0	47.3
亀戸	127	6.3	18.9	22.8	52.0
大島	137	10.9	21.2	28.5	39.4
砂町	171	15.2	19.9	26.3	38.6
南砂	95	16.8	15.8	23.2	44.2
居住地区不詳	27	11.1	7.4	29.6	51.9

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『内容を知っている（計）』の割合は、女性（33.1％）の方が男性（23.8％）より9.3ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、『内容を知っている（計）』の割合は、男性では60歳以上で男性全体を上回っている。女性では55歳以上で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－122 地域包括支援センター（長寿サポートセンター）の活動の認知度（性年齢別）

<男 性>

(%)

	n	内容を知っている	ある程度の内容は知っている	内容は知らないが、聞いたことはある	知らない
全 体	518	9.7	14.1	25.7	50.6
18～19歳	6	0.0	0.0	33.3	66.7
20～24歳	19	5.3	10.5	5.3	78.9
25～29歳	32	0.0	3.1	18.8	78.1
30～34歳	24	0.0	8.3	16.7	75.0
35～39歳	30	3.3	0.0	23.3	73.3
40～44歳	31	0.0	3.2	29.0	67.7
45～49歳	57	5.3	7.0	35.1	52.6
50～54歳	61	8.2	14.8	31.1	45.9
55～59歳	47	4.3	8.5	29.8	57.4
60～64歳	38	15.8	26.3	18.4	39.5
65～69歳	48	18.8	18.8	16.7	45.8
70～74歳	40	15.0	20.0	30.0	35.0
75歳以上	85	20.0	27.1	28.2	24.7

<女 性>

(%)

	n	内容を知っている	ある程度の内容は知っている	内容は知らないが、聞いたことはある	知らない
全 体	699	12.6	20.5	24.9	42.1
18～19歳	10	0.0	10.0	30.0	60.0
20～24歳	20	5.0	5.0	25.0	65.0
25～29歳	39	0.0	10.3	23.1	66.7
30～34歳	39	5.1	7.7	12.8	74.4
35～39歳	50	6.0	14.0	22.0	58.0
40～44歳	50	12.0	8.0	26.0	54.0
45～49歳	65	12.3	12.3	32.3	43.1
50～54歳	83	12.0	13.3	24.1	50.6
55～59歳	75	14.7	24.0	25.3	36.0
60～64歳	51	7.8	31.4	33.3	27.5
65～69歳	48	18.8	25.0	25.0	31.3
70～74歳	54	9.3	35.2	27.8	27.8
75歳以上	114	25.4	34.2	21.1	19.3
年齢不詳	1	0.0	0.0	0.0	100.0

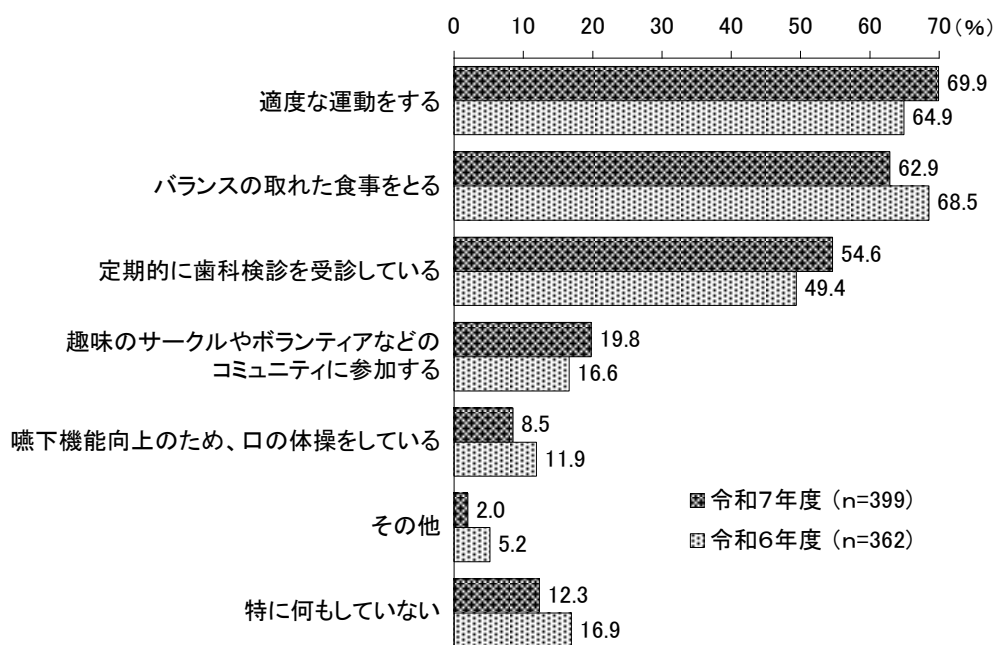
問42 65歳以上の方におたずねします。

あなたは、以下のような介護予防活動に取り組んでいますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○はいくつでも)

<全体/経年比較>

- ・「適度な運動をする」が69.9%で最も高く、次いで「バランスの取れた食事をとる」(62.9%)、「定期的に歯科検診を受診している」(54.6%)となっている。
- ・一方で、「特に何もしていない」と回答した人が、12.3%となっている。
- ・前回調査と比較すると、「定期的に歯科検診を受診している」が5.2ポイント増加、「適度な運動をする」が5.0ポイント増加、「趣味のサークルやボランティアなどのコミュニティに参加する」が3.2ポイント増加している。一方で、「バランスの取れた食事をとる」が5.6ポイント減少、「特に何もしていない」が4.6ポイント減少、「嚥下機能向上のため、口の体操をしている」が3.4ポイント減少している。

図表Ⅳ-123 介護予防活動に取り組んでいる区民の割合



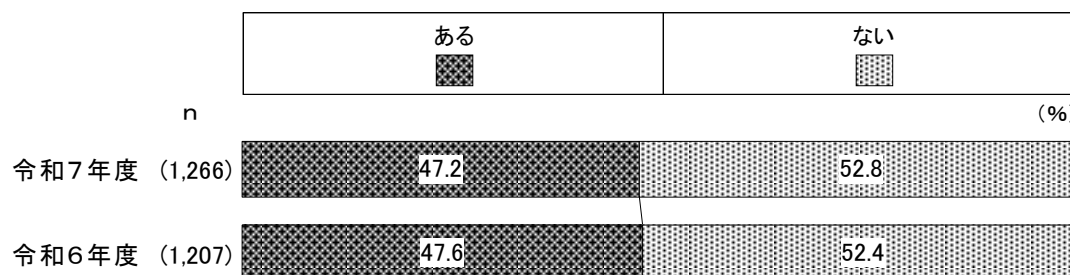
【障害者支援と共生社会の実現】

問43 あなたは、まちで障害者が困っているときに声をかけたことがありますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

<全体／経年比較>

- ・「ない」が52.8%で、「ある」(47.2%)を上回っている。
- ・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ-124 まちで困っている障害者に声をかけたことのある区民の割合



① 地区別

- ・地区別では、「ある」の割合は、南砂地区 (56.3%)、東陽地区 (54.0%)、大島地区 (52.9%)、小松橋地区 (50.0%)、富岡地区 (49.0%) で全体を上回っている。

図表Ⅳ-125 まちで困っている障害者に声をかけたことのある区民の割合 (地区別)

	n	ある (%)	ない (%)
全 体	1,266	47.2	52.8
白河	130	43.1	56.9
小松橋	88	50.0	50.0
富岡	100	49.0	51.0
東陽	113	54.0	46.0
豊洲	269	45.7	54.3
亀戸	131	42.0	58.0
大島	138	52.9	47.1
砂町	174	41.4	58.6
南砂	96	56.3	43.8
居住地区不詳	27	40.7	59.3

② 性年齢別

- ・男女別にみると、「ある」の割合は、女性（49.1%）の方が男性（45.0%）より4.1ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、「ある」の割合は、男性では18～19歳、40～44歳、60歳以上で男性全体を上回っている。女性では45歳以上で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－126 まちで困っている障害者に声をかけたことのある区民の割合（性年齢別）

＜男 性＞ (％)

	n	ある	ない
全 体	527	45.0	55.0
18～19歳	6	50.0	50.0
20～24歳	21	33.3	66.7
25～29歳	32	31.3	68.8
30～34歳	24	20.8	79.2
35～39歳	30	36.7	63.3
40～44歳	33	51.5	48.5
45～49歳	58	29.3	70.7
50～54歳	62	41.9	58.1
55～59歳	49	42.9	57.1
60～64歳	38	50.0	50.0
65～69歳	48	62.5	37.5
70～74歳	40	55.0	45.0
75歳以上	86	57.0	43.0

＜女 性＞ (％)

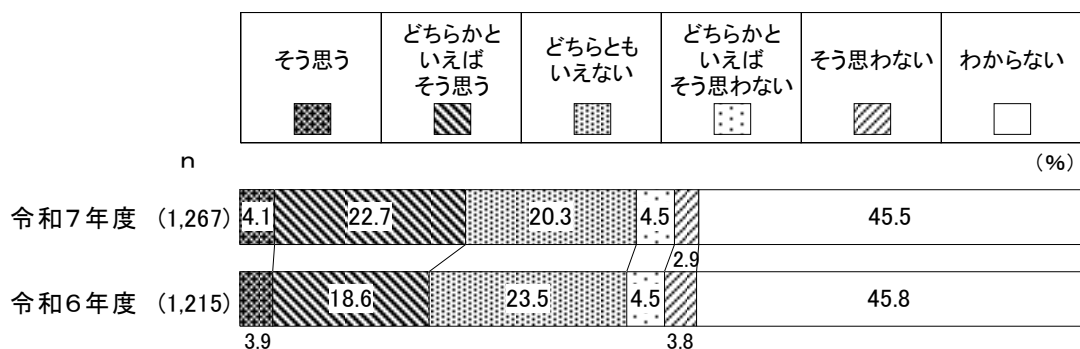
	n	ある	ない
全 体	711	49.1	50.9
18～19歳	10	30.0	70.0
20～24歳	20	25.0	75.0
25～29歳	39	33.3	66.7
30～34歳	41	31.7	68.3
35～39歳	51	39.2	60.8
40～44歳	56	35.7	64.3
45～49歳	68	51.5	48.5
50～54歳	83	51.8	48.2
55～59歳	77	57.1	42.9
60～64歳	52	55.8	44.2
65～69歳	48	54.2	45.8
70～74歳	54	61.1	38.9
75歳以上	111	57.7	42.3
年齢不詳	1	100.0	0.0

問44 江東区は、障害者が地域活動やスポーツ、趣味、イベント等の社会活動に参加しやすい環境が整っていると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

<全体／経年比較>

- ・「わからない」が45.5%で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」(22.7%)となっている。
- ・「そう思う」(4.1%)と「どちらかといえばそう思う」(22.7%)を合わせた『そう思う(計)』の割合は26.8%となっている。
- ・前回調査と比較すると、『そう思う(計)』が4.3ポイント増加している。

図表Ⅳ-127 障害者が社会活動に参加しやすい環境が整っていると思う区民の割合



① 地区別

- ・地区別では、『そう思う(計)』の割合は、豊洲地区(29.7%)、小松橋地区(29.5%)、東陽地区(27.5%)、南砂地区(27.1%)、白河地区(27.0%)、富岡地区(27.0%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ-128 障害者が社会活動に参加しやすい環境が整っていると思う区民の割合(地区別)

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全体	1,267	4.1	22.7	20.3	4.5	2.9	45.5
白河	130	6.2	20.8	21.5	0.8	2.3	48.5
小松橋	88	6.8	22.7	18.2	4.5	5.7	42.0
富岡	100	3.0	24.0	22.0	9.0	2.0	40.0
東陽	113	2.7	24.8	23.9	3.5	3.5	41.6
豊洲	269	3.3	26.4	18.2	5.6	2.2	44.2
亀戸	130	0.8	19.2	21.5	6.2	1.5	50.8
大島	138	7.2	18.1	23.9	3.6	3.6	43.5
砂町	175	2.3	22.3	17.1	4.0	3.4	50.9
南砂	96	5.2	21.9	17.7	3.1	3.1	49.0
居住地区不詳	28	10.7	25.0	25.0	3.6	3.6	32.1

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性（28.9%）の方が女性（25.7%）より3.2ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では18～19歳、40～54歳、60～74歳で男性全体を上回っている。女性では30～44歳、60～64歳、70歳以上で女性全体を上回っている。

図表IV-129 障害者が社会活動に参加しやすい環境が整っていると思う区民の割合（性年齢別）

<男性>

(%)

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全体	526	4.2	24.7	20.9	4.6	3.6	42.0
18～19歳	6	0.0	33.3	0.0	16.7	0.0	50.0
20～24歳	21	9.5	19.0	19.0	0.0	9.5	42.9
25～29歳	32	0.0	25.0	15.6	6.3	3.1	50.0
30～34歳	24	4.2	16.7	16.7	8.3	0.0	54.2
35～39歳	30	3.3	20.0	6.7	3.3	0.0	66.7
40～44歳	33	9.1	27.3	27.3	3.0	0.0	33.3
45～49歳	58	5.2	24.1	20.7	1.7	6.9	41.4
50～54歳	62	3.2	32.3	16.1	6.5	3.2	38.7
55～59歳	49	4.1	18.4	24.5	4.1	6.1	42.9
60～64歳	38	2.6	34.2	26.3	5.3	0.0	31.6
65～69歳	48	2.1	29.2	29.2	2.1	4.2	33.3
70～74歳	40	5.0	27.5	30.0	2.5	2.5	32.5
75歳以上	85	4.7	18.8	18.8	7.1	4.7	45.9

<女性>

(%)

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全体	713	4.2	21.5	19.5	4.6	2.2	48.0
18～19歳	10	0.0	20.0	50.0	0.0	0.0	30.0
20～24歳	20	0.0	25.0	10.0	0.0	0.0	65.0
25～29歳	39	0.0	12.8	17.9	2.6	2.6	64.1
30～34歳	41	7.3	22.0	9.8	2.4	2.4	56.1
35～39歳	51	9.8	25.5	15.7	2.0	0.0	47.1
40～44歳	56	5.4	28.6	12.5	5.4	1.8	46.4
45～49歳	68	0.0	20.6	17.6	7.4	2.9	51.5
50～54歳	83	3.6	21.7	18.1	4.8	4.8	47.0
55～59歳	77	2.6	16.9	27.3	3.9	1.3	48.1
60～64歳	52	3.8	25.0	19.2	3.8	0.0	48.1
65～69歳	48	6.3	14.6	27.1	6.3	2.1	43.8
70～74歳	54	1.9	27.8	20.4	11.1	1.9	37.0
75歳以上	113	7.1	20.4	21.2	3.5	3.5	44.2
年齢不詳	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

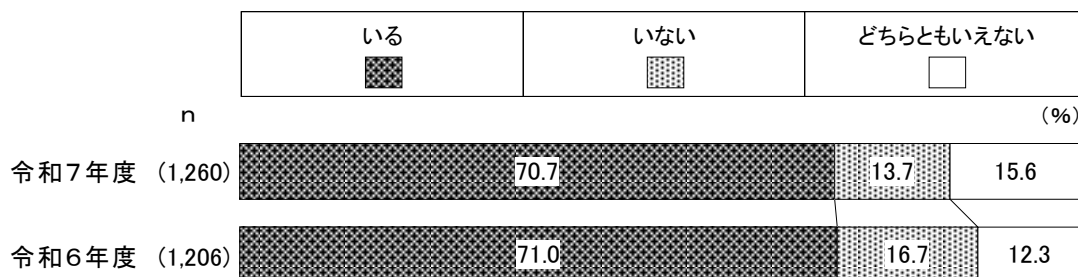
【地域福祉と生活支援の充実】

問45 日々の暮らしの中で、悩みや困りごとなど、生活の相談をすることができる相手がある人の身近にいますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

<全体／経年比較>

- ・「いる」が70.7%で、「いない」(13.7%)を上回っている。
- ・前回調査と比較すると、「どちらともいえない」が3.3ポイント増加、「いない」が3.0ポイント減少している。

図表Ⅳ-130 身近に相談相手がいる区民の割合



① 地区別

- ・地区別では、「いる」の割合は、東陽地区(76.8%)、白河地区(76.7%)、南砂地区(74.5%)、豊洲地区(72.5%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ-131 身近に相談相手がいる区民の割合(地区別)

	n	いる (%)	いない (%)	どちらともいえない (%)
全 体	1,260	70.7	13.7	15.6
白河	129	76.7	11.6	11.6
小松橋	89	68.5	15.7	15.7
富岡	101	67.3	13.9	18.8
東陽	112	76.8	9.8	13.4
豊洲	273	72.5	13.6	13.9
亀戸	125	61.6	18.4	20.0
大島	136	69.1	16.2	14.7
砂町	173	68.8	13.9	17.3
南砂	94	74.5	9.6	16.0
居住地区不詳	28	67.9	10.7	21.4

② 性年齢別

- ・男女別にみると、「いる」の割合は、女性（76.6%）の方が男性（62.9%）より13.7ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、「いる」の割合は、男性では20～29歳、35～39歳、50～54歳、65歳以上で男性全体を上回っている。女性では20～44歳、50～54歳、70歳以上で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－132 身近に相談相手がいる区民の割合（性年齢別）

<男性> (％)

	n	いる	いない	どちらともいえない
全 体	517	62.9	18.6	18.6
18～19歳	6	16.7	16.7	66.7
20～24歳	20	70.0	10.0	20.0
25～29歳	32	78.1	18.8	3.1
30～34歳	24	62.5	29.2	8.3
35～39歳	29	69.0	10.3	20.7
40～44歳	34	61.8	23.5	14.7
45～49歳	58	58.6	20.7	20.7
50～54歳	62	64.5	17.7	17.7
55～59歳	49	51.0	22.4	26.5
60～64歳	37	51.4	24.3	24.3
65～69歳	49	65.3	20.4	14.3
70～74歳	41	63.4	14.6	22.0
75歳以上	76	69.7	13.2	17.1

<女性> (％)

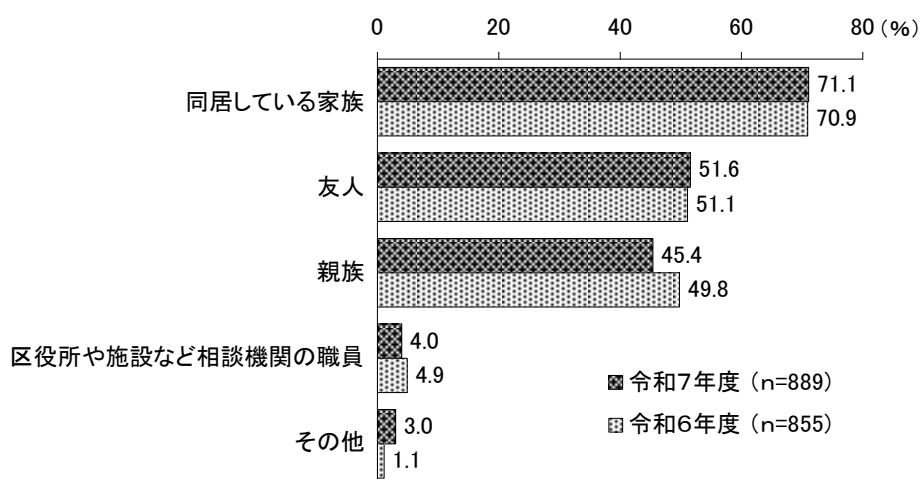
	n	いる	いない	どちらともいえない
全 体	714	76.6	9.9	13.4
18～19歳	10	60.0	10.0	30.0
20～24歳	20	90.0	0.0	10.0
25～29歳	39	82.1	10.3	7.7
30～34歳	41	82.9	7.3	9.8
35～39歳	51	78.4	9.8	11.8
40～44歳	57	78.9	8.8	12.3
45～49歳	68	67.6	13.2	19.1
50～54歳	82	85.4	7.3	7.3
55～59歳	78	70.5	12.8	16.7
60～64歳	55	67.3	10.9	21.8
65～69歳	46	67.4	13.0	19.6
70～74歳	55	80.0	7.3	12.7
75歳以上	111	79.3	10.8	9.9
年齢不詳	1	100.0	0.0	0.0

問45-1 問45で「1. いる」と答えた方におたずねします。
 相談する相手は、どのような方ですか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○はいくつでも)

<全体／経年比較>

- ・「同居している家族」が71.1%で最も高く、次いで「友人」(51.6%)、「親族」(45.4%)となっている。
- ・前回調査と比較すると、「親族」が4.4ポイント減少している。

図表IV-133 具体的な相談相手



① 地区別

- ・地区別では、すべての地区で「同居している家族」が1位となっている。

図表IV-134 具体的な相談相手（地区別）

	n	同居している家族	親族	友人	区役所や施設など相談機関の職員	その他
全体	889	71.1	45.4	51.6	4.0	3.0
白河	99	67.7	49.5	62.6	5.1	3.0
小松橋	61	72.1	42.6	52.5	3.3	3.3
富岡	68	61.8	50.0	47.1	4.4	4.4
東陽	86	77.9	46.5	55.8	3.5	2.3
豊洲	198	77.8	45.5	50.0	4.5	2.0
亀戸	77	66.2	44.2	46.8	3.9	1.3
大島	93	69.9	43.0	55.9	3.2	6.5
砂町	118	65.3	41.5	50.8	3.4	4.2
南砂	70	71.4	48.6	35.7	5.7	1.4
居住地区不詳	19	78.9	42.1	68.4	0.0	0.0

② 性年齢別

- ・男女別にみると、男女ともに「同居している家族」が1位となっており、男性（75.2%）の方が女性（68.7%）より6.5ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、男性では20～24歳を除くすべての年代で「同居している家族」が同率を含め1位、18～24歳で「友人」が同率を含め1位となっている。女性では25～29歳を除くすべての年代で「同居している家族」が同率を含め1位、20～29歳で「友人」が同率を含め1位となっている。

図表Ⅳ－135 具体的な相談相手（性年齢別）

<男性> (%)

	n	同居している家族	親族	友人	区役所や施設など相談機関の職員	その他
全体	323	75.2	37.8	39.0	2.8	2.8
18～19歳	1	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0
20～24歳	14	57.1	14.3	71.4	0.0	7.1
25～29歳	25	64.0	36.0	52.0	0.0	8.0
30～34歳	15	66.7	53.3	40.0	0.0	0.0
35～39歳	20	95.0	25.0	55.0	5.0	0.0
40～44歳	21	71.4	47.6	57.1	4.8	9.5
45～49歳	34	82.4	38.2	47.1	0.0	2.9
50～54歳	40	80.0	42.5	40.0	0.0	0.0
55～59歳	25	88.0	32.0	28.0	8.0	4.0
60～64歳	18	72.2	22.2	33.3	0.0	5.6
65～69歳	32	75.0	40.6	15.6	3.1	0.0
70～74歳	25	60.0	36.0	32.0	4.0	4.0
75歳以上	53	75.5	45.3	28.3	5.7	0.0

<女性> (%)

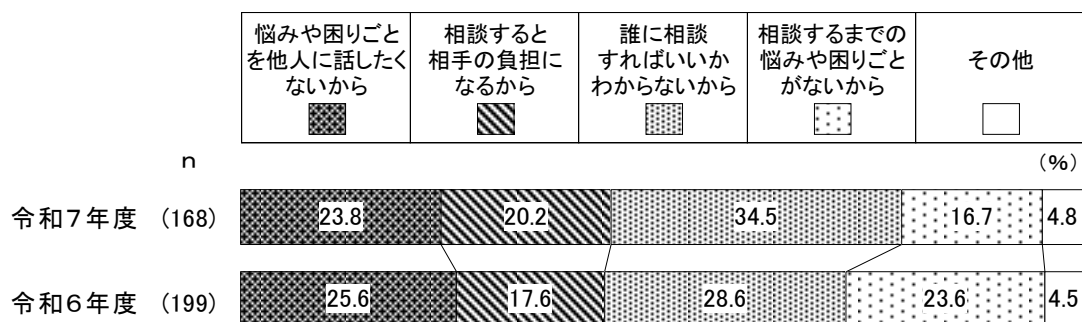
	n	同居している家族	親族	友人	区役所や施設など相談機関の職員	その他
全体	547	68.7	49.9	59.4	4.9	3.1
18～19歳	6	83.3	16.7	66.7	16.7	0.0
20～24歳	18	72.2	33.3	72.2	0.0	5.6
25～29歳	32	53.1	59.4	65.6	0.0	6.3
30～34歳	34	82.4	58.8	50.0	11.8	2.9
35～39歳	40	82.5	60.0	60.0	7.5	2.5
40～44歳	45	71.1	51.1	64.4	8.9	4.4
45～49歳	46	76.1	58.7	60.9	0.0	2.2
50～54歳	70	74.3	45.7	68.6	1.4	2.9
55～59歳	55	67.3	36.4	63.6	0.0	1.8
60～64歳	37	70.3	48.6	62.2	5.4	5.4
65～69歳	31	54.8	51.6	48.4	3.2	3.2
70～74歳	44	72.7	50.0	63.6	4.5	0.0
75歳以上	88	54.5	51.1	45.5	10.2	3.4
年齢不詳	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問45-2 問45で「2. いない」と答えた方におたずねします。
 あなたが相談相手がいなくて感じている理由について、最もあてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

<全体／経年比較>

- ・「誰に相談すればいいかわからないから」が34.5%で最も高く、次いで「悩みや困りごとを他人に話したくないから」(23.8%)となっている。
- ・前回調査と比較すると、「誰に相談すればいいかわからないから」が5.9ポイント増加、「相談するまでの悩みや困りごとがないから」が6.9ポイント減少している。

図表IV-136 相談相手がいらない理由



① 地区別

- ・地区別では、「誰に相談すればいいかわからないから」の割合は、亀戸地区 (43.5%)、豊洲地区 (43.2%)、砂町地区 (39.1%)、南砂地区 (37.5%) で全体を上回っている。

図表IV-137 相談相手がいらない理由 (地区別)

	n	悩みや困りごとを他人に話したくないから	相談すると相手の負担になるから	誰に相談すればいいかわからないから	相談するまでの悩みや困りごとがないから	その他
全 体	168	23.8	20.2	34.5	16.7	4.8
白河	15	33.3	13.3	20.0	26.7	6.7
小松橋	14	42.9	14.3	21.4	7.1	14.3
富岡	13	7.7	46.2	30.8	15.4	0.0
東陽	10	10.0	10.0	30.0	30.0	20.0
豊洲	37	27.0	18.9	43.2	8.1	2.7
亀戸	23	8.7	30.4	43.5	17.4	0.0
大島	22	22.7	27.3	27.3	22.7	0.0
砂町	23	34.8	8.7	39.1	13.0	4.3
南砂	8	0.0	12.5	37.5	37.5	12.5
居住地区不詳	3	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0

② 性年齢別

- ・男女別にみると、男女ともに「誰に相談すればいいかわからないから」が1位となっており、女性（36.8%）の方が男性（33.7%）より3.1ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、男性では18～24歳、35～49歳、55～59歳、70歳以上で「誰に相談すればいいかわからないから」が同率を含め1位となっている。女性では25～44歳、50～54歳、65～74歳で「誰に相談すればいいかわからないから」が同率を含め1位となっている。

図表IV-138 相談相手がいない理由（性年齢別）

<男性>

(%)

	n	悩みや困りごとを他人に話したくないから	相談すると相手の負担になるから	誰に相談すればいいかわからないから	相談するまでの悩みや困りごとがないから	その他
全体	95	26.3	21.1	33.7	15.8	3.2
18～19歳	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
20～24歳	2	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0
25～29歳	6	0.0	66.7	16.7	0.0	16.7
30～34歳	7	57.1	14.3	14.3	14.3	0.0
35～39歳	3	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3
40～44歳	8	12.5	12.5	50.0	25.0	0.0
45～49歳	12	16.7	25.0	25.0	25.0	8.3
50～54歳	10	50.0	10.0	30.0	10.0	0.0
55～59歳	11	27.3	0.0	54.5	18.2	0.0
60～64歳	9	22.2	33.3	22.2	22.2	0.0
65～69歳	10	40.0	10.0	30.0	20.0	0.0
70～74歳	6	16.7	33.3	33.3	16.7	0.0
75歳以上	10	20.0	40.0	40.0	0.0	0.0

<女性>

(%)

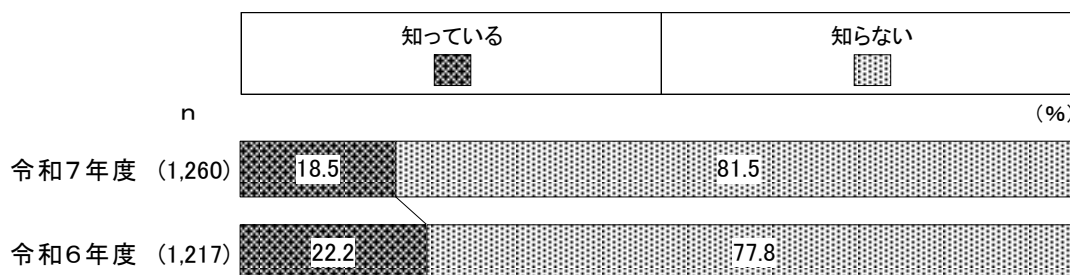
	n	悩みや困りごとを他人に話したくないから	相談すると相手の負担になるから	誰に相談すればいいかわからないから	相談するまでの悩みや困りごとがないから	その他
全体	68	17.6	20.6	36.8	19.1	5.9
18～19歳	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
20～24歳	0	-	-	-	-	-
25～29歳	4	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0
30～34歳	3	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3
35～39歳	5	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
40～44歳	5	0.0	0.0	80.0	20.0	0.0
45～49歳	8	50.0	25.0	12.5	12.5	0.0
50～54歳	6	16.7	33.3	33.3	16.7	0.0
55～59歳	10	10.0	40.0	30.0	10.0	10.0
60～64歳	6	33.3	16.7	16.7	16.7	16.7
65～69歳	6	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0
70～74歳	4	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0
75歳以上	10	10.0	30.0	20.0	30.0	10.0
年齢不詳	0	-	-	-	-	-

問 46 あなたは、民生・児童委員や社会福祉協議会等、地域の中で困りごとを相談できる先を知っていますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

<全体／経年比較>

- ・「知らない」が81.5%で、「知っている」(18.5%)を上回っている。
- ・前回調査と比較すると、「知らない」が3.7ポイント増加している。

図表Ⅳ-139 地域の中で困りごとを相談できる先を知っている割合



① 地区別

- ・地区別では、「知っている」の割合は、白河地区(13.1%)と豊洲地区(14.7%)を除くすべての地区で全体を上回っている。

図表Ⅳ-140 地域の中で困りごとを相談できる先を知っている割合(地区別)

	n	知っている (%)	知らない (%)
全 体	1,260	18.5	81.5
白河	130	13.1	86.9
小松橋	88	19.3	80.7
富岡	100	24.0	76.0
東陽	112	21.4	78.6
豊洲	272	14.7	85.3
亀戸	128	19.5	80.5
大島	138	18.8	81.2
砂町	172	20.3	79.7
南砂	93	21.5	78.5
居住地区不詳	27	18.5	81.5

② 性年齢別

- ・男女別にみると、「知っている」の割合は、女性（20.3%）の方が男性（15.6%）より4.7ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、「知っている」の割合は、男性では50～54歳、65歳以上で男性全体を上回っている。女性では60歳以上で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－141 地域の中で困りごとを相談できる先を知っている割合（性年齢別）

＜男 性＞ (％)

	n	知っている	知らない
全 体	518	15.6	84.4
18～19歳	6	0.0	100.0
20～24歳	21	9.5	90.5
25～29歳	32	0.0	100.0
30～34歳	24	4.2	95.8
35～39歳	28	3.6	96.4
40～44歳	34	2.9	97.1
45～49歳	59	8.5	91.5
50～54歳	62	17.7	82.3
55～59歳	49	12.2	87.8
60～64歳	37	10.8	89.2
65～69歳	48	20.8	79.2
70～74歳	40	30.0	70.0
75歳以上	78	35.9	64.1

＜女 性＞ (％)

	n	知っている	知らない
全 体	713	20.3	79.7
18～19歳	10	0.0	100.0
20～24歳	20	5.0	95.0
25～29歳	39	5.1	94.9
30～34歳	41	14.6	85.4
35～39歳	51	11.8	88.2
40～44歳	57	15.8	84.2
45～49歳	68	11.8	88.2
50～54歳	82	14.6	85.4
55～59歳	78	15.4	84.6
60～64歳	55	23.6	76.4
65～69歳	47	31.9	68.1
70～74歳	55	32.7	67.3
75歳以上	109	39.4	60.6
年齢不詳	1	0.0	100.0

問46-1 問46で「1. 知っている」を選んだ方におたずねします。

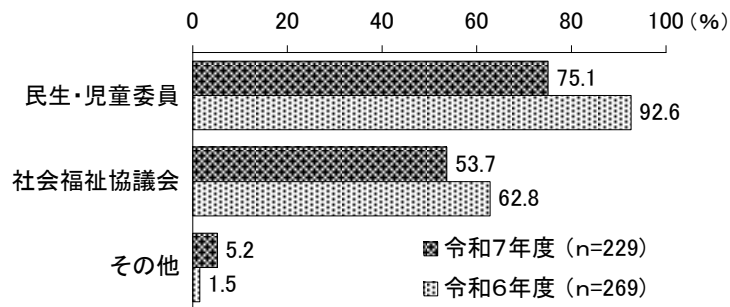
知っている相談先を次の中から、あてはまるものを選び○印をおつけください。

(○はいくつでも)

<全体／経年比較>

- ・「民生・児童委員」が75.1%、「社会福祉協議会」は53.7%となっている。
- ・前回調査と比較すると、「民生・児童委員」が17.5ポイント減少、「社会福祉協議会」が9.1ポイント減少している。

図表IV-142 知っている相談先



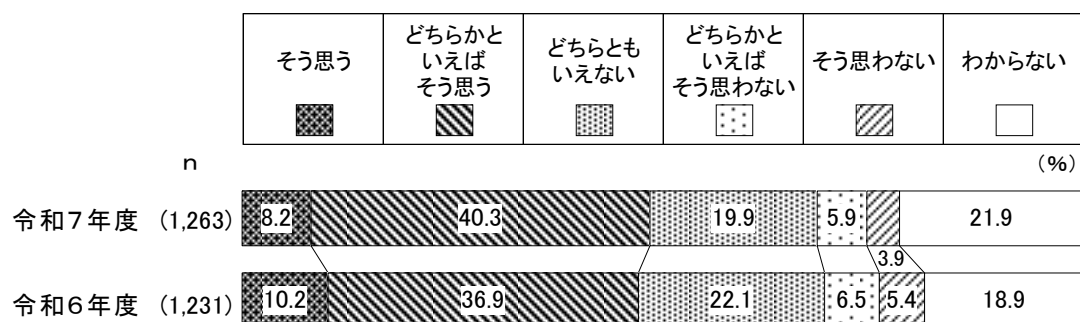
【計画的なまちづくりの推進】

問47 江東区は、地域の特色を活かしたまちづくりが進んでいると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

<全体／経年比較>

- ・「どちらかといえばそう思う」が40.3%で最も高く、次いで「わからない」(21.9%)となっている。
- ・「そう思う」(8.2%)と「どちらかといえばそう思う」(40.3%)を合わせた『そう思う(計)』の割合は48.5%となっている。
- ・前回調査と比較すると、「どちらかといえばそう思う」が3.4ポイント増加している。

図表Ⅳ-143 地域の特色を活かしたまちづくりへの評価



① 地区別

- ・地区別では、『そう思う(計)』の割合は、豊洲地区(56.1%)、小松橋地区(55.0%)、東陽地区(54.5%)、富岡地区(52.5%)、白河地区(51.9%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ-144 地域の特色を活かしたまちづくりへの評価(地区別)

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全体	1,263	8.2	40.3	19.9	5.9	3.9	21.9
白河	129	6.2	45.7	20.9	3.9	0.0	23.3
小松橋	89	10.1	44.9	14.6	9.0	3.4	18.0
富岡	101	5.0	47.5	18.8	9.9	3.0	15.8
東陽	112	14.3	40.2	17.0	7.1	3.6	17.9
豊洲	271	11.8	44.3	20.3	3.3	4.4	15.9
亀戸	127	3.9	32.3	26.0	6.3	3.9	27.6
大島	138	8.0	31.9	19.6	6.5	7.2	26.8
砂町	174	5.2	40.8	20.1	4.0	2.9	27.0
南砂	94	6.4	34.0	18.1	7.4	5.3	28.7
居住地区不詳	28	7.1	32.1	21.4	10.7	7.1	21.4

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『そう思う（計）』の割合に、特に大きな違いはみられない。
- ・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では20～29歳、35～54歳、60～64歳で男性全体を上回っている。女性では18～44歳、50～54歳で女性全体を上回っている。

図表IV-145 地域の特色を活かしたまちづくりへの評価（性年齢別）

<男性> (%)

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全体	521	8.8	41.3	19.8	7.7	4.4	18.0
18～19歳	6	16.7	0.0	33.3	16.7	0.0	33.3
20～24歳	21	14.3	42.9	9.5	4.8	4.8	23.8
25～29歳	32	15.6	50.0	9.4	3.1	0.0	21.9
30～34歳	24	4.2	41.7	16.7	8.3	12.5	16.7
35～39歳	29	6.9	44.8	17.2	3.4	10.3	17.2
40～44歳	34	8.8	50.0	26.5	2.9	0.0	11.8
45～49歳	59	11.9	55.9	10.2	6.8	3.4	11.9
50～54歳	62	9.7	46.8	17.7	9.7	0.0	16.1
55～59歳	49	6.1	34.7	24.5	4.1	12.2	18.4
60～64歳	38	7.9	44.7	34.2	5.3	2.6	5.3
65～69歳	48	6.3	31.3	29.2	10.4	4.2	18.8
70～74歳	40	5.0	30.0	30.0	7.5	2.5	25.0
75歳以上	79	8.9	34.2	12.7	13.9	5.1	25.3

<女性> (%)

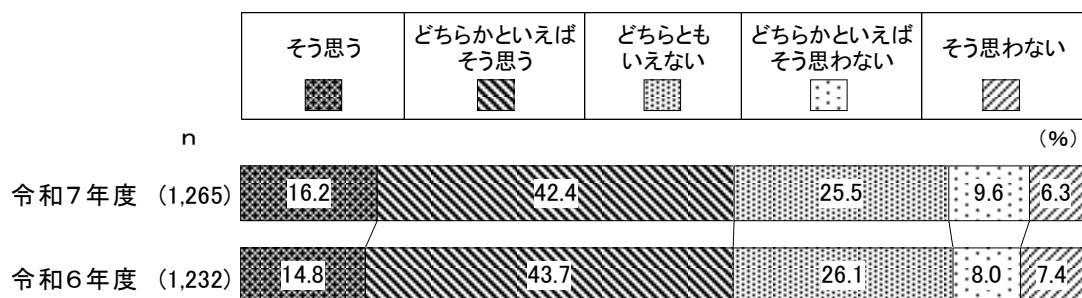
	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全体	713	8.0	39.7	20.2	4.8	3.4	24.0
18～19歳	10	0.0	50.0	20.0	0.0	20.0	10.0
20～24歳	20	10.0	50.0	10.0	5.0	0.0	25.0
25～29歳	39	5.1	46.2	10.3	10.3	2.6	25.6
30～34歳	41	12.2	46.3	14.6	2.4	2.4	22.0
35～39歳	51	21.6	52.9	11.8	2.0	2.0	9.8
40～44歳	57	15.8	36.8	17.5	5.3	5.3	19.3
45～49歳	68	2.9	44.1	23.5	7.4	1.5	20.6
50～54歳	82	7.3	46.3	22.0	3.7	3.7	17.1
55～59歳	78	6.4	34.6	26.9	5.1	2.6	24.4
60～64歳	55	5.5	38.2	21.8	5.5	1.8	27.3
65～69歳	47	6.4	29.8	25.5	8.5	6.4	23.4
70～74歳	55	3.6	41.8	16.4	3.6	3.6	30.9
75歳以上	109	6.4	27.5	23.9	2.8	3.7	35.8
年齢不詳	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

問48 あなたは、江東区のまち並みについて美しいと思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

<全体／経年比較>

- ・「どちらかといえばそう思う」が42.4%で最も高く、次いで「どちらともいえない」(25.5%)となっている。
- ・「そう思う」(16.2%)と「どちらかといえばそう思う」(42.4%)を合わせた『そう思う(計)』の割合は58.6%となっている。
- ・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ-146 江東区のまち並みが美しいと思う区民の割合



① 地区別

- ・地区別では、『そう思う(計)』の割合は、白河地区(70.0%)、豊洲地区(68.8%)、小松橋地区(64.0%)、東陽地区(63.4%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ-147 江東区のまち並みが美しいと思う区民の割合(地区別)

	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない
全 体	1,265	16.2	42.4	25.5	9.6	6.3
白河	130	24.6	45.4	20.0	4.6	5.4
小松橋	89	14.6	49.4	25.8	3.4	6.7
富岡	101	10.9	46.5	21.8	12.9	7.9
東陽	112	20.5	42.9	18.8	8.9	8.9
豊洲	273	25.6	43.2	19.8	8.8	2.6
亀戸	126	7.9	36.5	35.7	10.3	9.5
大島	138	10.1	38.4	30.4	12.3	8.7
砂町	174	11.5	44.3	29.9	9.2	5.2
南砂	94	10.6	37.2	28.7	17.0	6.4
居住地区不詳	28	7.1	32.1	39.3	10.7	10.7

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『そう思う（計）』の割合に、特に大きな違いはみられない。
- ・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では20～54歳、60～64歳で男性全体を上回っている。女性では20～44歳、50～54歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－148 江東区のまち並みが美しいと思う区民の割合（性年齢別）

<男性>

(%)

	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない
全 体	521	15.5	42.0	24.0	10.7	7.7
18～19歳	6	16.7	33.3	50.0	0.0	0.0
20～24歳	21	33.3	47.6	9.5	4.8	4.8
25～29歳	32	37.5	40.6	15.6	6.3	0.0
30～34歳	24	33.3	29.2	20.8	8.3	8.3
35～39歳	29	13.8	48.3	24.1	6.9	6.9
40～44歳	34	20.6	55.9	17.6	0.0	5.9
45～49歳	59	11.9	55.9	11.9	8.5	11.9
50～54歳	62	11.3	50.0	22.6	11.3	4.8
55～59歳	49	12.2	38.8	20.4	18.4	10.2
60～64歳	38	13.2	47.4	31.6	7.9	0.0
65～69歳	49	6.1	49.0	28.6	12.2	4.1
70～74歳	40	12.5	25.0	25.0	22.5	15.0
75歳以上	78	11.5	24.4	38.5	12.8	12.8

<女性>

(%)

	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない
全 体	715	16.9	42.9	26.7	8.5	4.9
18～19歳	10	30.0	10.0	30.0	20.0	10.0
20～24歳	20	35.0	30.0	20.0	10.0	5.0
25～29歳	39	20.5	56.4	15.4	2.6	5.1
30～34歳	41	29.3	48.8	14.6	4.9	2.4
35～39歳	51	35.3	43.1	13.7	3.9	3.9
40～44歳	57	24.6	40.4	19.3	14.0	1.8
45～49歳	68	10.3	48.5	25.0	11.8	4.4
50～54歳	82	17.1	47.6	25.6	7.3	2.4
55～59歳	77	11.7	41.6	31.2	9.1	6.5
60～64歳	55	7.3	40.0	41.8	7.3	3.6
65～69歳	47	8.5	34.0	36.2	12.8	8.5
70～74歳	55	3.6	47.3	32.7	12.7	3.6
75歳以上	112	17.0	40.2	30.4	5.4	7.1
年齢不詳	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

問49 江東区では、ユニバーサルデザインの取り組みが進んでいると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

「ユニバーサルデザイン」とは、万人のための設計思想であり、年齢、性別、国籍、個人の能力に関わらず、できるだけ多くの人々が自立して安全、快適、安心に暮らせる生活環境をデザインすることをいう。

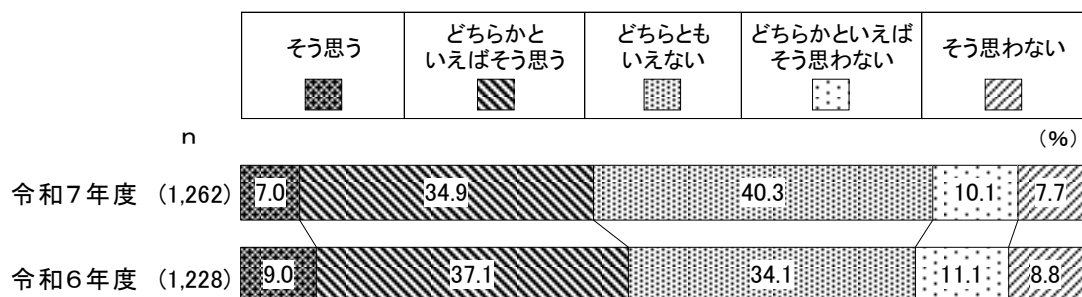
【ユニバーサルデザインの例】

バリアフリートイレ、駅のホームドア、スロープ化（段差解消）、視覚障害者誘導用ブロック（通称：点字ブロック）、ノンステップバス

<全体／経年比較>

- ・「どちらともいえない」が40.3%で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」(34.9%)となっている。
- ・「そう思う」(7.0%)と「どちらかといえばそう思う」(34.9%)を合わせた『そう思う(計)』の割合は41.9%となっている。
- ・前回調査と比較すると、『そう思う(計)』が4.2ポイント減少している。

図表Ⅳ-149 「ユニバーサルデザイン」の取り組みの進捗状況



① 地区別

- ・地区別では、『そう思う(計)』の割合は、豊洲地区(53.8%)と白河地区(50.4%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ-150 「ユニバーサルデザイン」の取り組みの進捗状況(地区別)

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
全 体	1,262	7.0	34.9	40.3	10.1	7.7
白河	129	8.5	41.9	38.0	8.5	3.1
小松橋	89	6.7	29.2	46.1	9.0	9.0
富岡	101	1.0	30.7	39.6	21.8	6.9
東陽	112	9.8	24.1	45.5	12.5	8.0
豊洲	273	12.8	41.0	34.4	7.0	4.8
亀戸	126	3.2	30.2	42.1	11.9	12.7
大島	136	5.9	34.6	38.2	9.6	11.8
砂町	174	4.0	37.9	40.8	9.2	8.0
南砂	95	2.1	36.8	44.2	7.4	9.5
居住地区不詳	27	11.1	18.5	55.6	11.1	3.7

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『そう思う（計）』の割合に、特に大きな違いはみられない。
- ・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では20～54歳で男性全体を上回っている。女性では20～39歳、45～49歳、55～59歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－151 「ユニバーサルデザイン」の取り組みの進捗状況（性年齢別）

<男性> (%)

	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない
全 体	520	6.7	36.3	36.3	11.2	9.4
18～19歳	6	0.0	33.3	50.0	16.7	0.0
20～24歳	21	19.0	52.4	9.5	9.5	9.5
25～29歳	32	12.5	34.4	31.3	15.6	6.3
30～34歳	24	12.5	41.7	20.8	12.5	12.5
35～39歳	29	3.4	51.7	34.5	6.9	3.4
40～44歳	34	17.6	35.3	26.5	8.8	11.8
45～49歳	59	5.1	40.7	32.2	11.9	10.2
50～54歳	62	6.5	38.7	37.1	11.3	6.5
55～59歳	49	4.1	30.6	42.9	14.3	8.2
60～64歳	38	5.3	36.8	47.4	2.6	7.9
65～69歳	49	4.1	32.7	44.9	12.2	6.1
70～74歳	39	5.1	25.6	35.9	12.8	20.5
75歳以上	78	2.6	32.1	42.3	11.5	11.5

<女性> (%)

	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない
全 体	714	7.3	34.5	42.7	9.7	5.9
18～19歳	10	0.0	30.0	50.0	20.0	0.0
20～24歳	20	15.0	45.0	30.0	5.0	5.0
25～29歳	39	10.3	43.6	30.8	7.7	7.7
30～34歳	41	14.6	29.3	46.3	4.9	4.9
35～39歳	51	17.6	43.1	29.4	5.9	3.9
40～44歳	57	12.3	26.3	47.4	7.0	7.0
45～49歳	68	1.5	41.2	36.8	13.2	7.4
50～54歳	82	4.9	32.9	43.9	15.9	2.4
55～59歳	78	6.4	38.5	38.5	11.5	5.1
60～64歳	55	1.8	32.7	47.3	10.9	7.3
65～69歳	47	2.1	23.4	48.9	17.0	8.5
70～74歳	54	0.0	35.2	48.1	13.0	3.7
75歳以上	111	9.0	31.5	49.5	1.8	8.1
年齢不詳	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

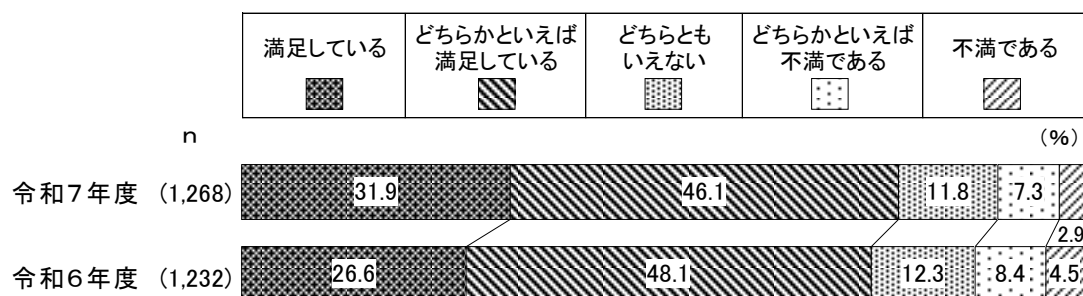
【良好な住宅の形成と住環境の向上】

問50 あなたは、今お住まいの住環境について満足していますか。あてはまるものを選び
○印をおつけください。(○は1つ)

<全体／経年比較>

- ・「どちらかといえば満足している」が46.1%で最も高く、次いで「満足している」(31.9%)となっている。
- ・これらを合わせた『満足している(計)』の割合は78.0%となっている。
- ・前回調査と比較すると、『満足している(計)』が3.3ポイント増加している。

図表IV-152 住環境への満足度



① 地区別

- ・地区別では、『満足している(計)』の割合は、白河地区(84.0%)、東陽地区(82.1%)、富岡地区(81.2%)、南砂地区(81.0%)、豊洲地区(79.2%)、砂町地区(78.7%)で全体を上回っている。

図表IV-153 住環境への満足度(地区別)

	n	満足している	どちらかといえ ば満足している	どちらとも いえない	どちらかといえ ば不満である	不満である
全 体	1,268	31.9	46.1	11.8	7.3	2.9
白河	131	42.0	42.0	9.9	3.1	3.1
小松橋	89	29.2	47.2	13.5	6.7	3.4
富岡	101	30.7	50.5	7.9	7.9	3.0
東陽	112	35.7	46.4	8.0	8.0	1.8
豊洲	273	39.6	39.6	10.6	7.3	2.9
亀戸	127	22.0	46.5	15.0	13.4	3.1
大島	138	23.9	48.6	13.8	10.1	3.6
砂町	174	27.6	51.1	14.9	4.0	2.3
南砂	95	32.6	48.4	10.5	5.3	3.2
居住地区不詳	28	14.3	57.1	17.9	7.1	3.6

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『満足している（計）』の割合に、特に大きな違いはみられない。
- ・年齢別にみると、『満足している（計）』の割合は、男性では20～29歳、40～44歳、50～69歳で男性全体を上回っている。女性では20～39歳、45～54歳、60～64歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－154 住環境への満足度（性年齢別）

<男 性> (％)

	n	満足している	どちらかといえ ば満足している	どちらとも いえない	どちらかといえ ば不満である	不満である
全 体	522	30.3	47.1	10.5	7.7	4.4
18～19歳	6	16.7	50.0	33.3	0.0	0.0
20～24歳	21	57.1	28.6	4.8	0.0	9.5
25～29歳	32	37.5	53.1	3.1	6.3	0.0
30～34歳	24	33.3	41.7	8.3	8.3	8.3
35～39歳	29	37.9	27.6	20.7	3.4	10.3
40～44歳	34	47.1	41.2	8.8	2.9	0.0
45～49歳	59	23.7	52.5	8.5	13.6	1.7
50～54歳	62	30.6	48.4	8.1	6.5	6.5
55～59歳	49	18.4	59.2	12.2	6.1	4.1
60～64歳	38	26.3	52.6	10.5	7.9	2.6
65～69歳	49	30.6	49.0	6.1	12.2	2.0
70～74歳	40	22.5	50.0	12.5	12.5	2.5
75歳以上	79	27.8	43.0	15.2	6.3	7.6

<女 性> (％)

	n	満足している	どちらかといえ ば満足している	どちらとも いえない	どちらかといえ ば不満である	不満である
全 体	717	33.2	46.4	12.0	6.4	2.0
18～19歳	10	50.0	20.0	30.0	0.0	0.0
20～24歳	20	65.0	30.0	5.0	0.0	0.0
25～29歳	39	41.0	43.6	5.1	5.1	5.1
30～34歳	41	29.3	51.2	17.1	0.0	2.4
35～39歳	51	39.2	45.1	9.8	5.9	0.0
40～44歳	57	26.3	50.9	15.8	7.0	0.0
45～49歳	68	23.5	57.4	16.2	2.9	0.0
50～54歳	82	35.4	50.0	3.7	7.3	3.7
55～59歳	78	37.2	39.7	11.5	7.7	3.8
60～64歳	55	34.5	50.9	10.9	3.6	0.0
65～69歳	47	19.1	55.3	12.8	10.6	2.1
70～74歳	55	25.5	47.3	10.9	14.5	1.8
75歳以上	113	35.4	38.9	15.9	7.1	2.7
年齢不詳	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

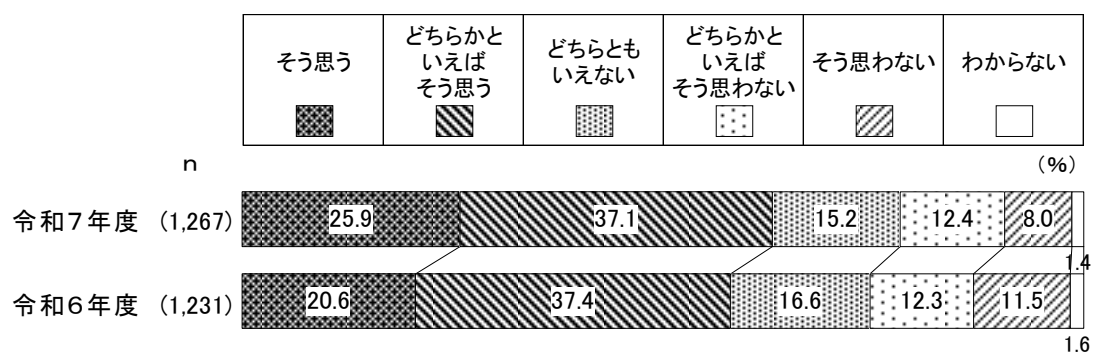
【便利で安全な道路・交通ネットワークの整備】

問51 あなたは、江東区内を便利で快適に移動できると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

<全体／経年比較>

- ・「どちらかといえばそう思う」が37.1%で最も高く、次いで「そう思う」(25.9%)となっている。
- ・これらを合わせた『そう思う(計)』の割合は63.0%となっている。
- ・前回調査と比較すると、『そう思う(計)』が5.0ポイント増加している。

図表Ⅳ-155 公共交通による移動の利便性



① 地区別

- ・地区別では、『そう思う(計)』の割合は、富岡地区(78.2%)、白河地区(73.3%)、小松橋地区(71.9%)、東陽地区(67.0%)、南砂地区(65.3%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ-156 公共交通による移動の利便性(地区別)

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全体	1,267	25.9	37.1	15.2	12.4	8.0	1.4
白河	131	38.2	35.1	9.9	9.2	6.1	1.5
小松橋	89	32.6	39.3	12.4	11.2	3.4	1.1
富岡	101	32.7	45.5	15.8	4.0	1.0	1.0
東陽	112	27.7	39.3	16.1	10.7	5.4	0.9
豊洲	272	25.0	33.1	14.0	14.3	12.9	0.7
亀戸	127	18.9	37.0	15.7	18.1	7.9	2.4
大島	138	23.9	34.1	15.2	15.9	7.2	3.6
砂町	174	20.1	36.2	20.1	13.2	8.6	1.7
南砂	95	22.1	43.2	16.8	8.4	9.5	0.0
居住地区不詳	28	14.3	39.3	17.9	14.3	14.3	0.0

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『そう思う（計）』の割合に、特に大きな違いはみられない。
- ・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では20～29歳、35～39歳、45～54歳、60～64歳、70～74歳で男性全体を上回っている。女性では18～24歳、30～34歳、45～49歳、55～59歳、75歳以上で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－157 公共交通による移動の利便性（性年齢別）

<男 性> (％)

	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない
全 体	521	25.0	37.2	13.8	12.7	10.2	1.2
18～19歳	6	0.0	16.7	66.7	0.0	16.7	0.0
20～24歳	21	38.1	33.3	9.5	9.5	9.5	0.0
25～29歳	32	37.5	46.9	3.1	9.4	3.1	0.0
30～34歳	24	25.0	16.7	12.5	20.8	25.0	0.0
35～39歳	29	24.1	41.4	10.3	6.9	17.2	0.0
40～44歳	34	29.4	29.4	8.8	14.7	17.6	0.0
45～49歳	59	22.0	42.4	15.3	11.9	8.5	0.0
50～54歳	62	30.6	38.7	8.1	14.5	8.1	0.0
55～59歳	49	12.2	42.9	24.5	8.2	8.2	4.1
60～64歳	38	23.7	42.1	13.2	10.5	10.5	0.0
65～69歳	49	18.4	38.8	18.4	10.2	10.2	4.1
70～74歳	40	20.0	42.5	20.0	15.0	2.5	0.0
75歳以上	78	29.5	29.5	10.3	17.9	10.3	2.6

<女 性> (％)

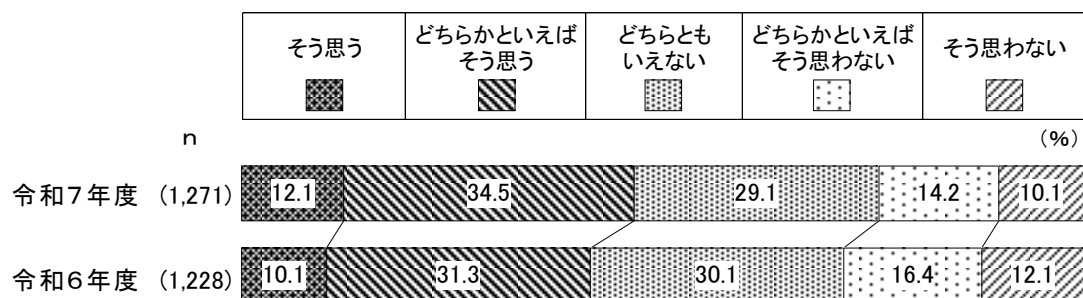
	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない
全 体	717	27.1	37.5	16.2	11.6	6.0	1.7
18～19歳	10	50.0	30.0	10.0	10.0	0.0	0.0
20～24歳	20	50.0	30.0	5.0	5.0	10.0	0.0
25～29歳	39	23.1	38.5	10.3	20.5	7.7	0.0
30～34歳	41	26.8	43.9	9.8	9.8	9.8	0.0
35～39歳	51	27.5	29.4	21.6	15.7	3.9	2.0
40～44歳	57	24.6	33.3	15.8	12.3	14.0	0.0
45～49歳	68	23.5	42.6	11.8	13.2	7.4	1.5
50～54歳	82	20.7	40.2	11.0	18.3	9.8	0.0
55～59歳	78	21.8	43.6	20.5	7.7	6.4	0.0
60～64歳	55	29.1	32.7	21.8	10.9	3.6	1.8
65～69歳	47	25.5	34.0	23.4	12.8	2.1	2.1
70～74歳	55	25.5	36.4	18.2	14.5	1.8	3.6
75歳以上	113	34.5	37.2	17.7	3.5	1.8	5.3
年齢不詳	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問52 江東区では、交通ルールが定着していると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

<全体／経年比較>

- ・「どちらかといえばそう思う」が34.5%で最も高く、次いで「どちらともいえない」(29.1%)となっている。
- ・「そう思う」(12.1%)と「どちらかといえばそう思う」(34.5%)を合わせた『そう思う(計)』の割合は46.6%となっている。
- ・前回調査と比較すると、『そう思う(計)』が5.2ポイント増加している。

図表IV-158 交通ルール定着の認識



① 地区別

- ・地区別では、『そう思う(計)』の割合は、白河地区(59.7%)、豊洲地区(57.2%)、富岡地区(50.0%)、南砂地区(47.3%)、東陽地区(47.0%)で全体を上回っている。

図表IV-159 交通ルール定着の認識(地区別)

	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない
全 体	1,271	12.1	34.5	29.1	14.2	10.1
白河	129	17.8	41.9	20.9	14.7	4.7
小松橋	90	13.3	31.1	28.9	17.8	8.9
富岡	98	14.3	35.7	23.5	15.3	11.2
東陽	115	17.4	29.6	25.2	17.4	10.4
豊洲	271	15.5	41.7	28.4	5.5	8.9
亀戸	131	9.9	26.7	32.8	17.6	13.0
大島	137	5.1	31.4	34.3	13.1	16.1
砂町	177	5.6	31.6	33.9	20.3	8.5
南砂	95	12.6	34.7	28.4	14.7	9.5
居住地区不詳	28	3.6	25.0	39.3	14.3	17.9

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『そう思う（計）』の割合に、特に大きな違いはみられない。
- ・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では18～29歳、35～44歳、50～54歳、60～64歳で男性全体を上回っている。女性では18～34歳、40～44歳、65～69歳、75歳以上で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－160 交通ルール定着の認識（性年齢別）

<男 性> (％)

	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない
全 体	526	12.2	35.4	26.4	13.5	12.5
18～19歳	6	0.0	50.0	33.3	16.7	0.0
20～24歳	21	28.6	33.3	9.5	14.3	14.3
25～29歳	32	21.9	46.9	12.5	3.1	15.6
30～34歳	24	12.5	29.2	12.5	29.2	16.7
35～39歳	30	10.0	53.3	16.7	6.7	13.3
40～44歳	34	11.8	44.1	14.7	26.5	2.9
45～49歳	59	11.9	33.9	32.2	13.6	8.5
50～54歳	62	11.3	45.2	24.2	11.3	8.1
55～59歳	49	6.1	34.7	34.7	10.2	14.3
60～64歳	37	18.9	29.7	21.6	18.9	10.8
65～69歳	47	4.3	29.8	36.2	10.6	19.1
70～74歳	41	7.3	24.4	34.1	17.1	17.1
75歳以上	84	14.3	27.4	33.3	10.7	14.3

<女 性> (％)

	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない
全 体	718	12.3	34.1	30.4	14.9	8.4
18～19歳	10	20.0	30.0	20.0	20.0	10.0
20～24歳	20	25.0	50.0	10.0	15.0	0.0
25～29歳	39	15.4	41.0	12.8	20.5	10.3
30～34歳	41	9.8	39.0	19.5	22.0	9.8
35～39歳	51	19.6	25.5	35.3	11.8	7.8
40～44歳	56	12.5	41.1	25.0	14.3	7.1
45～49歳	69	11.6	31.9	30.4	14.5	11.6
50～54歳	83	10.8	32.5	32.5	12.0	12.0
55～59歳	77	5.2	32.5	37.7	18.2	6.5
60～64歳	55	3.6	36.4	38.2	12.7	9.1
65～69歳	47	8.5	38.3	27.7	17.0	8.5
70～74歳	57	8.8	28.1	35.1	24.6	3.5
75歳以上	112	19.6	32.1	33.9	7.1	7.1
年齢不詳	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

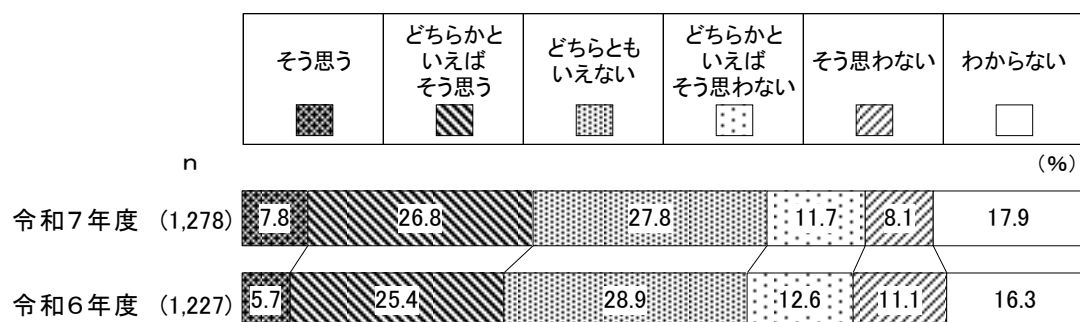
【災害に強い都市の形成】

問53 江東区は、災害に強いまちづくりが進んでいると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

<全体／経年比較>

- ・「どちらともいえない」が27.8%で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」(26.8%)となっている。
- ・「そう思う」(7.8%)と「どちらかといえばそう思う」(26.8%)を合わせた『そう思う(計)』の割合は34.6%となっている。
- ・前回調査と比較すると、『そう思う(計)』が3.5ポイント増加している。

図表Ⅳ-161 災害に強いまちづくりが進んでいると思う区民の割合



① 地区別

- ・地区別では、『そう思う(計)』の割合は、豊洲地区(46.0%)、白河地区(41.1%)、南砂地区(37.1%)、東陽地区(36.5%)、富岡地区(36.4%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ-162 災害に強いまちづくりが進んでいると思う区民の割合(地区別)

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全 体	1,278	7.8	26.8	27.8	11.7	8.1	17.9
白河	129	10.1	31.0	32.6	8.5	3.1	14.7
小松橋	91	6.6	26.4	22.0	16.5	7.7	20.9
富岡	99	5.1	31.3	24.2	15.2	6.1	18.2
東陽	115	7.8	28.7	22.6	13.0	9.6	18.3
豊洲	274	13.9	32.1	27.0	6.2	4.0	16.8
亀戸	131	3.8	19.8	32.8	13.0	11.5	19.1
大島	137	5.1	19.0	28.5	16.8	13.1	17.5
砂町	177	2.8	23.2	32.8	10.2	11.3	19.8
南砂	97	11.3	25.8	26.8	10.3	7.2	18.6
居住地区不詳	28	3.6	28.6	10.7	28.6	14.3	14.3

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『そう思う（計）』の割合に、特に大きな違いはみられない。
- ・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では20～24歳、30～34歳、40～44歳、50～54歳、65～74歳で男性全体を上回っている。女性では35～44歳、50～59歳、65歳以上で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－163 災害に強いまちづくりが進んでいると思う区民の割合（性年齢別）

<男性>

(%)

	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない
全 体	528	8.5	27.5	27.8	13.1	8.5	14.6
18～19歳	6	16.7	0.0	50.0	0.0	16.7	16.7
20～24歳	21	23.8	23.8	9.5	14.3	4.8	23.8
25～29歳	32	12.5	15.6	15.6	25.0	9.4	21.9
30～34歳	24	8.3	29.2	12.5	12.5	20.8	16.7
35～39歳	30	6.7	26.7	33.3	6.7	13.3	13.3
40～44歳	34	11.8	26.5	20.6	11.8	11.8	17.6
45～49歳	59	3.4	30.5	32.2	8.5	8.5	16.9
50～54歳	62	8.1	29.0	30.6	19.4	4.8	8.1
55～59歳	49	10.2	22.4	36.7	12.2	8.2	10.2
60～64歳	38	10.5	23.7	42.1	5.3	7.9	10.5
65～69歳	48	2.1	41.7	20.8	12.5	8.3	14.6
70～74歳	41	4.9	34.1	34.1	7.3	9.8	9.8
75歳以上	84	9.5	25.0	25.0	17.9	4.8	17.9

<女性>

(%)

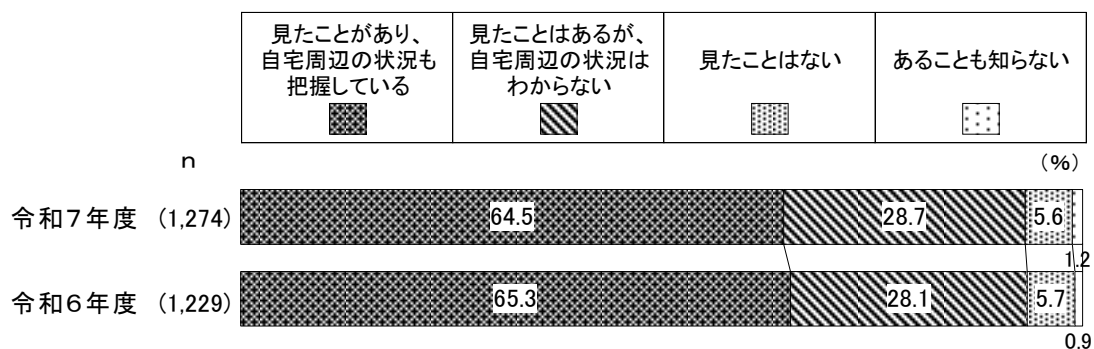
	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない
全 体	723	7.6	26.7	27.5	10.5	7.9	19.8
18～19歳	10	0.0	20.0	70.0	0.0	0.0	10.0
20～24歳	20	5.0	20.0	35.0	15.0	5.0	20.0
25～29歳	39	2.6	12.8	20.5	15.4	12.8	35.9
30～34歳	41	12.2	22.0	26.8	12.2	4.9	22.0
35～39歳	51	11.8	31.4	21.6	9.8	9.8	15.7
40～44歳	57	5.3	35.1	29.8	7.0	7.0	15.8
45～49歳	69	2.9	24.6	18.8	20.3	8.7	24.6
50～54歳	83	10.8	24.1	31.3	10.8	6.0	16.9
55～59歳	78	9.0	26.9	24.4	11.5	10.3	17.9
60～64歳	55	9.1	21.8	32.7	5.5	14.5	16.4
65～69歳	48	4.2	31.3	29.2	10.4	12.5	12.5
70～74歳	57	5.3	35.1	26.3	14.0	1.8	17.5
75歳以上	114	9.6	28.1	28.9	4.4	5.3	23.7
年齢不詳	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

問54 あなたは、江東区洪水ハザードマップを見たことがありますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

<全体／経年比較>

- ・「見たことがあります、自宅周辺の状況も把握している」が64.5%で最も高く、次いで「見たことはあるが、自宅周辺の状況はわからない」(28.7%)となっている。
- ・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ-164 江東区のハザードマップの認知度



① 地区別

- ・地区別では、「見たことがあります、自宅周辺の状況も把握している」の割合は、東陽地区(73.0%)、小松橋地区(68.9%)、豊洲地区(66.7%)、白河地区(65.9%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ-165 江東区のハザードマップの認知度(地区別)

	n	見たことがあります、 自宅周辺の状況も 把握している	見たことはあるが、 自宅周辺の状況は わからない	見たことはない	あることも知らない
全 体	1,274	64.5	28.7	5.6	1.2
白河	129	65.9	27.9	5.4	0.8
小松橋	90	68.9	27.8	3.3	0.0
富岡	99	62.6	29.3	6.1	2.0
東陽	115	73.0	21.7	2.6	2.6
豊洲	273	66.7	26.0	7.3	0.0
亀戸	131	59.5	32.8	6.9	0.8
大島	136	60.3	34.6	3.7	1.5
砂町	177	61.0	31.1	5.6	2.3
南砂	96	60.4	31.3	7.3	1.0
居住地区不詳	28	75.0	17.9	3.6	3.6

② 性年齢別

- ・男女別にみると、「見たことはあるが、自宅周辺の状況はわからない」の割合は、女性（31.3%）の方が男性（26.3%）より5.0ポイント高く、「見たことがあり、自宅周辺の状況も把握している」の割合は、男性（66.9%）の方が女性（62.2%）より4.7ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、「見たことがあり、自宅周辺の状況も把握している」の割合は、男性では35～69歳で男性全体を上回っている。女性では30～64歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ-166 江東区のハザードマップの認知度（性年齢別）

<男性>

(%)

	n	見たことがあり、 自宅周辺の状況も 把握している	見たことはあるが、 自宅周辺の状況は わからない	見たことはない	あることも知らない
全 体	528	66.9	26.3	5.1	1.7
18～19歳	6	33.3	33.3	33.3	0.0
20～24歳	21	28.6	57.1	14.3	0.0
25～29歳	32	46.9	40.6	12.5	0.0
30～34歳	24	58.3	33.3	4.2	4.2
35～39歳	30	76.7	20.0	3.3	0.0
40～44歳	34	94.1	5.9	0.0	0.0
45～49歳	59	67.8	23.7	5.1	3.4
50～54歳	62	75.8	22.6	1.6	0.0
55～59歳	49	69.4	24.5	6.1	0.0
60～64歳	38	73.7	18.4	2.6	5.3
65～69歳	48	75.0	18.8	4.2	2.1
70～74歳	41	63.4	31.7	2.4	2.4
75歳以上	84	59.5	32.1	6.0	2.4

<女性>

(%)

	n	見たことがあり、 自宅周辺の状況も 把握している	見たことはあるが、 自宅周辺の状況は わからない	見たことはない	あることも知らない
全 体	719	62.2	31.3	5.7	0.8
18～19歳	10	30.0	60.0	0.0	10.0
20～24歳	20	30.0	50.0	20.0	0.0
25～29歳	39	59.0	25.6	15.4	0.0
30～34歳	41	73.2	22.0	4.9	0.0
35～39歳	51	76.5	13.7	5.9	3.9
40～44歳	57	78.9	17.5	3.5	0.0
45～49歳	69	68.1	29.0	2.9	0.0
50～54歳	83	68.7	30.1	0.0	1.2
55～59歳	78	65.4	29.5	5.1	0.0
60～64歳	55	74.5	21.8	3.6	0.0
65～69歳	48	60.4	35.4	4.2	0.0
70～74歳	57	45.6	49.1	5.3	0.0
75歳以上	110	45.5	42.7	10.0	1.8
年齢不詳	1	0.0	100.0	0.0	0.0

【地域防災力の強化】

問55 あなたは、防災訓練などの防災活動に参加したことがありますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

＜全体／経年比較＞

- ・「参加したことがない」が52.2%で最も高く、次いで「これまでに1度以上参加した」(22.5%)となっている。
- ・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ－167 防災訓練などの防災活動への参加状況



① 地区別

- ・地区別では、「過去1年以内に参加した」の割合は、南砂地区(20.8%)、小松橋地区(18.9%)、白河地区(17.8%)、豊洲地区(16.8%)、東陽地区(15.7%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ－168 防災訓練などの防災活動への参加状況(地区別)

	n	過去1年以内に参加した	過去3年以内に参加した	これまでに1度以上参加した	参加したことがない
全 体	1,275	15.2	10.0	22.5	52.2
白河	129	17.8	9.3	14.7	58.1
小松橋	90	18.9	6.7	20.0	54.4
富岡	99	15.2	11.1	22.2	51.5
東陽	115	15.7	12.2	20.0	52.2
豊洲	273	16.8	15.4	23.4	44.3
亀戸	131	13.0	3.8	21.4	61.8
大島	137	14.6	6.6	24.8	54.0
砂町	176	8.0	9.7	23.9	58.5
南砂	96	20.8	10.4	28.1	40.6
居住地区不詳	29	13.8	6.9	34.5	44.8

② 性年齢別

- ・男女別にみると、「過去1年以内に参加した」の割合に、特に大きな違いはみられない。
- ・年齢別にみると、「過去1年以内に参加した」の割合は、男性では25～29歳、35～44歳、50～59歳、75歳以上で男性全体を上回っている。女性では18～19歳、35～44歳、50～54歳、70歳以上で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－169 防災訓練などの防災活動への参加状況（性年齢別）

<男 性>

(%)

	n	過去1年以内に 参加した	過去3年以内に 参加した	これまでに 1度以上参加した	参加したことがない
全 体	526	14.1	10.1	20.0	55.9
18～19歳	6	0.0	16.7	33.3	50.0
20～24歳	21	9.5	19.0	23.8	47.6
25～29歳	32	15.6	3.1	18.8	62.5
30～34歳	24	8.3	4.2	20.8	66.7
35～39歳	30	20.0	3.3	16.7	60.0
40～44歳	34	17.6	17.6	8.8	55.9
45～49歳	59	10.2	8.5	18.6	62.7
50～54歳	62	19.4	12.9	25.8	41.9
55～59歳	49	20.4	12.2	12.2	55.1
60～64歳	38	7.9	15.8	28.9	47.4
65～69歳	46	13.0	8.7	23.9	54.3
70～74歳	41	9.8	4.9	19.5	65.9
75歳以上	84	14.3	9.5	19.0	57.1

<女 性>

(%)

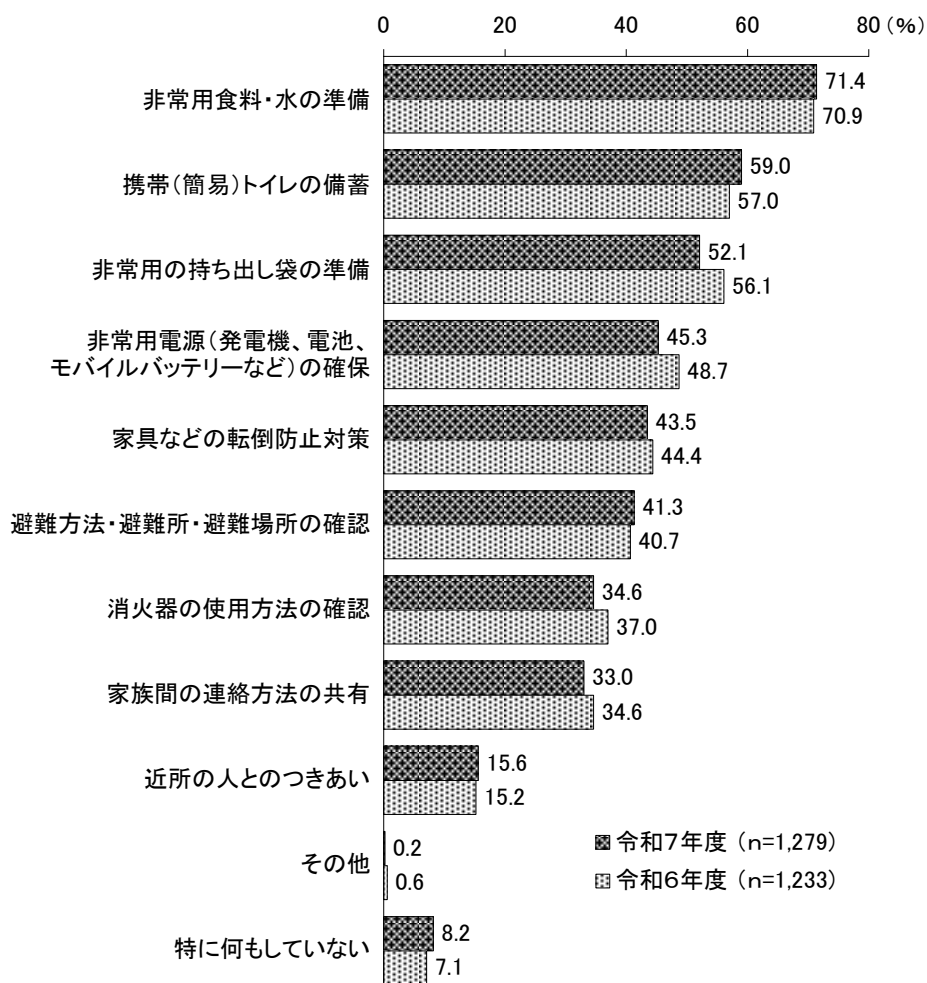
	n	過去1年以内に 参加した	過去3年以内に 参加した	これまでに 1度以上参加した	参加したことがない
全 体	721	16.0	10.4	24.5	49.1
18～19歳	10	20.0	10.0	10.0	60.0
20～24歳	20	15.0	30.0	20.0	35.0
25～29歳	39	7.7	7.7	20.5	64.1
30～34歳	41	9.8	12.2	9.8	68.3
35～39歳	51	31.4	2.0	5.9	60.8
40～44歳	57	21.1	8.8	28.1	42.1
45～49歳	69	14.5	11.6	33.3	40.6
50～54歳	83	16.9	10.8	21.7	50.6
55～59歳	78	12.8	10.3	25.6	51.3
60～64歳	55	9.1	5.5	27.3	58.2
65～69歳	48	8.3	10.4	35.4	45.8
70～74歳	57	17.5	14.0	28.1	40.4
75歳以上	112	19.6	11.6	27.7	41.1
年齢不詳	1	0.0	0.0	100.0	0.0

問56 あなたの家庭では、以下のような防災対策を行っていますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○はいくつでも)

<全体／経年比較>

- ・「非常用食料・水の準備」が71.4%で最も高く、次いで「携帯（簡易）トイレの備蓄」（59.0%）、「非常用の持ち出し袋の準備」（52.1%）となっている。
- ・前回調査と比較すると、「非常用の持ち出し袋の準備」が4.0ポイント減少、「非常用電源（発電機、電池、モバイルバッテリーなど）の確保」が3.4ポイント減少している。

図表Ⅳ－170 自宅における防災対策の実施状況



① 地区別

- ・地区別では、すべての地区で「非常用食料・水の準備」が1位となっている。2位は、富岡地区を除くすべての地区で「携帯（簡易）トイレの備蓄」、富岡地区では「非常用の持ち出し袋の準備」となっている。

図表IV-171 自宅における防災対策の実施状況（地区別）

(%)

	n	家具などの転倒防止対策	消火器の使用方法の確認	非常用食料・水の準備	携帯（簡易）トイレの備蓄	非常用電源（発電機、電池、モバイルバッテリーなど）の確保	非常用の持ち出し袋の準備	避難方法・避難所・避難場所の確認	家族間の連絡方法の共有	近所の人とのつきあい	その他	特に何もしていない
全 体	1,279	43.5	34.6	71.4	59.0	45.3	52.1	41.3	33.0	15.6	0.2	8.2
白河	130	43.1	33.8	69.2	58.5	46.9	53.1	44.6	31.5	22.3	0.0	12.3
小松橋	91	39.6	35.2	71.4	63.7	45.1	60.4	40.7	26.4	11.0	0.0	3.3
富岡	99	43.4	28.3	71.7	58.6	43.4	60.6	50.5	36.4	16.2	1.0	7.1
東陽	115	46.1	24.3	76.5	67.8	53.0	53.0	47.0	35.7	16.5	0.0	5.2
豊洲	274	43.8	46.7	71.5	59.9	47.8	54.7	44.2	36.1	14.6	0.7	7.7
亀戸	130	38.5	30.0	62.3	52.3	42.3	43.1	31.5	27.7	15.4	0.0	15.4
大島	137	40.1	24.8	74.5	52.6	46.7	51.1	38.0	32.8	13.9	0.0	8.8
砂町	177	48.0	29.9	71.2	59.3	37.9	48.0	33.9	27.7	11.9	0.0	7.9
南砂	97	45.4	50.5	76.3	57.7	46.4	48.5	45.4	44.3	21.6	0.0	5.2
居住地区不詳	29	51.7	27.6	69.0	65.5	41.4	44.8	37.9	27.6	17.2	0.0	3.4

② 性年齢別

- ・男女別にみると、男女ともに「非常用食料・水の準備」が1位、「携帯（簡易）トイレの備蓄」が2位となっている。
- ・年齢別にみると、男性では60～64歳を除くすべての年代で「非常用食料・水の準備」が1位、60～64歳では「携帯（簡易）トイレの備蓄」が1位となっている。女性では40～44歳を除くすべての年代で「非常用食料・水の準備」が1位、40～44歳では「携帯（簡易）トイレの備蓄」が1位となっている。

図表Ⅳ－172 自宅における防災対策の実施状況（性年齢別）

<男性>

(%)

	n	家具などの転倒防止対策	消火器の使用方法の確認	非常用食料・水の準備	携帯（簡易）トイレの備蓄	非常用電源（発電機、電池、モバイルバッテリーなど）の確保	非常用の持ち出し袋の準備	避難方法・避難場所・避難場所の確認	家族間の連絡方法の共有	近所の人とのつきあい	その他	特に何もしていない
全体	528	45.3	36.2	68.0	51.1	44.9	49.4	43.6	33.5	13.1	0.4	10.2
18～19歳	6	33.3	33.3	83.3	50.0	50.0	33.3	33.3	33.3	16.7	0.0	16.7
20～24歳	21	47.6	23.8	57.1	28.6	38.1	38.1	42.9	42.9	14.3	0.0	14.3
25～29歳	32	31.3	9.4	56.3	31.3	53.1	37.5	31.3	28.1	0.0	0.0	12.5
30～34歳	24	16.7	8.3	58.3	33.3	37.5	25.0	25.0	33.3	8.3	0.0	12.5
35～39歳	30	50.0	26.7	56.7	30.0	50.0	36.7	43.3	26.7	6.7	0.0	13.3
40～44歳	34	44.1	41.2	82.4	58.8	50.0	47.1	52.9	35.3	20.6	0.0	8.8
45～49歳	59	42.4	30.5	74.6	59.3	40.7	55.9	44.1	35.6	6.8	0.0	15.3
50～54歳	62	45.2	45.2	69.4	50.0	45.2	46.8	43.5	35.5	8.1	0.0	6.5
55～59歳	49	36.7	53.1	71.4	63.3	59.2	49.0	46.9	34.7	14.3	2.0	12.2
60～64歳	38	50.0	36.8	63.2	71.1	52.6	44.7	55.3	28.9	18.4	0.0	7.9
65～69歳	48	54.2	35.4	70.8	45.8	47.9	66.7	41.7	35.4	14.6	0.0	8.3
70～74歳	41	46.3	34.1	63.4	53.7	34.1	56.1	56.1	26.8	14.6	0.0	7.3
75歳以上	84	57.1	47.6	70.2	54.8	35.7	57.1	38.1	35.7	21.4	1.2	8.3

<女性>

(%)

	n	家具などの転倒防止対策	消火器の使用方法の確認	非常用食料・水の準備	携帯（簡易）トイレの備蓄	非常用電源（発電機、電池、モバイルバッテリーなど）の確保	非常用の持ち出し袋の準備	避難方法・避難場所・避難場所の確認	家族間の連絡方法の共有	近所の人とのつきあい	その他	特に何もしていない
全体	723	42.7	33.5	74.0	64.7	46.1	54.2	40.5	33.1	17.8	0.1	6.5
18～19歳	10	20.0	30.0	70.0	60.0	40.0	30.0	50.0	40.0	30.0	0.0	10.0
20～24歳	20	40.0	15.0	55.0	45.0	45.0	40.0	40.0	40.0	20.0	0.0	30.0
25～29歳	39	20.5	15.4	64.1	48.7	46.2	35.9	30.8	12.8	5.1	0.0	17.9
30～34歳	41	26.8	12.2	70.7	68.3	41.5	68.3	22.0	24.4	4.9	0.0	7.3
35～39歳	51	27.5	23.5	78.4	70.6	62.7	60.8	43.1	27.5	21.6	0.0	7.8
40～44歳	57	40.4	36.8	71.9	77.2	54.4	57.9	45.6	29.8	17.5	0.0	1.8
45～49歳	69	42.0	33.3	76.8	68.1	47.8	53.6	44.9	36.2	11.6	0.0	4.3
50～54歳	83	47.0	27.7	81.9	71.1	54.2	55.4	33.7	32.5	14.5	0.0	2.4
55～59歳	78	39.7	37.2	67.9	62.8	48.7	64.1	33.3	29.5	17.9	0.0	6.4
60～64歳	55	47.3	45.5	76.4	67.3	52.7	52.7	50.9	41.8	14.5	0.0	3.6
65～69歳	48	54.2	39.6	72.9	58.3	43.8	56.3	60.4	39.6	18.8	0.0	2.1
70～74歳	57	52.6	43.9	78.9	57.9	38.6	49.1	47.4	36.8	21.1	0.0	8.8
75歳以上	114	54.4	42.1	74.6	63.2	29.8	50.9	36.8	37.7	29.8	0.9	6.1
年齢不詳	1	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

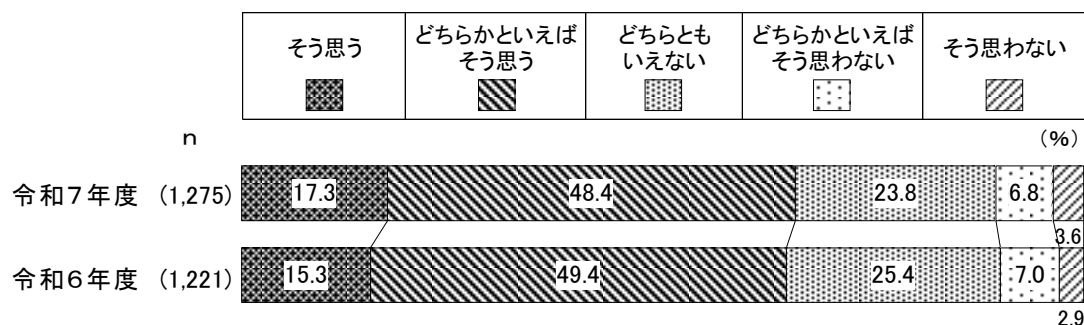
【犯罪のないまちづくり】

問57 あなたは、江東区内の治安は良いと思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

<全体／経年比較>

- ・「どちらかといえばそう思う」が48.4%で最も高く、次いで「どちらともいえない」(23.8%)となっている。
- ・「そう思う」(17.3%)と「どちらかといえばそう思う」(48.4%)を合わせた『そう思う(計)』の割合は65.7%となっている。
- ・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ-173 江東区の治安の良さ



① 地区別

- ・地区別では、『そう思う(計)』の割合は、白河地区(78.2%)、豊洲地区(75.8%)、小松橋地区(72.5%)、東陽地区(72.2%)、富岡地区(71.7%)、南砂地区(66.6%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ-174 江東区の治安の良さ(地区別)

	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない
全 体	1,275	17.3	48.4	23.8	6.8	3.6
白河	128	31.3	46.9	14.8	5.5	1.6
小松橋	91	15.4	57.1	24.2	2.2	1.1
富岡	99	14.1	57.6	19.2	4.0	5.1
東陽	115	17.4	54.8	20.0	6.1	1.7
豊洲	273	26.7	49.1	17.9	2.6	3.7
亀戸	130	7.7	40.0	30.8	14.6	6.9
大島	137	8.8	48.2	31.4	8.8	2.9
砂町	177	11.9	40.7	31.6	10.7	5.1
南砂	96	15.6	51.0	22.9	8.3	2.1
居住地区不詳	29	6.9	41.4	37.9	6.9	6.9

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『そう思う（計）』の割合に、特に大きな違いはみられない。
- ・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では20～54歳で男性全体を上回っている。女性では18～44歳、50～54歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－175 江東区の治安の良さ（性年齢別）

<男 性> (％)

	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない
全 体	526	17.7	47.9	22.2	7.6	4.6
18～19歳	6	16.7	0.0	33.3	50.0	0.0
20～24歳	21	23.8	47.6	9.5	14.3	4.8
25～29歳	32	37.5	50.0	6.3	3.1	3.1
30～34歳	24	20.8	50.0	12.5	8.3	8.3
35～39歳	30	20.0	53.3	20.0	3.3	3.3
40～44歳	34	11.8	55.9	14.7	17.6	0.0
45～49歳	59	20.3	45.8	22.0	5.1	6.8
50～54歳	62	22.6	45.2	19.4	8.1	4.8
55～59歳	49	18.4	40.8	18.4	14.3	8.2
60～64歳	38	21.1	39.5	34.2	2.6	2.6
65～69歳	47	4.3	51.1	38.3	2.1	4.3
70～74歳	41	9.8	53.7	22.0	7.3	7.3
75歳以上	83	13.3	51.8	27.7	4.8	2.4

<女 性> (％)

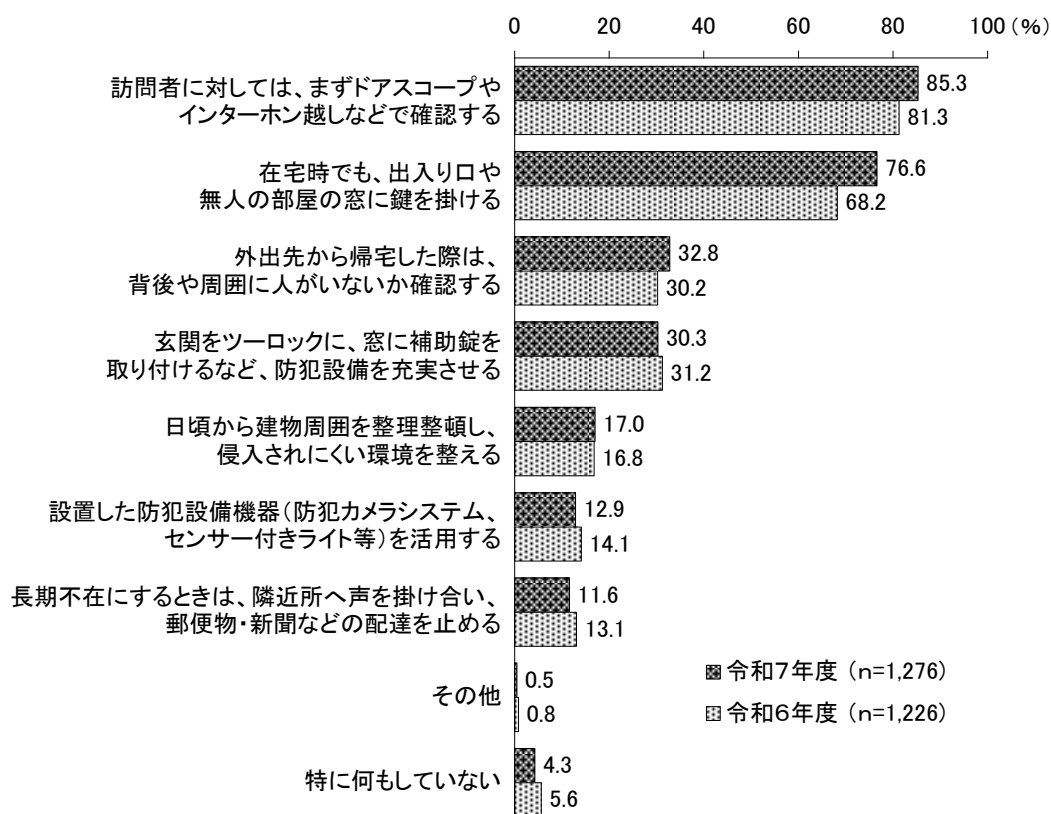
	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない
全 体	721	17.6	48.4	25.1	6.1	2.8
18～19歳	10	10.0	60.0	0.0	30.0	0.0
20～24歳	20	50.0	40.0	10.0	0.0	0.0
25～29歳	39	30.8	56.4	10.3	0.0	2.6
30～34歳	41	19.5	48.8	26.8	4.9	0.0
35～39歳	51	31.4	45.1	13.7	9.8	0.0
40～44歳	57	15.8	56.1	15.8	7.0	5.3
45～49歳	69	11.6	49.3	27.5	11.6	0.0
50～54歳	83	15.7	53.0	24.1	7.2	0.0
55～59歳	78	12.8	46.2	33.3	2.6	5.1
60～64歳	55	7.3	49.1	30.9	7.3	5.5
65～69歳	48	18.8	43.8	33.3	2.1	2.1
70～74歳	57	10.5	54.4	24.6	5.3	5.3
75歳以上	112	18.8	40.2	31.3	5.4	4.5
年齢不詳	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

問58 あなたは、日常生活で以下のような防犯対策をしていますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○はいくつでも)

<全体／経年比較>

- ・「訪問者に対しては、まずドアスコープやインターホン越しなどで確認する」が85.3%で最も高く、次いで「在宅時でも、出入り口や無人の部屋の窓に鍵を掛ける」(76.6%)となっている。
- ・前回調査と比較すると、「在宅時でも、出入り口や無人の部屋の窓に鍵を掛ける」が8.4ポイント増加、「訪問者に対しては、まずドアスコープやインターホン越しなどで確認する」が4.0ポイント増加している。

図表Ⅳ-176 自宅における防犯対策の実施状況



① 地区別

- ・地区別では、すべての地区で「訪問者に対しては、まずドアスコープやインターホン越しなどで確認する」が1位、「在宅時でも、出入り口や無人の部屋の窓に鍵を掛ける」が2位となっている。

図表IV-177 自宅における防犯対策の実施状況（地区別）

(%)

	n	在宅時でも、出入り口や無人の部屋の窓に鍵を掛ける	訪問者に対しては、まずドアスコープやインターホン越しなどで確認する	外出先から帰宅した際は、背後や周囲に人がいないか確認する	日頃から建物周囲を整理整頓し、侵入されにくい環境を整える	玄関をツーロックに、窓に補助錠を取り付けるなど、防犯設備を充実させる	設置した防犯設備機器（防犯カメラシステム、センサー付きライト等）を活用する	長期不在にするときは、隣近所へ声を掛け合い、郵便物・新聞などの配達を止める	その他	特に何もしていない
全 体	1,276	76.6	85.3	32.8	17.0	30.3	12.9	11.6	0.5	4.3
白河	130	75.4	87.7	33.8	15.4	30.0	11.5	11.5	0.8	4.6
小松橋	91	70.3	87.9	35.2	16.5	34.1	11.0	5.5	1.1	5.5
富岡	99	77.8	82.8	37.4	16.2	34.3	11.1	18.2	0.0	4.0
東陽	115	76.5	82.6	32.2	20.0	25.2	13.0	13.9	0.9	5.2
豊洲	272	77.9	88.6	34.9	14.7	27.9	13.6	9.9	0.4	4.0
亀戸	130	72.3	80.0	30.0	16.9	24.6	11.5	8.5	0.8	2.3
大島	137	77.4	91.2	35.8	19.7	34.3	15.3	10.2	0.7	1.5
砂町	176	79.5	81.8	26.7	16.5	34.7	13.6	9.1	0.0	5.7
南砂	97	79.4	81.4	33.0	22.7	29.9	16.5	22.7	0.0	5.2
居住地区不詳	29	72.4	82.8	20.7	10.3	27.6	3.4	13.8	0.0	10.3

② 性年齢別

- ・男女別にみると、男女ともに「訪問者に対しては、まずドアスコープやインターホン越しなどで確認する」が1位となっており、女性（88.9%）の方が男性（80.6%）より8.3ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、男性では18～24歳、30～39歳、45～69歳、75歳以上で「訪問者に対しては、まずドアスコープやインターホン越しなどで確認する」が同率を含め1位、18～29歳、40～44歳、70～74歳で「在宅時でも、出入り口や無人の部屋の窓に鍵を掛ける」が同率を含め1位となっている。女性では18～19歳、25歳以上で「訪問者に対しては、まずドアスコープやインターホン越しなどで確認する」が同率を含め1位、18～24歳で「在宅時でも、出入り口や無人の部屋の窓に鍵を掛ける」が同率を含め1位となっている。

図表Ⅳ－178 自宅における防犯対策の実施状況（性年齢別）

<男性>

(%)

	n	在宅時でも、出入り口や無人の部屋の窓に鍵を掛ける	訪問者に対しては、まずドアスコップやインターホン越しなどで確認する	外出先から帰宅した際は、背後や周囲に人がいないか確認する	日頃から建物周囲を整理整頓し、侵入されにくい環境を整える	玄関をツーロックに、窓に補助錠を取り付けるなど、防犯設備を充実させる	設置した防犯設備機器(防犯カメラシステム、センサー付きライト等)を活用する	長期不在にするときは、隣近所へ声を掛け合い、郵便物・新聞などの配達を止める	その他	特に何もしていない
全体	527	74.4	80.6	26.6	16.3	31.1	14.0	10.1	0.4	6.3
18～19歳	6	50.0	50.0	16.7	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	50.0
20～24歳	21	61.9	61.9	23.8	14.3	14.3	14.3	0.0	0.0	19.0
25～29歳	32	84.4	78.1	28.1	12.5	18.8	6.3	0.0	0.0	6.3
30～34歳	24	79.2	87.5	25.0	12.5	37.5	0.0	4.2	0.0	4.2
35～39歳	30	80.0	86.7	16.7	10.0	23.3	13.3	0.0	0.0	3.3
40～44歳	34	88.2	79.4	38.2	26.5	35.3	20.6	11.8	0.0	0.0
45～49歳	59	76.3	84.7	20.3	15.3	28.8	10.2	3.4	0.0	3.4
50～54歳	62	77.4	88.7	33.9	12.9	38.7	12.9	3.2	1.6	3.2
55～59歳	49	77.6	81.6	32.7	22.4	28.6	16.3	12.2	0.0	0.0
60～64歳	38	60.5	86.8	36.8	13.2	34.2	18.4	10.5	0.0	5.3
65～69歳	47	63.8	74.5	23.4	10.6	36.2	14.9	19.1	0.0	14.9
70～74歳	41	78.0	73.2	17.1	22.0	24.4	22.0	19.5	0.0	7.3
75歳以上	84	71.4	79.8	23.8	20.2	36.9	14.3	20.2	1.2	7.1

<女性>

(%)

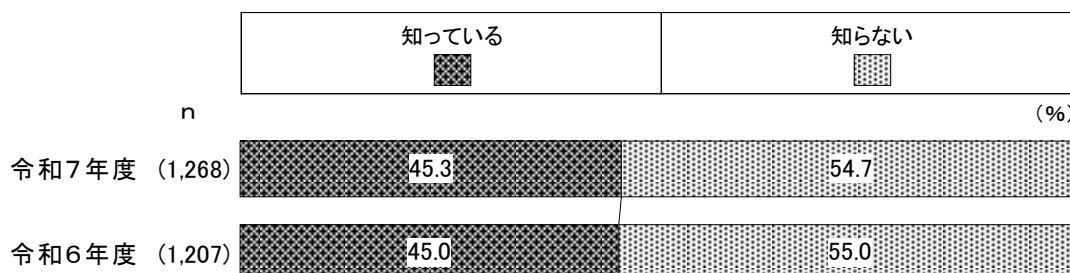
	n	在宅時でも、出入り口や無人の部屋の窓に鍵を掛ける	訪問者に対しては、まずドアスコップやインターホン越しなどで確認する	外出先から帰宅した際は、背後や周囲に人がいないか確認する	日頃から建物周囲を整理整頓し、侵入されにくい環境を整える	玄関をツーロックに、窓に補助錠を取り付けるなど、防犯設備を充実させる	設置した防犯設備機器(防犯カメラシステム、センサー付きライト等)を活用する	長期不在にするときは、隣近所へ声を掛け合い、郵便物・新聞などの配達を止める	その他	特に何もしていない
全体	721	78.6	88.9	37.4	17.6	29.4	11.8	13.0	0.6	2.6
18～19歳	10	80.0	80.0	40.0	30.0	20.0	0.0	0.0	0.0	10.0
20～24歳	20	90.0	80.0	50.0	15.0	30.0	5.0	0.0	0.0	5.0
25～29歳	39	74.4	87.2	69.2	12.8	17.9	5.1	2.6	0.0	5.1
30～34歳	41	68.3	90.2	34.1	7.3	26.8	7.3	2.4	0.0	4.9
35～39歳	51	70.6	88.2	49.0	17.6	33.3	15.7	5.9	0.0	0.0
40～44歳	57	78.9	87.7	22.8	17.5	22.8	7.0	1.8	0.0	3.5
45～49歳	69	76.8	85.5	39.1	13.0	21.7	5.8	4.3	0.0	5.8
50～54歳	83	84.3	94.0	42.2	13.3	36.1	8.4	8.4	0.0	1.2
55～59歳	78	73.1	83.3	33.3	12.8	29.5	12.8	16.7	0.0	3.8
60～64歳	55	87.3	92.7	34.5	23.6	30.9	25.5	12.7	0.0	0.0
65～69歳	48	81.3	93.8	31.3	27.1	37.5	20.8	18.8	2.1	2.1
70～74歳	57	77.2	91.2	38.6	21.1	29.8	12.3	26.3	5.3	0.0
75歳以上	112	82.1	89.3	29.5	23.2	32.1	13.4	30.4	0.0	1.8
年齢不詳	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問59 あなたは、消費者トラブルについて相談できる窓口（機関）を知っていますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は1つ）

<全体／経年比較>

- ・「知らない」が54.7%で、「知っている」(45.3%)を上回っている。
- ・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ-179 消費者トラブルの相談窓口の認知度



① 地区別

- ・地区別では、「知っている」の割合は、小松橋地区 (53.8%)、亀戸地区 (51.9%)、富岡地区 (49.0%)、大島地区 (47.8%)、東陽地区 (47.0%) で全体を上回っている。

図表Ⅳ-180 消費者トラブルの相談窓口の認知度（地区別）

	n	知っている (%)	知らない (%)
全 体	1,268	45.3	54.7
白河	129	38.8	61.2
小松橋	91	53.8	46.2
富岡	98	49.0	51.0
東陽	115	47.0	53.0
豊洲	271	42.8	57.2
亀戸	129	51.9	48.1
大島	136	47.8	52.2
砂町	175	43.4	56.6
南砂	95	43.2	56.8
居住地区不詳	29	31.0	69.0

② 性年齢別

- ・男女別にみると、「知っている」の割合は、女性（47.9%）の方が男性（42.1%）より5.8ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、「知っている」の割合は、男性では45～49歳、60歳以上で男性全体を上回っている。女性では45～49歳、60歳以上で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－181 消費者トラブルの相談窓口の認知度（性年齢別）

＜男 性＞ (％)

	n	知っている	知らない
全 体	525	42.1	57.9
18～19歳	6	16.7	83.3
20～24歳	21	28.6	71.4
25～29歳	32	40.6	59.4
30～34歳	24	16.7	83.3
35～39歳	30	26.7	73.3
40～44歳	34	32.4	67.6
45～49歳	59	45.8	54.2
50～54歳	62	37.1	62.9
55～59歳	49	34.7	65.3
60～64歳	37	51.4	48.6
65～69歳	48	45.8	54.2
70～74歳	41	73.2	26.8
75歳以上	82	48.8	51.2

＜女 性＞ (％)

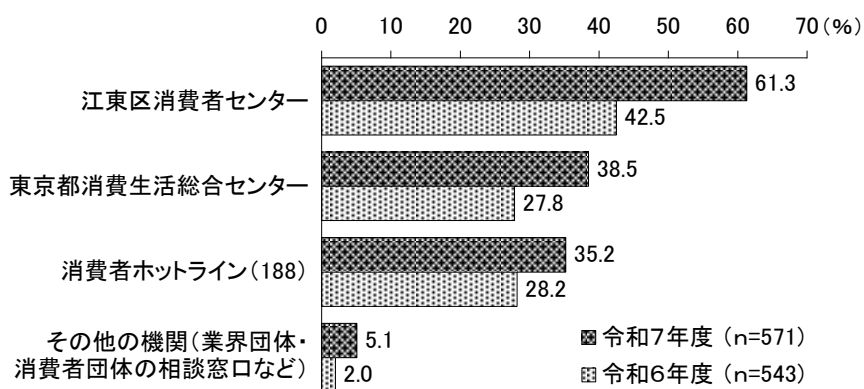
	n	知っている	知らない
全 体	716	47.9	52.1
18～19歳	10	30.0	70.0
20～24歳	20	15.0	85.0
25～29歳	39	30.8	69.2
30～34歳	41	34.1	65.9
35～39歳	51	39.2	60.8
40～44歳	57	36.8	63.2
45～49歳	69	49.3	50.7
50～54歳	83	47.0	53.0
55～59歳	78	47.4	52.6
60～64歳	55	69.1	30.9
65～69歳	48	64.6	35.4
70～74歳	57	61.4	38.6
75歳以上	107	52.3	47.7
年齢不詳	1	0.0	100.0

問59－1 問59で「1. 知っている」を選んだ方におたずねします。
 知っている窓口(機関)について、あてはまるものを選び○印をおつけください。(○はいくつでも)

<全体/経年比較>

- ・「江東区消費者センター」が61.3%で最も高く、次いで「東京都消費生活総合センター」(38.5%)となっている。
- ・前回調査と比較すると、「江東区消費者センター」が18.8ポイント増加、「東京都消費生活総合センター」が10.7ポイント増加、「消費者ホットライン(188)」が7.0ポイント増加している。

図表Ⅳ－182 消費者トラブルの各相談窓口の認知度



令和7年度

江東区長期計画区民アンケート

調査票

令和8年2月9日(月)までにご回答をお願いいたします。

二次元コード



ご回答にあたってのお願い

- 回答は「**オンライン**」または「**郵送**」のいずれかの方法で行うことができます。
- 封筒のあて名のご本人さまがご回答ください。
ただし、あて名のご本人さまが記入・入力困難な場合、ご家族の方がご本人さまの考えを尊重してご回答いただいても構いません。
- 調査項目は全部で**59**問になります。問1より順番にご回答ください。
- 質問によっては、あてはまる答えの番号を1つだけ選ぶもの、あるいは複数選ぶものがございます。お手数ですが質問を確認のうえ、**番号を選んでください**。

【本アンケートに関する問い合わせ先】

担 当：江東区 政策経営部 企画課 企画担当
電 話：03-3647-9168
Eメール：kikaku@city.koto.lg.jp



江東区観光キャラクター
コトミちゃん

Ⅱ. 次に、あなた自身のことや江東区のことについておうかがいします。

【みどりの中の都市「CITY IN THE GREEN」の実現】

問1 あなたは、江東区内の水辺と緑に満足していますか。
あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. 満足している | 2. どちらかといえば満足している |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえば不満である |
| 5. 不満である | 6. わからない |

問2 あなたは、以下のような水辺と緑に関する活動に取り組んでいますか。
あてはまるものを選び○印をおつけください。(○はいくつでも)

- | |
|---|
| 1. 近くの公園などでの花壇づくりの企画や参加 |
| 2. 家の庭先やベランダでのガーデニング |
| 3. 公園や水辺、道路内植樹帯などの清掃活動への参加 |
| 4. 自然観察会や生き物調べ活動の企画や参加 |
| 5. ポケットエコスペース（ビオトープ）の管理や保全活動 |
| 6. 区内にある田んぼでの稲作体験 |
| 7. 区内にある農園での野菜・草花づくり |
| 8. 健康づくりを含めた、水辺や緑を楽しむ活動（カヌーなど）の企画や参加 |
| 9. ガーデニング教室など、水辺や緑に関する講習会の企画や参加 |
| 10. 「緑の募金」や、水辺や緑に関するクラウドファンディングなどへの協力 |
| 11. 区内公園での水辺や緑に関するイベントの企画や参加 |
| 12. ブロック塀の生け垣化や壁面や屋上の緑化 |
| 13. その他（) |
| 14. 特に何もしていない |

問3 あなたは、江東区では水辺と緑に親しむ機会があると感じていますか。
あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. そう感じる | 2. どちらかといえばそう感じる |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえばそう感じない |
| 5. そう感じない | 6. わからない |

問4 あなたは、「生物多様性」について知っていますか。
あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

- | |
|-----------------------------|
| 1. 言葉の意味を知っていた |
| 2. 言葉の意味は知らないが、言葉は聞いたことがあった |
| 3. 知らなかった |

「生物多様性」とは、様々な生態系が存在すること、並びに生物の種間及び種内に様々な差異が存在することをいう。

【地球温暖化対策と環境保全】

問5 あなたは、以下のような環境に配慮した行動に取り組んでいますか。
あてはまるものを選び○印をおつけください。(○はいくつでも)

1. 環境を意識した行動を日常生活の中で行っている
2. 外出時や通勤時になるべく公共交通機関（電車・バス）や自転車・徒歩を利用している
3. 節電、節水などの省資源・省エネルギーを進めている
4. 電気製品を買う際は、省エネ性を考えて選ぶようにしている
5. 使い捨て製品の使用を避け、繰り返し使用できる製品や詰め替え製品を購入している
6. フリマサイト・アプリやリサイクルショップなどを活用している
7. ごみの分別（燃やすごみ、燃やさないごみなど）をしている
8. びん、缶、ペットボトルなど、リサイクル可能なものはリサイクルに出している
9. 買い物にはマイバッグを持参している
10. 環境問題（地球温暖化や脱プラスチック等）に関心を持ち、日頃からニュース等で情報を得ている
11. 地域の緑化やごみ拾いなど環境を守る地域活動に参加している
12. 特に何もしていない

【持続可能な資源循環型地域社会の形成】

問6 あなたは、以下のようなごみを減らすための行動に取り組んでいますか。
あてはまるものを選び○印をおつけください。(○はいくつでも)

1. 買物袋を持参するなどして、できるだけ包装を断っている
2. 食べ残しがないように、必要な分だけ購入したり、食べる分だけ調理するなど、食品ロスを減らす取り組みを行っている
3. 使い捨て商品を使わないようにして、詰め替え製品やリターナブルびんを利用している
4. 町会や自治会などで行っている集団回収や区で行っている資源回収に出している
5. 家具や電気製品は修理してできるだけ長く使っている
6. 生ごみは水切りしたり、生ごみ処理機やコンポストを利用して堆肥化したりしている
7. スーパーなどの店頭回収やバザー・フリーマーケットなどを利用して、地域のリサイクル活動に協力している
8. ごみを再資源化するため、ごみの分別に取り組んでいる
9. その他（）
10. 特に何もしていない

【みんなで取り組む子育て家庭への支援】

問7 中学生以下のお子さんがある保護者の方におたずねします。
あなたは、地域に見守られて子育てしていると感じますか。
あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

1. そう感じる	2. どちらかといえばそう感じる
3. どちらかといえばそう感じない	4. そう感じない
5. わからない	

問7-1 問7で「3. どちらかといえばそう感じない」「4. そう感じない」を選んだ方におたずねします。
地域に見守られて子育てしていると感じない理由について、
あてはまるものを選び○印をおつけください。(○はいくつでも)

1. 近所付き合い等、地域での接点がない
2. 実体験がないなど、具体的に思い当たらない
3. 子育て支援に関する情報やサービスが不足していたり、利用しにくい
4. 子育てや子どもに対する職場や地域の理解、配慮が乏しい
5. 防犯等、安全面での不安がある
6. その他 ()

問8 中学生以下のお子さんがある保護者の方におたずねします。
あなたは、必要な子育て情報を入手しやすいと思いますか。
あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

1. そう思う	2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない	4. そう思わない
5. わからない	

問8-1 問8で「3. どちらかといえばそう思わない」「4. そう思わない」を選んだ方におたずねします。
必要な子育て情報を入手しやすいと思わない理由について、
あてはまるものを選び○印をおつけください。(○はいくつでも)

1. 必要な情報が受動的だと届かない
2. 区の情報がわかりにくい
3. 区の情報発信が不足している
4. 情報の入手方法がわからない
5. 情報を入手していない
6. その他 ()

問9 こどものしつけと体罰の考え方についてうかがいます。
あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

1. しつけであっても体罰はすべきではない
2. しつけのためなら、ある程度の体罰もやむを得ない
3. しつけのためなら、体罰は必要である
4. わからない

問10 あなたは、児童虐待を疑ったときの通告先について知っていますか。
あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問 10 - 1 問 10 で「1. 知っている」を選んだ方におたずねします。
知っている通告先を次の中から、あてはまるものを選び○印をおつけください。
(○はいくつでも)

1. 江東区こどもの虐待ホットライン
【3646-5481 (サブロウシロウ ゴヨウハイチバン：南砂子ども家庭支援センター)】
2. 養育支援課養育支援係
【3647-4408】
3. 児童相談所全国共通ダイヤル
【189 (イチハヤク)】
4. 最寄りの警察署
【110 番】
5. その他 ()

【一人一人に向き合う学校教育の充実】

問11 中学生以下のお子さんがいる保護者の方におたずねします。
江東区では、児童・生徒一人一人に向き合った教育を推進していると思いますか。
あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえばそう思わない |
| 5. そう思わない | 6. わからない |

【こどもが安全に過ごせる居場所・環境づくり】

問12 あなたは、こどもが安全・安心に過ごせる居場所があると感じていますか。
あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. そう感じる | 2. どちらかといえばそう感じる |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえばそう感じない |
| 5. そう感じない | 6. わからない |

問 13 あなたは、行政や地域の活動（こども 110 番の家、地域でのパトロールなど）が、こどもたちを犯罪や事故から守る地域環境づくりに役立っていると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は1つ）

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえばそう思わない |
| 5. そう思わない | 6. わからない |

【次代を担う青少年の健全育成の推進】

問 14 江東区は、青少年への支援や相談窓口の定着・充実など、青少年が健全に育つ環境が整っていると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は1つ）

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえばそう思わない |
| 5. そう思わない | 6. わからない |

「青少年」とは、中・高生～35歳未満の青年期の者 [子供・若者白書（内閣府）]。

【青少年への支援や相談の取組例】

青少年交流プラザの運営、ジュニアリーダーの養成、青少年相談、地域の青少年向け事業

問 15 あなたは、この1年間にサークルや趣味を目的として、区公共施設を利用または地域などの活動に参加したことがありますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は1つ）

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問 16 あなたは、SNS やスマートフォン等の安全な利用方法やルール、マナーについて学んだことがありますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は1つ）

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

【魅力的で活力ある区内産業・商店街の形成】

問 17 あなたは、区内の企業やお店が元気に活動していると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は1つ）

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえばそう思わない |
| 5. そう思わない | 6. わからない |

問 18 あなたは、魅力のある商店街やお店が区内にあると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は1つ）

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえばそう思わない |
| 5. そう思わない | |

【人・地域をつなぐ地域コミュニティの活性化】

問 19 町会・自治会、NPO、ボランティアなどが日頃より様々な地域活動を主催しています。
この1年間、あなたはこれらの地域活動に参加したことがありますか。
あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

- | |
|-----------------------------|
| 1. よく参加している |
| 2. ときどき参加している |
| 3. 参加したことはあるが、今はほとんど参加していない |
| 4. まったく参加したことはない |

問 19-1 問 19 で「3. 参加したことはあるが、今はほとんど参加していない」「4. まったく参加したことはない」を選んだ方におたずねします。
地域活動へ参加したいと思いませんか。
あてはまるものを選び、○印をおつけください。(○は1つ)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえばそう思わない |
| 5. そう思わない | |

問 20 江東区には、気軽に利用できる地域活動施設があると思いませんか。
あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえばそう思わない |
| 5. そう思わない | 6. わからない |

【地域活動施設の例】
区民館、地区集会所、文化センター、スポーツセンター、児童館、福祉会館

問 21 あなたは、この1年間に地域イベントに参加しましたか。
あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

- | | |
|---------|------------|
| 1. 参加した | 2. 参加していない |
|---------|------------|

【地域イベントの例】
江東花火大会、江東区民まつり、国際交流のつどい

【多様性を認め合う（ダイバーシティ）社会の実現】

問 22 江東区は、多様性を認め合い、誰もが尊重され、暮らしやすいまちであると思いますか。
あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は1つ）

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえばそう思わない |
| 5. そう思わない | |

「多様性」とは、年齢、性別、国籍、障害の有無、価値観、生き方など様々な違いのことをいう。

問 23 あなたは、問 22 の多様性について、自分にも関わりがあると感じていますか。
あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は1つ）

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. そう感じる | 2. どちらかといえばそう感じる |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえばそう感じない |
| 5. そう感じない | |

問 24 あなたは現在、仕事、家庭生活（家事・子育て・介護・家族との交流）、
地域・個人の生活（地域活動・趣味・学習・休養）を自分が希望するバランスで
実現できていると思いますか。
あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は1つ）

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえばそう思わない |
| 5. そう思わない | 6. わからない |

問 25 あなたは、「ドメスティックバイオレンス（DV＝配偶者等からの暴力）」について
相談できる窓口を知っていますか。
あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は1つ）

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問 25-1 問 25 で「1. 知っている」を選んだ方におたずねします。

相談できると知っていた窓口（機関）を次の中から、
あてはまるものを選び○印をおつけください。（○はいくつでも）

- | |
|--|
| 1. 江東区女性のなやみと DV ホットライン(配偶者暴力相談支援センター) |
| 2. 江東区生活応援課 |
| 3. 警察署 |
| 4. 警視庁総合相談センター |
| 5. 東京都女性相談センター |
| 6. 東京ウィメンズプラザ |
| 7. その他（) |

【生涯にわたり学習できる環境の充実】

問 26 あなたは、以下のような学習講座や地域の集まりなどに参加していますか。
あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

1. よく参加している
2. ときどき参加している
3. 参加したことはあるが、今はほとんど参加していない
4. まったく参加したことはない

【学習講座や地域の集まりの例】

- ① 趣味（野球、サッカー、ウォーキング、ピアノ、ヨガなど）、② 教養（英会話など）、
③ 芸術、④ 文化、⑤ 教室（料理など）

問 27 あなたは、学習や講座などを通じて得られた新たな学びを、地域活動や仕事、趣味などに活かしたいと思いませんか。
あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない
4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない

問 28 あなたは、図書館が学びの場として役に立っていると感じていますか。
あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

1. そう感じる
2. どちらかといえば感じる
3. どちらかといえば感じない
4. そう感じない
5. わからない

【スポーツを楽しめる環境の充実】

問 29 あなたは、この1年間にどれくらいの頻度でスポーツ・運動を行っていますか。
あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

1. 週3日以上（年151日以上）
2. 週2日程度（年101日～150日）
3. 週1日程度（年51日～100日）
4. 月に1～3日程度（年12日～50日）
5. 3か月に1～2日程度（年4日～11日）
6. 年に1～3日程度
7. スポーツ・運動をしたが、頻度はわからない
8. スポーツ・運動を全くしなかった

「スポーツ・運動」には、散歩や体操などの体を動かすことを意識して行う運動も含む。

【切れ目のない支援による母子保健の充実】

問 32 中学生以下のお子さんがある保護者の方におたずねします。
江東区は健診、各種相談事業、産前・産後支援等の母子保健サービスが充実していると思いますか。
あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

1. そう思う	2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない	4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない	6. わからない

【健康づくりの推進と保健・医療体制の充実】

問 33 あなたは、ご自身が健康であると思いますか。
あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

1. そう思う	2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない	4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない	6. わからない

問 34 あなたは、悩みを抱えた時やストレスを感じた時、誰かに支援を求めることにためらいを感じますか。
あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

1. そう感じる	2. どちらかといえばそう感じる
3. どちらともいえない	4. どちらかといえばそう感じない
5. そう感じない	

問 35 あなたは、この1年間で何らかのがん検診を受けましたか。
あてはまるものを選び○印をおつけください。(○はいくつでも)

1. 区のがん検診	2. 職場のがん検診
3. 人間ドックなどのがん検診	4. その他 ()
5. がん検診は受けていない	

問 36 あなたは、①かかりつけ医・②かかりつけ歯科医・③かかりつけ薬局をもちえていますか。
それぞれについて、あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つずつ)

① かかりつけ医	1. もっている	2. もっていない
② かかりつけ歯科医	1. もっている	2. もっていない
③ かかりつけ薬局	1. もっている	2. もっていない

問 37 あなたは、普段の体調不良時や休日・夜間の急病時などに、身近で必要とする医療を受けられると思いますか。
あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

1. そう思う	2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない	4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない	

【感染症対策と生活衛生の確保】

問 38 あなたは、感染症予防や食中毒予防のために「①手洗い」「②咳エチケット」を励行していますか。
それぞれについて、あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つずつ)

① 手洗い	1. 行っている	2. 行っていない
② 咳エチケット	1. 行っている	2. 行っていない

「咳エチケット」とは、咳やくしゃみをするときにマスクをつけたり、ティッシュで口と鼻を覆う等、周りの人に感染させないように配慮することをいう。

【高齢者支援と活躍の推進】

問 39 65歳以上の方におたずねします。
あなたは現在、生きがいや幸せを感じる生活を送ることができていると思いますか。
あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえばそう思わない |
| 5. そう思わない | 6. わからない |

問 40 65歳以上の方におたずねします。
あなたは、ボランティアなどの地域活動や就労を行っていますか。
あてはまるものを選び○印をおつけください。(○はいくつでも)

- | |
|--------------|
| 1. 就労をしている |
| 2. 地域活動をしている |
| 3. 何もしていない |

問 40-1 問 40 で「2. 地域活動をしている」を選んだ方におたずねします。
具体的な活動内容について、あてはまるものを選び○印をおつけください。
(○はいくつでも)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. ボランティア活動 | 2. 町会・自治会活動 |
| 3. 老人クラブ | 4. 趣味の活動 |
| 5. その他の活動 | |

問 40-2 問 40 で「3. 何もしていない」を選んだ方におたずねします。
地域活動や就労を行っていない理由について、
あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

- | |
|--------------------------------|
| 1. 関心がない |
| 2. 関心はあるがどのような活動先や勤め先があるかわからない |
| 3. ひとりでは地域活動や勤めることが不安 |
| 4. 参加したい活動先や勤め先はあるが通いづらい |
| 5. 家族や健康上の理由から活動や就労ができない |
| 6. その他 () |

問 41 地域包括支援センター(長寿サポートセンター)では、保健師(看護師)、社会福祉士、主任介護支援専門員などの専門職が互いに連携しながら高齢者の方が住み慣れた地域で暮らしていけるよう支援しています。あなたは、その活動内容を知っていますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

- | | |
|----------------------|------------------|
| 1. 内容を知っている | 2. ある程度の内容は知っている |
| 3. 内容は知らないが、聞いたことはある | 4. 知らない |

問 42 65歳以上の方におたずねします。
あなたは、以下のような介護予防活動に取り組んでいますか。
あてはまるものを選び○印をおつけください。(○はいくつでも)

- | |
|---------------------------------|
| 1. 適度な運動をする |
| 2. バランスの取れた食事をとる |
| 3. 定期的に歯科検診を受診している |
| 4. 嚥下機能向上のため、口の体操をしている |
| 5. 趣味のサークルやボランティアなどのコミュニティに参加する |
| 6. その他 () |
| 7. 特に何もしていない |

【障害者支援と共生社会の実現】

問 43 あなたは、まちで障害者が困っているときに声をかけたことがありますか。
あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問 44 江東区は、障害者が地域活動やスポーツ、趣味、イベント等の社会活動に参加しやすい環境が整っていると思いますか。
あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえばそう思わない |
| 5. そう思わない | 6. わからない |

【計画的なまちづくりの推進】

問 47 江東区は、地域の特色を活かしたまちづくりが進んでいると思いますか。
あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえばそう思わない |
| 5. そう思わない | 6. わからない |

問 48 あなたは、江東区のまち並みについて美しいと思いますか。
あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえばそう思わない |
| 5. そう思わない | |

問 49 江東区では、ユニバーサルデザインの取り組みが進んでいると思いますか。
あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえばそう思わない |
| 5. そう思わない | |

「ユニバーサルデザイン」とは、万人のための設計思想であり、年齢、性別、国籍、個人の能力に関わらず、できるだけ多くの人々が自立して安全、快適、安心に暮らせる生活環境をデザインすることをいう。

【ユニバーサルデザインの例】
バリアフリートイレ、駅のホームドア、スロープ化（段差解消）、視覚障害者誘導用ブロック（通称：点字ブロック）、ノンステップバス

【良好な住宅の形成と住環境の向上】

問 50 あなたは、今お住まいの住環境について満足していますか。
あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. 満足している | 2. どちらかといえば満足している |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえば不満である |
| 5. 不満である | |

【便利で安全な道路・交通ネットワークの整備】

問 51 あなたは、江東区内を便利で快適に移動できると思いますか。
あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえばそう思わない |
| 5. そう思わない | 6. わからない |

問 52 江東区では、交通ルールが定着していると思いますか。
あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえばそう思わない |
| 5. そう思わない | |

【災害に強い都市の形成】

問 53 江東区は、災害に強いまちづくりが進んでいると思いますか。
あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえばそう思わない |
| 5. そう思わない | 6. わからない |

問 54 あなたは、江東区洪水ハザードマップを見たことがありますか。
あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

- | |
|---------------------------|
| 1. 見たことがあり、自宅周辺の状況も把握している |
| 2. 見たことはあるが、自宅周辺の状況はわからない |
| 3. 見たことはない |
| 4. あることも知らない |

【地域防災力の強化】

問 55 あなたは、防災訓練などの防災活動に参加したことがありますか。
あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

- | |
|------------------|
| 1. 過去1年以内に参加した |
| 2. 過去3年以内に参加した |
| 3. これまでに1度以上参加した |
| 4. 参加したことがない |

問 56 あなたの家庭では、以下のような防災対策を行っていますか。
あてはまるものを選び○印をおつけください。(○はいくつでも)

- | |
|---|
| 1. 家具などの転倒防止対策 |
| 2. 消火器の使用方法の確認 |
| 3. 非常用食料・水の準備 |
| 4. 携帯（簡易）トイレの備蓄 |
| 5. 非常用電源（発電機、電池、モバイルバッテリーなど）の確保 |
| 6. 非常用の持ち出し袋の準備 |
| 7. 避難方法・避難所・避難場所の確認 |
| 8. 家族間の連絡方法の共有 |
| 9. 近所の人とのつきあい |
| 10. その他（) |
| 11. 特に何もしていない |

【犯罪のないまちづくり】

問 57 あなたは、江東区内の治安は良いと思いますか。
あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえばそう思わない |
| 5. そう思わない | |

問 58 あなたは、日常生活で以下のような防犯対策をしていますか。
あてはまるものを選び○印をおつけください。(○はいくつでも)

- | |
|--|
| 1. 在宅時でも、出入り口や無人の部屋の窓に鍵を掛ける |
| 2. 訪問者に対しては、まずドアスコープやインターホン越しなどで確認する |
| 3. 外出先から帰宅した際は、背後や周囲に人がいないか確認する |
| 4. 日頃から建物周囲を整理整頓し、侵入されにくい環境を整える |
| 5. 玄関をツーロックに、窓に補助錠を取り付けるなど、防犯設備を充実させる |
| 6. 設置した防犯設備機器（防犯カメラシステム、センサー付きライト等）を活用する |
| 7. 長期不在にするときは、隣近所へ声を掛け合い、郵便物・新聞などの配達を止める |
| 8. その他（ ） |
| 9. 特に何もしていない |

問 59 あなたは、消費者トラブルについて相談できる窓口（機関）を知っていますか。
あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問 59-1 問 59 で「1. 知っている」を選んだ方におたずねします。
知っている窓口（機関）について、あてはまるものを選び○印をおつけください。
(○はいくつでも)

- | |
|------------------------------|
| 1. 江東区消費者センター |
| 2. 消費者ホットライン（188） |
| 3. 東京都消費生活総合センター |
| 4. その他の機関（業界団体・消費者団体の相談窓口など） |

以上でアンケート調査は終了です。ご協力ありがとうございました。

以下のいずれかの方法で、令和8年2月9日(月)までに、返信してください。

- 郵送によりご回答いただける場合
返信用封筒に入れて、郵便ポストにご投函ください（切手不要）。
返信用封筒にご住所やお名前を記載する必要はございません。
- オンラインによりご回答いただける場合
別紙「区民アンケートのお願い」に記載されている方法で回答フォームにアクセス
のうえ、手順に沿って回答してください。

令和7年度 江東区長期計画区民アンケート調査報告書

令和8年3月 印刷物登録番号（7）115号

編集発行 江東区政策経営部企画課

東京都江東区東陽4-11-28

電話 03（3647）9111（大代表）